

SONY®

DVD Navi System

NVX-M7000

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ヴィーム
メモリースティック対応DVDナビシステム Viam



画面はハメコミ合成です。 写真の“メモリースティック”は別売です。



⚠ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった取り付けかたや使いかたをすると、火災や感電、交通事故などになることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・運転者は走行中に操作をしない。
- ・運転中に画面を注視しない。
- ・車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ・ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。
- ・自動車の運転中にナビゲーションシステムの画面を凝視することは法律により制限されています。

定期的に点検する

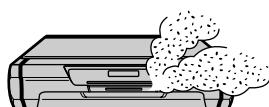
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていなか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ➡
- ① 安全な場所に車を止める
 - ② 電源を切る
 - ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたことがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



CarAV

正しい取付け
正しい操作で
安全運転

警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

取り付けは確実に行う

別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を落とさない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

規定容量のヒューズを使う

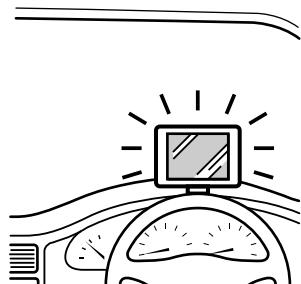
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

前方の視界を妨げる場所に、モニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



分解や改造をしない



分解禁止

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



目次

⚠️警告 / ⚠️注意 2

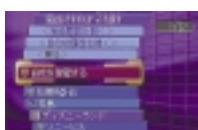
ここ
だけ
読ん
で
使
え
ま
す

こんなことができます	6
準備	10
自車位置を正しく表示させるには	11
リモコンと地図の使いかた	13
メニューの使いかた	16
目的地まで道案内させる	18
ルート案内の流れ	24
声で操作する	26
メモリースティックに保存する	28
カーナビゲーションって何だろう？	30



地図で見ている場所を使う ... 決定メニュー 36

地図の北を/進行方向を上にする	決定 ▶ 北を上にする/進行方向を上にする	36
地図上の場所まで道案内させる	決定 ▶ ここに行く	37
地図上の場所を経由する	決定 ▶ ここを経由する	38
地図上にマークをつける	決定 ▶ マークをつける	39
マークを消したり、シンボルなどを変える	決定 ▶ マークを消す/マークを編集する	40
地図上の詳しい情報を見る	決定 ▶ ここ的情報を見る	41
次の施設を選択する	決定 ▶ つぎの施設を選択する	42



目的地などをすぐに呼び出す(ショグダイヤルメニュー) 43

以前探した場所やルートを使う	43
マークした場所を呼び出す	45
マークを並べ替える	46
マークを絞り込む	47
自宅を登録する/自宅に帰る	47
周辺のおすすめスポットを探す	48
メモリースティックのスポットを選ぶ	49
メモリースティックのナビプランを選ぶ	50
メモリースティックの画像を見る	51
走行中に次の案内を見る	52
ルートを探しなおす	53



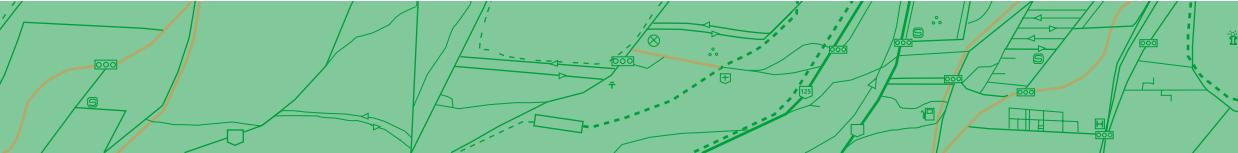
行き先を探す 54

行き先を決める	行き先 ▶ ルート設定をする	54
目的地を決める	行き先 ▶ ルート設定をする ▶ 目的地	54
経由地を決める	行き先 ▶ ルート設定をする ▶ 経由地を追加する	56
ルートを探す条件を決める	行き先 ▶ ルート設定をする ▶ 推奨ルート探索など	58
ルートを探す	行き先 ▶ ルート設定をする ▶ ルートを探す	59
最近の目的地から選ぶ	行き先 ▶ 目的地履歴から選ぶ	60
詳細な条件を設定する	行き先 ▶ 詳細条件を設定する	61
ルート全体を見る	行き先 ▶ 全ルート図を見る	62
ルートの情報を見る	行き先 ▶ ルート情報を見る	63
走行シミュレーションを見る	行き先 ▶ 走行シミュレーション	64
ルートに沿って地図をスクロールする	行き先 ▶ オンルートスクロール	65
ルート案内を始める / 終わる	行き先 ▶ ルート案内開始 / 終了	66
その他の機能		67



場所を探す 68

周辺の施設から探す	場所 ▶ 周辺施設から探す	68
名称から探す	場所 ▶ 名称から探す	70
住所から探す	場所 ▶ 住所から探す	72
電話番号から探す	場所 ▶ 電話番号から探す	74
ジャンルから探す	場所 ▶ ジャンルから探す	77
個人名から探す	場所 ▶ 個人名から探す	78
マークから探す	場所 ▶ マークから探す	80
座標から探す	場所 ▶ 座標から探す	81



情報を見る

VICS FM文字情報を見る

情報メニュー

82

情報	▶ VICS FM文字情報	82
情報	▶ VICS FM図形情報	83
情報	▶ VICSビーコン情報	84
情報	▶ FM文字多重	84
情報	▶ 接続・測位情報	85
情報	▶ インターネット	86
情報	▶ レジャーガイド	97



編集と設定

自宅を登録・編集する

編集・設定メニュー

98

編集・設定	▶ 自宅を登録・編集する	98
編集・設定	▶ マークを編集する	99
編集・設定	▶迂回地点を登録・編集する	105
編集・設定	▶施設案内を設定する	106
編集・設定	▶ 詳細設定	106
編集・設定	▶ 詳細設定▶ VICS/FM多重を設定する	109
編集・設定	▶ 詳細設定▶ 画面位置を調整する	112
編集・設定	▶ 自車位置を調整する	113
編集・設定	▶メモリースティック	114

テレビを見る

テレビ局を自動で登録する

118

テレビを見る	119
ワイド画面で見る	120
ビデオなどを見る	121
ナビ画面を見ながら他の音声を聞く(サイマル機能)	121
音声を消す(アッテネート機能)	121
画質を調整する	122
二重音声の設定	123
ステレオ音声の設定	123
本体およびリモコン操作音の設定	124
チャンネルを手動で設定する	124
FM周波数の設定(FMステレオトランシミッター)	125
テレビ操作時のリモコンボタン	126
テレビ本体の操作ボタン	127

音声で操作する

128

操作のしかた	128
正確に認識させるために	129
現在地を表示する	129
施設名を言って地図を見る	130
住所を言って地図を見る	130
電話番号を言って地図を見る	131
ルート案内などを実行する	131
音声メニューを表示する	132

電話をかける(ハンズフリー機能)

133

電話番号を入力してかける	133
電話帳を使う	134
電話を受ける	135

その他

136

VICSについて	136
ご注意/お手入れ	137
メッセージが出たら	141
故障かな?と思ったら	143
保証書とアフターサービス	145
主な仕様	146
用語集	147

機能別索引

148

索引

150

料金表示機能の対象道路

152

音声コマンド一覧

154

こんなことができます

目的地まで道案内します

一般道路

交差点拡大表示

交差点拡大図で曲がる方向と走行する車線を表示します。



音声で道案内

まもなく、左方向です。

START!

400メートル先、天現寺橋、左方向です。



Family



周辺のお店や施設をすばやく検索
現在走行している周辺のコンビニやガソリンスタンドなどを地図に表示できます。

道路状況をリアルタイムに表示

VICS*情報(渋滞・工事・駐車場の混雑状況など)を即時に表示できます。別売りの光(または電波)ビーコンユニットを使うと、幹線道路や高速道路などで走行している地点周辺の詳しい情報が得られます。

* Vehicle Information and Communication System の略称

渋滞箇所音声案内

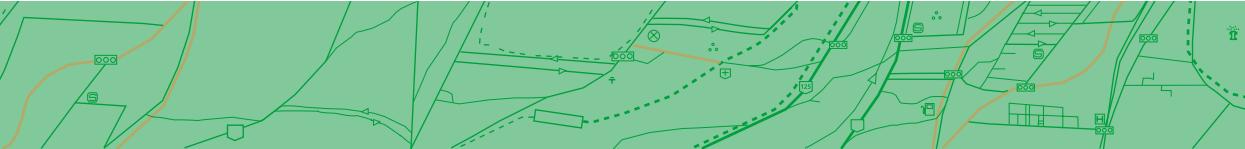
2キロ先、渋滞があります。

音声認識機能

地図を表示したり、ルートを探したり、場所を探したり、話すだけで基本的な操作ができます。

あと、どれくらい?





お好みの条件でルートを探索

有料道路または一般道路を優先するか、距離を優先するなど、きめ細かく条件を設定してルートを探索することができます。いろいろな条件を総合して自動的にルートを決める「推奨ルート探索」もあります。

ここだけ読んでも
使えます

高速道路

料金表示

有料道路の料金所が近づくと、画面と音声で料金を表示します。



ルートを外れても (リルート機能)

ルートを外れて走行しても、最適なルートを自動的に探して、道案内を続けます。

ランプガイド

都市高速道路の出口が近づくと、画面と音声で誘導します。



ジャンクションガイド

高速道路の分岐点が近づくと、画面と音声で誘導します。





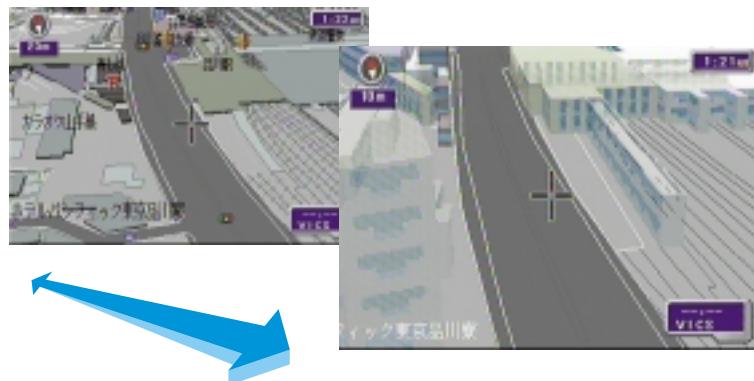
豊富な地図表示で一目瞭然

滑らかな拡大/縮小



立体的に表示

主要都市の市街地図では、建物も立体的に表示することができます。
(マルチアングルポリゴン)



有料道路走行時はマルチアングルポリゴンマップを表示できません。有料道路では、自動的に50mスケールの地図画面に切り換わります。

ハイウェイマップ (有料道路で)

インターチェンジまでの距離・時間・サービスエリア・パーキングエリア情報などを表示します。





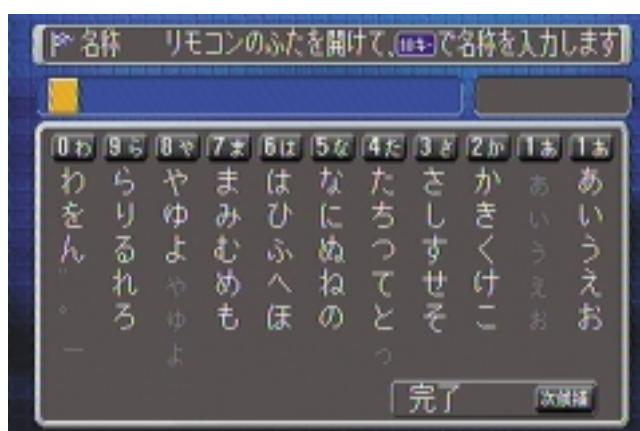
多彩な方法で場所を検索

場所を探して地図表示やルートに設定

周辺施設・ジャンル・名称・住所・電話番号・個人名などから場所を探して、地図に表示したり目的地などに設定したりすることができます。詳しくは、「場所を探す」(68ページ)をご覧ください。

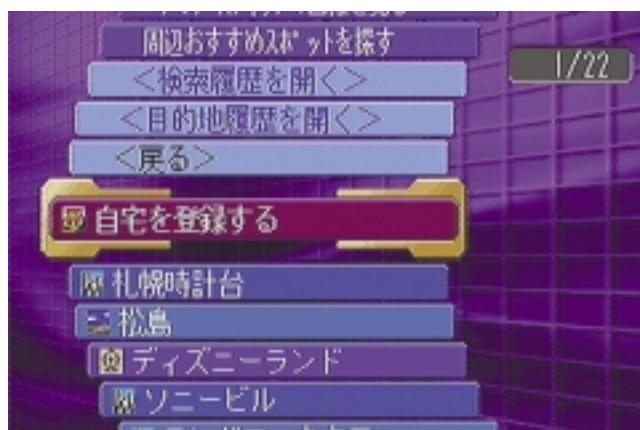


ここだけ読んで
使えます



ジョグダイヤルで すばやく呼び出し

探した場所や目的地、マークした地点は、ジョグダイヤルですばやく呼び出すことができます。場所とルートは、それぞれ一番新しいものから20件ずつ呼び出すことができます。詳しくは、「目的地などをすぐに呼び出す」(43ページ)をご覧ください。





準備

取り付けと接続はお済みですか？別冊の「取り付けと接続」をお読みください。



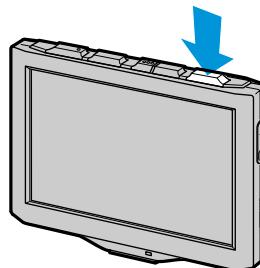
エンジンをかける

本機の電源は、車のキーがONの位置で入ります。



モニターをナビ画面にする

1 モニターの電源を入れる



ちょっと一言

夜間、モニターの光がまぶしいと感じたら、調光（オートディマー）機能で周囲の明るさにあわせて画面を暗くすることができます。「画質を調整する」（122ページ）をご覧ください。

2 ナビ入力に切り換える

付属モニターの場合は、NAVIボタン（またはリモコンのナビボタン）を押します。



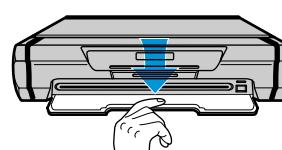
付属の地図ディスクを入れる



ご注意

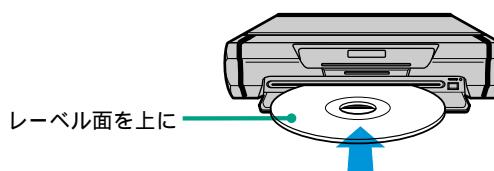
- 別の車に付け替えた場合は、編集・設定メニューの「詳細設定」から「システムを設定する」を選び、「車速パルスリセット」を選んで決定してください。（108ページ）
- 電源がOFFのときは、ディスクの出し入れはできません。
- 電源を切っても本体前面のランプが約1分間点灯している場合があります。

1 ナビ本体のフロントカバーを開ける



2 地図ディスクを入れる

ディスクを軽く押すと、自動的に引き込まれます。



自動的に地図画面*になります。

* この取扱説明書に記載された地図画面の色と実際の色とでは、多少異なることがあります。（地図画面のイラストは、説明用のものです。）

使い終わったら

車の電源をOFFにすると、本機の電源が自動的に切れます。

自車位置を正しく表示させるには

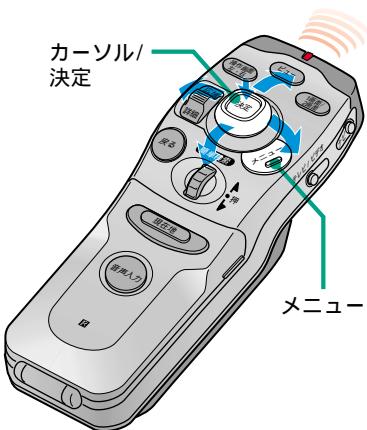
自車位置は、以下の3つの方法で測定しています。（30ページ）

- GPS衛星の電波を受信
- 自律航法とマップマッチング
- DGPS

ナビゲーションシステムを初めて取り付けたときや他の車に付け替えたときは、周りに高い建物などがない道路を一定の速度で30分ほど走行してください。3個以上のGPS衛星を確実に受信し、自律航法とマップマッチングの測定方法を利用して、自車の現在地を正しく測定（測位といいます）させるためです。



接続・測位情報を確認する



GPS衛星の受信状態や自車位置の精度は、「測位情報」の画面で確認できます。

1

メニューボタンを押す

メインメニューが表示されます。

2

「情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

3

「接続・測位情報」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する



測位情報： 3個以上のGPS衛星から受信すると（黄色表示）自動的に現在位置を測位します。

車速パルス： 安全な場所で車をゆっくり走らせて、数値が上がることを確認してください。

バックセンサー： シフトレバーをリバース（R）の位置にして、ON表示になることを確認してください。

その他の表示項目については、「接続情報と測位情報を確認する」（85ページ）をご覧ください。

GPSアンテナの取り付け位置はGPS衛星からの電波をさえぎるものがない位置を選んで、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。



車内に取り付けるときはリアトレイやダッシュボードの平らな位置にアンテナが水平になるように取り付けてください。車内に適する場所がない場合は、車外に取り付けてください。

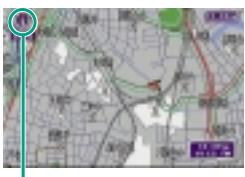
ここだけ読んでも
使えます

次ページへつづく



30分ほど走行してみる

コンパスマークが青(正常)の状態で、周りに高い建物や木々がない道路を一定速度で30分ほど走行してください。



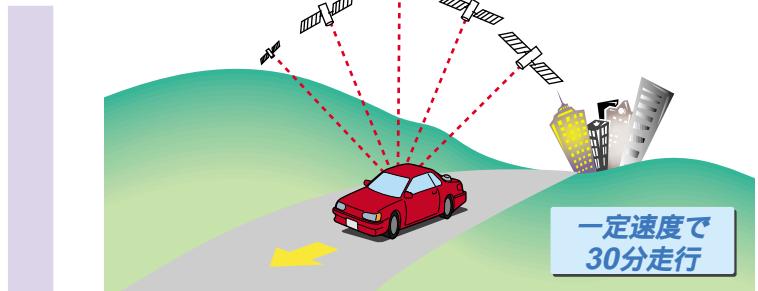
コンパスマーク



：正常に測位を行っています。



：測位できていません。または、自律センサーだけで測位しています。(GPS衛星から電波は受信していない)



自車位置の誤差が大きくなるときは

「自車位置の誤差はどういうときにでるの？」(32ページ)をご覧ください。

リモコンと地図の使いかた

ここだけ読んでも
使えます

現在地を表示する

現在地



VICISの最新情報提供時刻
(地域によって表示されない
場合があります)

地図の縮尺を変える

広域
詳細

広域/詳細レバーを上下に押します。
レバーを押したままにすると、連続的に
変化します。



地図を動かす

決定

カーソル/決定ボタンを動かした方向(8方向)
に、地図が移動(スクロール)します。



画面の4方向にその
画面を動かすと、画面中央に
先にある地名が表示
されます。^{*}

地図を動かすと...

走行中でも、地図は自動的に移動しません。

現在地ボタンを押して、自車マークを表示してください。
(左欄を参照してください)

* 地図スケールが10km以上または市街地図では表示され
ません。また、場所によっては表示されない地域があり
ます。

リモコンは、モニターや
リモコン受光部に向けて
操作してください。



ナビボタン

テレビ/ビデオ画面のとき、
ナビ画面になります。

テレビ/ビデオボタン

ナビ画面のときはテレビ/ビデオ
画面に、テレビ/ビデオ画面のとき
はテレビ画面とビデオ画面
に、ボタンを押すたびに切り換
わります。



リモコンと地図の使いかた(つづき)

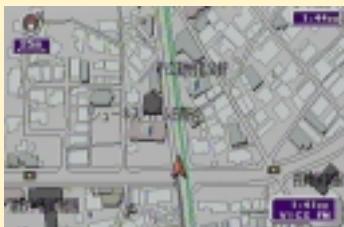
2画面にして見る

1画面/
2画面

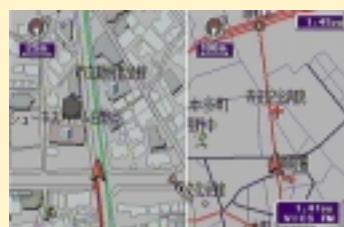
1画面/2画面ボタンを押します。

押すたびに1画面と2画面が切り換わります。

1画面



2画面



ハイウェイマップ
画面と地図画面と
の2画面表示もでき
ます。

文字を入力する

メニュー操作をしているとき、住所や電話番号などを入力する必要がある場合には、カバーを開いて文字入力キーを使用します。

入力方法については、各メニュー操作の中で説明しています。



ご注意

テレビ操作用の表示や機能については、「テレビを見る」(118ページ)をご覧ください。

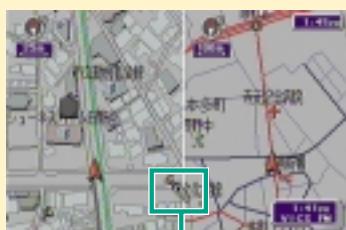
操作する画面を選ぶ

操作画面
左・右

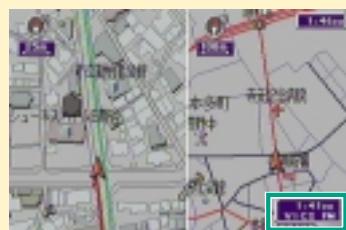
2画面で操作しているとき、押すたびに操作画面が切り換わります。

右画面は、交差点拡大図などにも使用するため、スクロール操作ができません。

左画面の操作



右画面の操作



リモコンマークが操作側に向きます。

VICS情報は操作側の地域の情報です。

画面の種類を選ぶ

ビュー

押すたびに、画面が次のように切り換わります。

スタンダードビュー



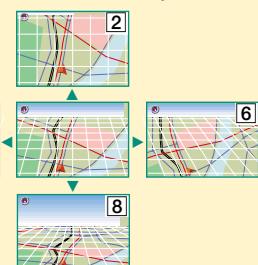
フライトビュー

空から見たような立体の地図画面になります。



(フライトビューでは進行方向が上に設定されます。)

リモコンの[2]、[4]、[6]、[8]キーを押すと、フライトビューの見える角度と方向を変えることができます。



(画面の縦横の線は実際には表示されません。)



ハイウェイマップ(高速道路走行時)

右画面が高速道路情報画面になります。



ハイウェイマップの見たたについては、「ルート案内の流れ」(24ページ)をご覧ください。

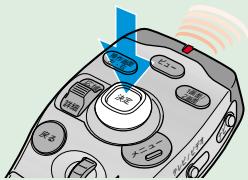
メニューの使いかた

本機のリモコンには3種類のメニュー操作があります。用途に応じて、各ボタンを押してください。

今見ている地図上で、「ここに行きたい」・「ここにマークをつけたい」というとき(決定メニュー)

この情報を見たり、地図の向きを変えるなどの操作ができます。また、マークの編集・消去などの操作もできます。詳しくは、「地図で見ている場所を使う」(36ページ)をご覧ください。

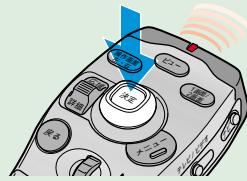
- ① 地図上でカーソル/決定ボタンを押して、決定メニューを表示します。



- ② ボタンを上下に動かして、項目を選びます。



- ③ ボタンを押して、決定します。



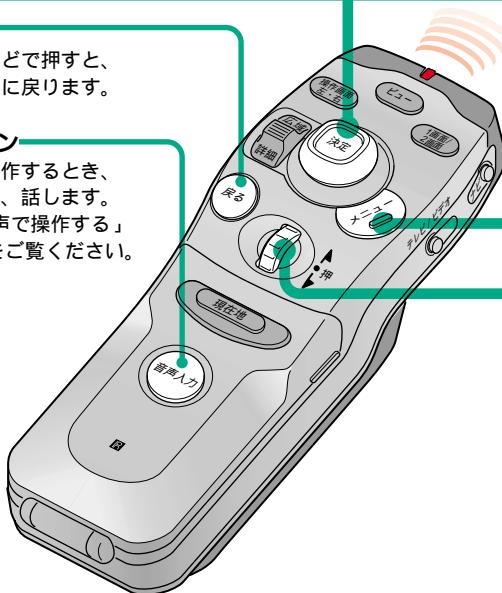
地図画面に戻るには
戻るボタンを押します。

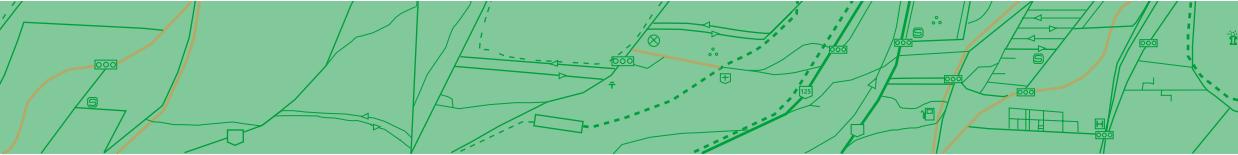
戻るボタン

メニュー画面などで押すと、
ひとつ前の画面に戻ります。

音声入力ボタン

音声で本機を操作するとき、
短く押してから、話します。
詳しくは、「音声で操作する」
(128ページ)をご覧ください。





メニューを呼び出して操作するとき(メニューボタン操作)

「行き先」「場所」「情報」「編集・設定」に分類されたメニューから、必要な操作のメニュー画面を表示します。詳しくは、[43ページ](#)をご覧ください。

- ① メニュー ボタンを押して、メインメニューを表示します。



- ② カーソル/決定ボタンを上下に動かして、希望のメニューを選びます。



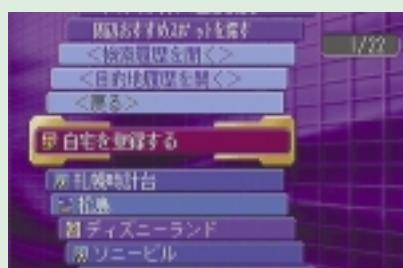
- ③ カーソル/決定ボタンを右に動かして(または押して)から、サブメニューの項目を選びます。

ひとつ前の項目に戻るには戻るボタンを押します。

基本的な機能をお手軽に使いたいとき (ジョグダイヤル操作)

自宅に帰る道案内(ルート案内)などの一部の機能は、メニュー ボタンを押して項目から選ぶといった操作なしに、ジョグダイヤルを回すだけで直接操作することができます。また、マークした地点、最近探した場所(20件)、目的地に設定した場所(20件)を簡単に呼び出して、ルートを探したり、地図を表示したりすることができます。詳しくは「目的地などをすぐに呼び出す」(43ページ)をご覧ください。

- ① ジョグダイヤルを回して、ジョグダイヤルメニューを表示します。



- ② ダイヤルを回して、項目を選びます。

- ③ ダイヤルを押して、決定します。





目的地まで道案内させる

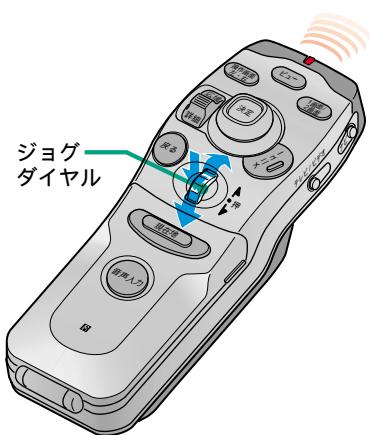
目的地を設定して道案内をさせる基本的な流れを手順に沿って説明します。

目的地を設定するには、次の3通りの方法があります。

- ・地図上で見つけた場所を目的地にする(37ページ)
- ・マーク登録した地点などを目的地にする(45ページ)
- ・メニュー操作で目的地や経由地などを設定する(54ページ)

ここでは、ジョグダイヤルで自宅を登録したあと、メニュー操作で目的地を決めて道案内をさせて、さらに自宅まで戻ってくる手順を説明します。

自宅を登録する



ご注意

パーキングブレーキを引いていないときは、自宅登録はできません。

ちょっと一言

- ・すでに自宅が登録されているときは、「自宅に帰る」と表示されます。編集・設定メニューでも、自宅を登録することができます。(98ページ)
- ・前の画面に戻りたいときは、リモコンの戻るボタンを押します。
- ・ジョグダイヤルで決定するときは、ジョグダイヤルをそのまま押してください(17ページ)。

ちょっと一言

自宅を探す条件は、4種類あります。

- ・地図から探す(36)
- ・住所から探す(72)
- ・電話番号から探す(74)
- ・座標から探す(81)

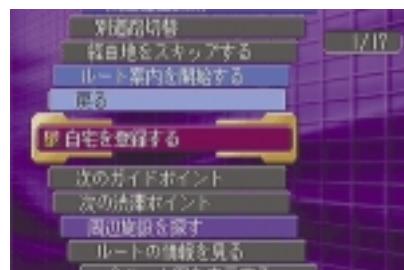
操作について詳しくは、()のページをご覧ください。

自宅を登録しておくと、いつでもジョグダイヤルで「自宅に帰る」操作などができます。

ここでは、住所から自宅を指定する操作を例にして説明します。

1 ジョグダイヤルを押す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。



2 「自宅を登録する」が選ばれているので、ダイヤルをそのまま押して決定する

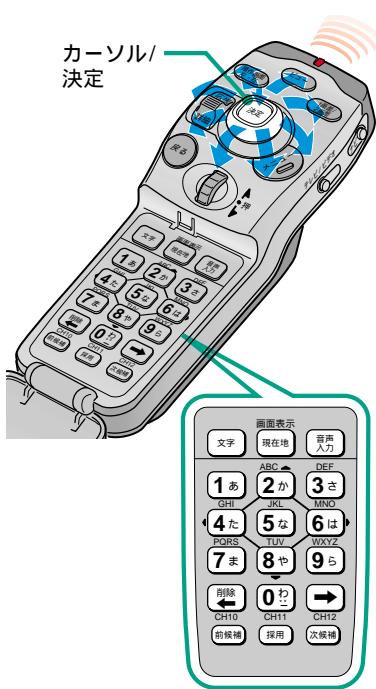
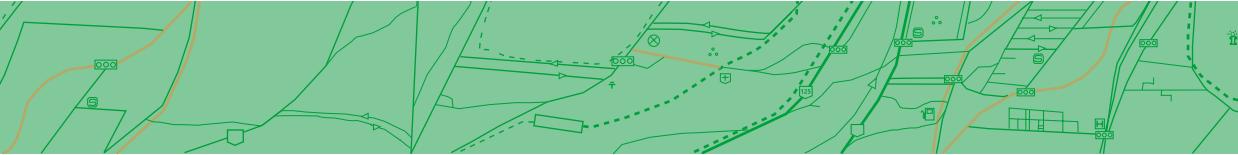
自宅を登録するかどうか確認する画面が表示されます。

3 確認画面で「はい」が選ばれているので、ダイヤルをそのまま押して決定する

カーソル/決定ボタンを押して決定することもできます。

自宅を探す条件を選ぶ項目が表示されます。





ちょっと一言

- リモコンの広域/詳細レバ - で、リスト項目を送ることができます。

ここだけ読んでも
使えます

4 カーソル/決定ボタンを動かして「住所から探す」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する
この手順からは、カーソル/決定ボタンで操作します。

都道府県リストになります。



5 カーソル/決定ボタンを動かして都道府県名を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

数字キーでリストの項目を選ぶこともできます。

例えば、[1あ]キーを1回押すと「あ」の先頭の愛知県、2回押すと「い」の先頭の石川県が選択されます。

6 市区町村名を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

7 大字/町名を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

8 番地を指定するリストが表示されたら、番地を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

自宅周辺の地図画面になります。

目的の番地がない場合は、近い数字を選んでください。

9 カーソル/決定ボタンを動かして地図画面上の自宅位置に+マーク(カーソル)を合わせ、カーソル/決定ボタンを押して決定する

+マークの中心に自宅マーク()がつきます。



目的地を設定して道案内を始める



ディスクの情報から目的地をさまざまな方法で探し出すことができます。場所を探す方法には次のような種類があります。

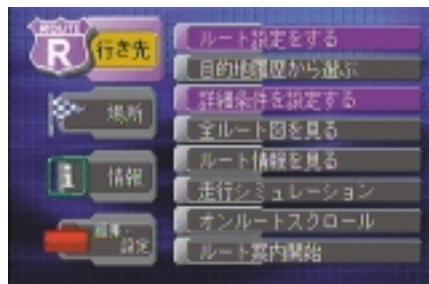
- ・地図から探す
- ・名称から探す
- ・住所から探す
- ・電話番号から探す
- ・ジャンルから探す
- ・個人名から探す
- ・マークから探す
- ・周辺施設から探す
- ・座標から探す

詳しくは、「場所を探す」(68ページ)をご覧ください。

ここでは、「横浜八景島シーパラダイス」をキーワードにして目的地を設定してみましょう。出発地は自動的に現在の自車位置になります。

1 メニューボタンを押す

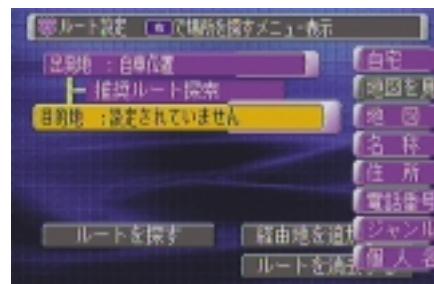
メインメニューが表示されます。



2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「行き先」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

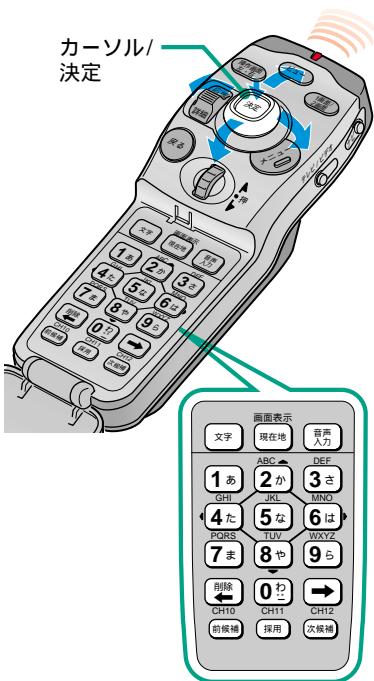
3 「ルート設定をする」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

「ルート設定」画面になります。



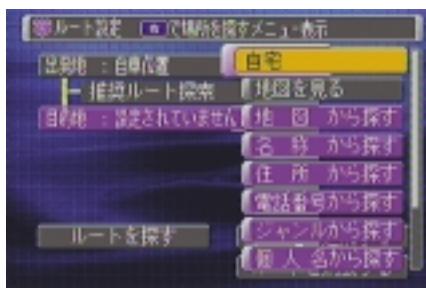
ちょっと一言

「ルート設定」画面で、出発地・経由地・目的地のそれぞれの間のルートを探す条件を設定することができます。詳しくは、「ルートを探す条件を決める」(58ページ)をご覧ください。



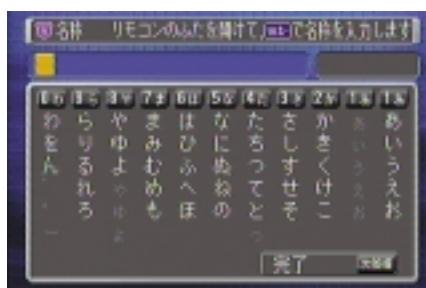
4 「目的地」を選び、カーソル/決定ボタンを右に動かす(またはカーソル/決定ボタンを押して決定する)

場所を探す方法を選ぶメニューが表示されます。



5 「名称から探す」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

名称を入力する画面になります。



6 リモコンの数字キーまたはカーソル/決定ボタンで文字を入力する

リモコンの数字キーで入力する場合

例えば、「い」を入力するには、[1あ]キーを2回押して「い」を選択し、[採用]または[]キーを押します。

カーソル/決定ボタンで入力する場合

カーソル/決定ボタンを上下左右に動かして文字を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定します。

間違った文字を入力したときは
[削除]キーを押します。

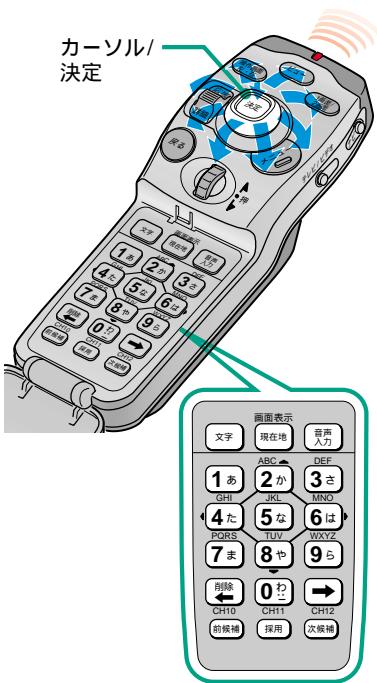
ちょっと一言

名称の一部分だけが一致すれば、候補をリスト表示します。
(手順8参照)

7 手順6を繰り返す

必要なキーワードを入力します。

[次ページへつづく](#)

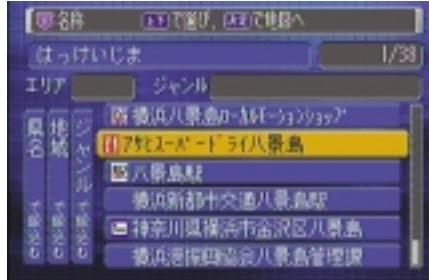


ちょっと一言

- ・広域/詳細レバ - リスト項目を送ることができます。
- ・候補が多いときは、県名、地域、ジャンルで絞り込むことができます。「名称から探す」(70ページ)をご覧ください。

8

「完了」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する(またはリモコンの[次候補]キーを押す)



9

リストから「横浜八景島シーパラダイス」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

指定した場所(横浜八景島シーパラダイス)の地図画面になります。



10

地図で場所を確認し、カーソル/決定ボタンを押して決定する

ちょっと一言

- ・経由地を1ルートに4か所まで設定できます。「経由地を決める」(56ページ)をご覧ください。
- ・下記の場合は、手順10の画面は出ず、自動的にルート設定画面に戻ります。

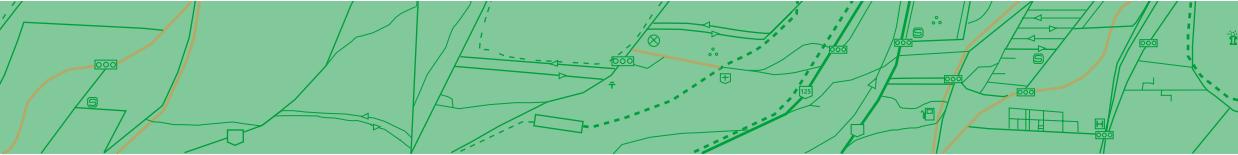
設定地点に情報がない
周辺の駐車場情報がない



11

「ここを設定する」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する

+ マークが目的地を意味する旗マーク(■)に変わり、自動的にルート設定画面に戻ります。



ちょっと一言

- 「有料道優先」など、ルートを探す条件を指定してしてルートを探すこともできます。詳しくは、「ルートを探す条件を決める」(58ページ)をご覧ください。

12

「ルートを探す」が選ばれているので、そのままカーソル/決定ボタンを押して決定する

各条件で探索されたルートが表示されます。カーソル/決定ボタンの上下で希望の条件を選び、押して決定すると、ルート案内が始まります。

ここだけ読んでも
使えます

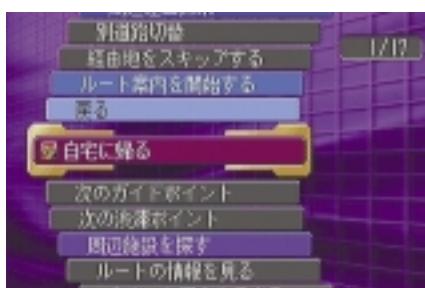
自宅に帰る

ジョグダイヤルで「自宅に帰る」までのルートをすばやく探して、道案内させることができます。

1

ジョグダイヤルを押す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。



2

ジョグダイヤルを回して「自宅に帰る」を選び、ジョグダイヤルをそのまま押して決定する

自動的に自宅に帰るルートを探し、道案内が始まります。

ルートを探している画面



ルート案内画面

ちょっと一言

- ・自宅が登録されていないときは、「自宅を登録する」と表示されます。
ジョグダイヤルを回して、次のどちらかを選んでください。
「はい」：すぐに自宅を登録する
「いいえ」：自宅を登録しない
編集・設定メニューでも、自宅を登録することができます。(98ページ)

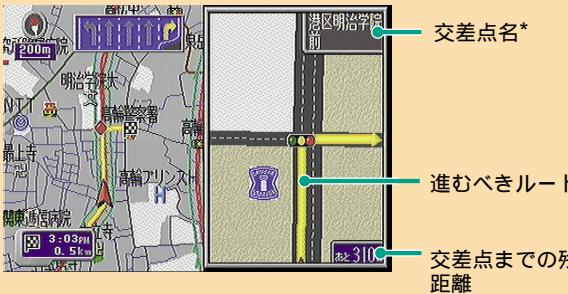
- ・パーキングブレーキを引いていないと自宅の登録はできません。
- ・ジョグダイヤルで決定するときは、ジョグダイヤルをそのまま押してください(17ページ)。
- ・前の画面に戻りたいときは、リモコンの戻るボタンを押します。
- ・「有料道優先」など、ルートを探す条件を指定してしてルートを探すこともできます。詳しくは、「ルートを探す条件を決める」(58ページ)をご覧ください。

ルート案内の流れ

ルート案内中は、画面表示と音声ガイドで道案内をします。

交差点拡大図

曲がり角などのガイドポイントに近づくと、交差点の拡大図と音声ガイドで誘導します。



START!

ルート案内を始めます。

400メートル先、天現寺橋、左方向です。

まもなく、左方向です。

900メートル先、高速入口です。

スタンダードビュー

現在地からの距離と
到着予想時刻

■ 目的地まで

■ 経由地1まで
(経由地2・3...以下同じ)



ガイドポイント表示
曲がるべき方向、
交差点名*、交差
点までの残距離が
表示されます。

VICSの最新
情報提供時刻**

* 情報がない場合表示されません。

** 下段が黄色になっているときは、ルート上の10km以内に渋滞・工事・規制情報があります。

一般道路

ハイウェイマップ

進行方向の主要な地点（ジャンクション、インター、サービスエリアなど）の情報が表示されます。

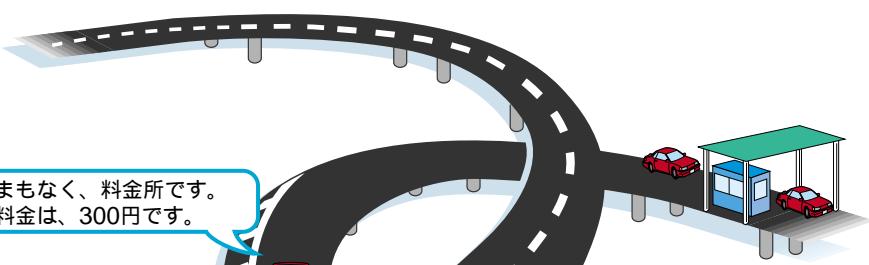
（ピュ）ボタンをくり返し押すと表示することができます。

また、カーソル/決定ボタンまたは広域/詳細レバーで地点表示を手前に送ることができます。



道路状況表示

受信したVICS情報によって色分けされます。
赤：渋滞、オレンジ：混雑、青：平常、白：情報なし

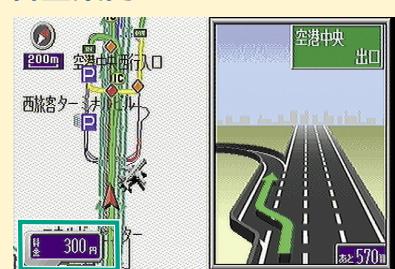


高速道路

ルートから外れると（リルート機能）自車がルートから外れると、目的地/経由地までのルートを自動的に探しながらします。（34ページ）

渋滞・工事中・駐車場の混雑などはVICS機能搭載なので、リアルタイムの情報を入手できます。（31ページ）

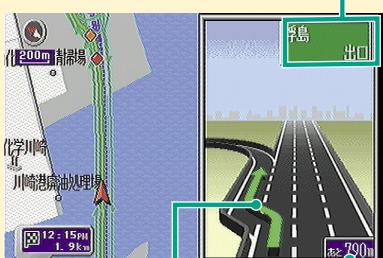
料金案内



ジャンクションガイド/ランプガイド

ジャンクションガイドやランプガイドが表示され進行方向を案内します。

出口または分岐点名



進行方向イメージ 分岐点までの残距離

声で操作する

音声コマンドを言うだけで、地図の表示やルート検索などの基本的操作を行うことができます。

詳しい使いかたについては「音声で操作する」(128ページ)、音声コマンドの一覧については「音声コマンド一覧」(154ページ)をご覧ください。

こんなことができます

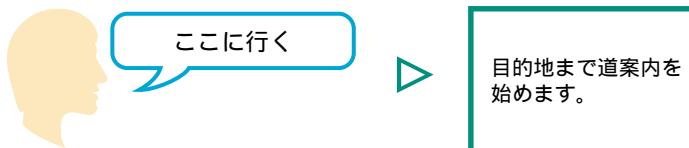
マークを登録した場所の地図を見る



地図の広域/詳細や地図の表示などを変える



今表示している地図の所まで行く

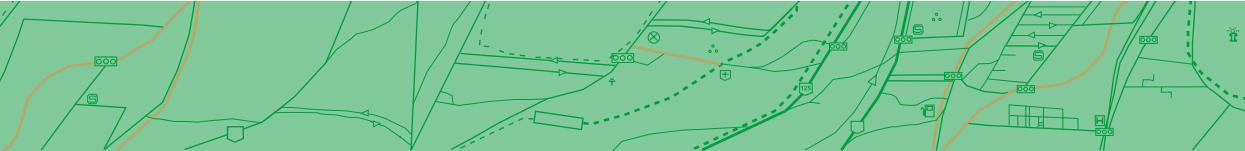


所要時間を聞く



自宅に帰る



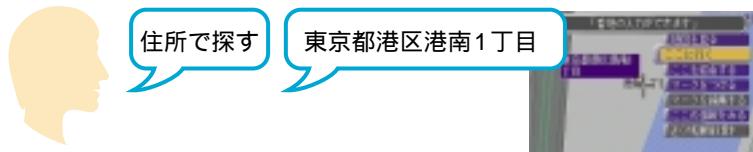


ここだけ読んでも
使えます

目的地などの場所を探すこともできます

「住所をどうぞ」・「施設名をどうぞ」など、本機が音声と画面で次のコマンドを要求してきたときは、対話する要領で次の指示を言ってください。

住所を探す



レジャーポイントを探す



操作のしかた

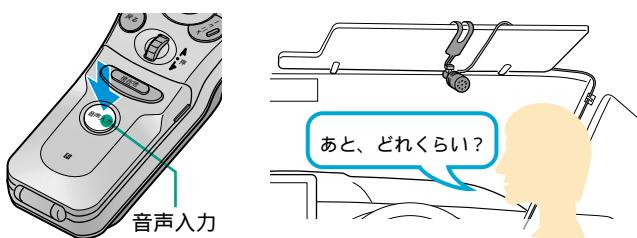
音声コマンドが分からなくなったら
右の手順で、「音声メニュー」と言つ
てください。受け付けることのでき
るコマンドが表示されます(音声メ
ニュー画面)。詳しくは、「音声メ
ニューを表示する」(132ページ)を
ご覧ください。



メニュー画面やジョグダイヤルメ
ニュー画面が表示されているときは、
操作できません。

音声入力ボタンを短く押し、ピッと音がしたら、音
声コマンドを話す

運転の姿勢のままで発話してください。マイクに顔を向ける必
要はありません。



誤認識した操作を取り消すには

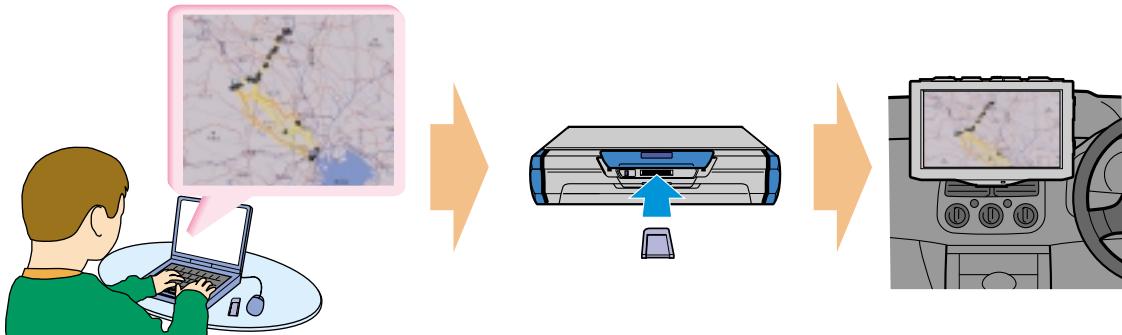
戻るボタンまたは音声入力ボタンを2秒以上長押ししてください。

メモリースティックに保存する

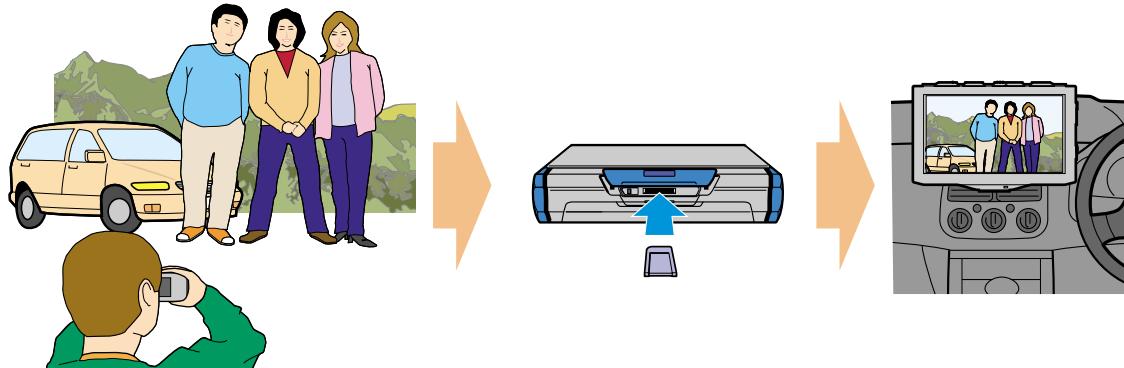
別売りのメモリースティックに、ルート設定情報などを保存することができます。
詳しい使いかたについては「メモリースティックを使う」(114ページ)をご覧ください。

こんなことができます

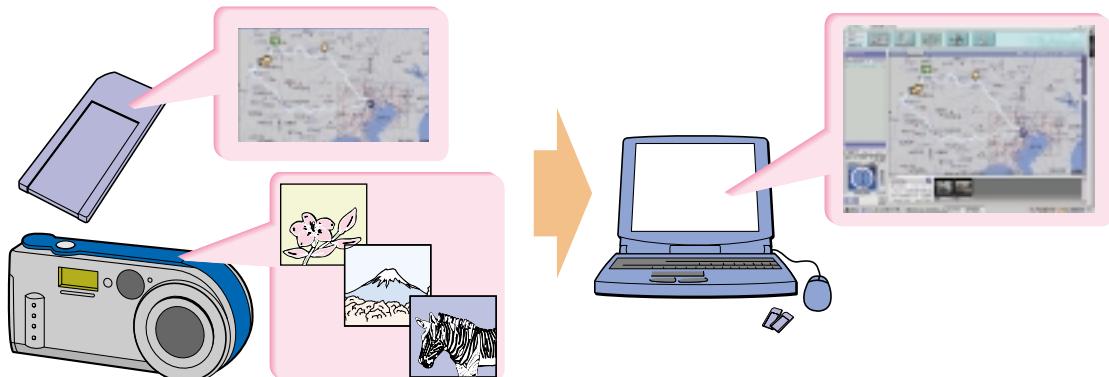
自宅のパソコンでルート設定したデータを使って、ルート案内させる
“Navin' you”アプリケーションを使って自宅で目的地を設定し、メモリースティックに保存したデータをナビシステムに読みませることができます。



デジタルカメラなどで撮影した画像データを、モニターで見る
メモリースティックに保存した画像データ (JPEG形式、BMP形式、GIF形式) をナビシステムに読み込ませて、モニターに表示することができます。



帰宅したら、自宅のパソコンでオリジナルのドライブアルバムを作る
メモリースティックに走行履歴を保存して自宅のパソコンに読み込み、“GTREX2”アプリケーションを使って走行履歴を地図上に呼び出し、さらにデジタルカメラの画像を貼りつけて、ドライブアルバムを作ることができます。





ここだけ読んでも
使えます

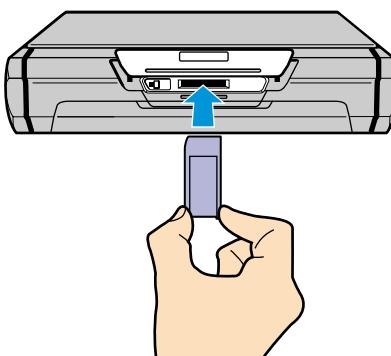
メモリースティックを挿入するには

メモリースティック挿入口のカバーを上げて、下図のように挿入します。



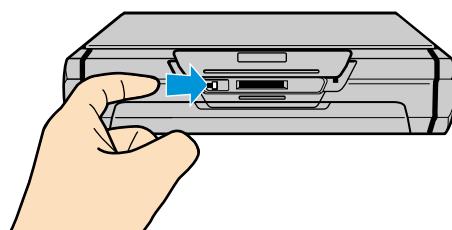
ご注意

メモリースティックを挿入するときは、奥までしっかり差し込んでください。

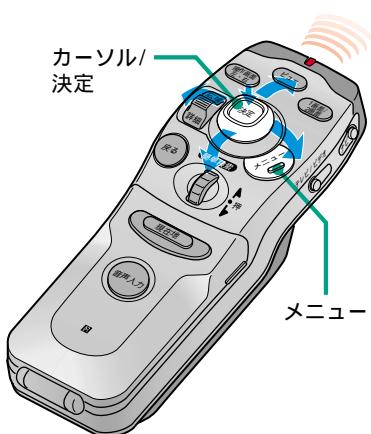


取り出すには

取り出しレバーを矢印の方向にスライドさせます。



操作のしかた



- 1 メニューボタンを押す
 - 2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「編集・設定」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する
 - 3 「メモリースティック」を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定する
-

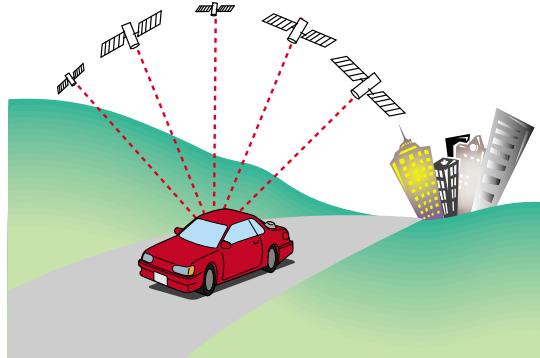
カーナビゲーションって何だろう?

自車の位置はどうやって測るの? はか

GPS衛星からの電波で測ります(測位します)

GPS(Global Positioning System—全世界測位システムの意味)衛星は、位置測定用の電波を地上に放射しています。その電波を受信すると、受信者の現在位置(緯度・経度・高度)を知ることができます。緯度・経度の計算には少なくともそのうちの3個の衛星から電波を受信する必要があります。さらに高度を計算するには4個の衛星から受信する必要があります。

GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、通常はその精度を数mから数10mの誤差で変動させています。その結果、カーナビゲーションシステムのGPS測位には、数10mから場合によっては約200mの誤差が生じことがあります。



自律航法とマップマッチングで、GPS測位による

自車位置の誤差などを補います

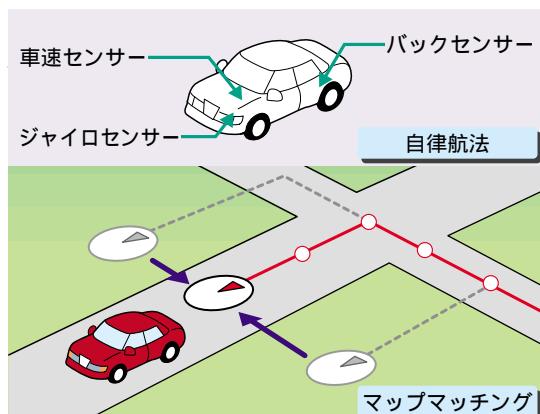
障害物などでGPS衛星の電波を受信できない場合でも、本機は自律航法とマップマッチングで自車の位置を補正して表示することができます。

自律航法とは

ジャイロセンサーにより車の移動方向や傾きを判断し、車速パルスから走行距離を計算して、自車の位置を割り出します。測位のためには、車速センサーとバックセンサーを正しく取り付ける必要があります。

マップマッチングとは

自車マークが実際に走行している道路から外れて表示されている場合に、そのそれを補正して必ず地図の道路上に表示させる機能です。この機能は、地図ディスクの中でもマップマッチングデータのある道路でのみ働きます。

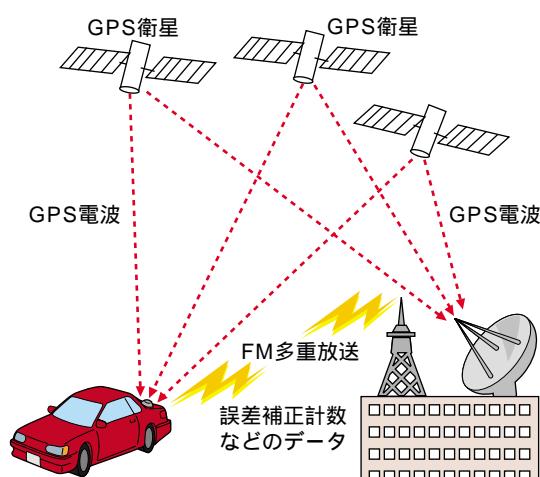


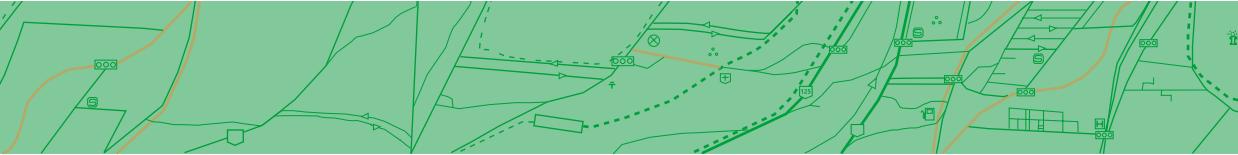
DGPSでさらに精密に

DGPS(Differential GPS)とは、複数のGPS衛星の電波を地上の基準局で受信してその誤差を測定し、補正データを各ナビゲーション機器に提供するシステムです。日本では(株)衛星測位情報センターが提供するDGPS補正データを、各地のFMラジオ局からFM多重放送しており、カーナビで受信して測位誤差の補正に使用できます。これにより、GPS衛星による測位誤差を理論上は約10分の1に低減することができます。

DGPSを利用するにはこのサービスを提供しているFMラジオ放送局を選局しておく必要がありますが、本機では、自動サーチにより常に受信状態のよい周波数を選局します。

DGPSサービスを発信しているFM放送局については「用語集」(147ページ)の「DGPS機能」をご覧ください。





VICSの道路交通情報は？

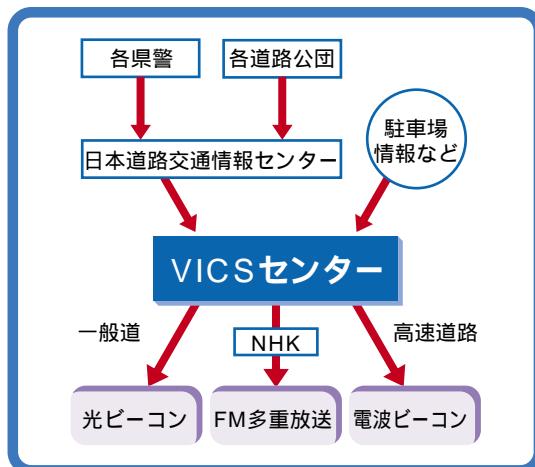
VICSとは

VICS (Vehicle Information and Communication System) とは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供し、交通渋滞の緩和と安全性の向上をはかる道路交通情報通信システムです。VICSセンターは、官学民の協力により種々の道路交通情報を一元化して編集処理し、リアルタイムに提供することなどを目的として設立された財団法人です。

提供されるサービス情報には次のようなものがあります

- ・渋滞情報：渋滞地点、渋滞区間など
- ・所要時間情報：主要地点間の所要時間
- ・交通障害情報：事故、故障車、工事など
- ・交通規制情報：通行止め、速度規制、車線規制など
- ・駐車場情報：駐車場、パーキングエリア、サービスエリアなどの混雑状況など

VICSセンターのサービス地域やVICSに関するお問い合わせについて詳しくは、「VICSについて」(136ページ)をご覧ください。



VICS情報の提供方法

VICS情報は次の3つの方法で提供されています。

光ビーコン(主要幹線道路)

主に主要幹線道路に設置。前方10km程度の一般道/高速道路の交通情報を提供。

FM多重放送

FM放送波を利用して、各都道府県単位の広域情報を提供。各地のNHK FM放送局から放送。

電波ビーコン(高速道路)

主に高速道路上に設置。前方200km程度の高速道路と周辺一般道路の交通情報をなどを提供。

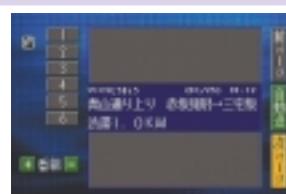
本機単体で受信できるVICS情報は、FM多重放送で提供される情報のみです。電波ビーコンおよび光ビーコンによる情報を受信するには、別売りのビーコンユニットNVA-VB3が必要です。

VICS情報の表示形態

VICS情報は次の3種類の表示形態で提供されます。

文字表示型(レベル1)

VICS情報が文字で表示されます。最新の道路交通情報を文字で提供し、ドライバーのルート選択をサポートします。



簡易图形表示型(レベル2)

パターン化された图形や文字によって、渋滞箇所や区間の所要時間が表示されます。走行方向前方の道路交通状況がひと目でわかり、ルート選択の参考になります。



地図表示型(レベル3)

ナビシステムの地図画面上に、渋滞情報などが重ねて表示されます。走行地点と渋滞箇所がひと目でわかります。別売りのビーコンユニットを接続すると、刻々と変化する道路交通状況に合わせたコース選択が可能になります。

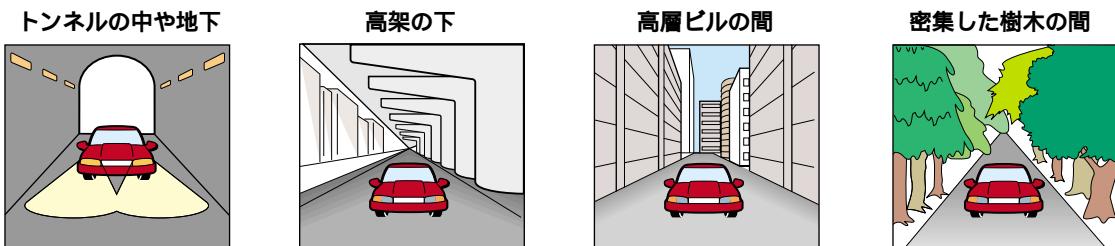




自車位置の誤差はどういうときにでるの？

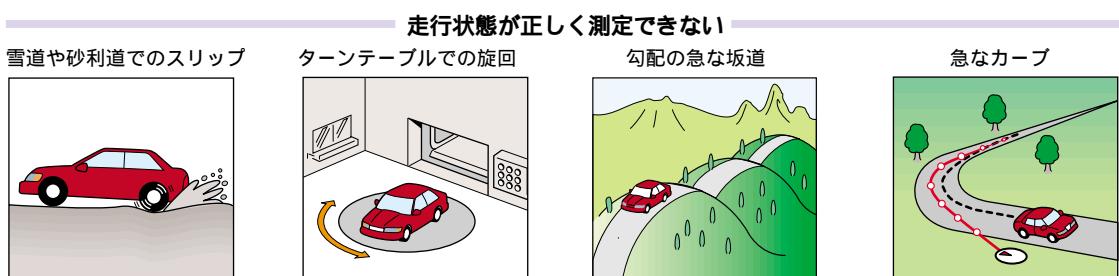
GPSやDGPS、VICSの電波を受信しにくい場所

GPS、DGPS、VICSは電波を利用して情報を得ているため、次のような場所では情報を受信できなかったり、受信しにくいことがあります。

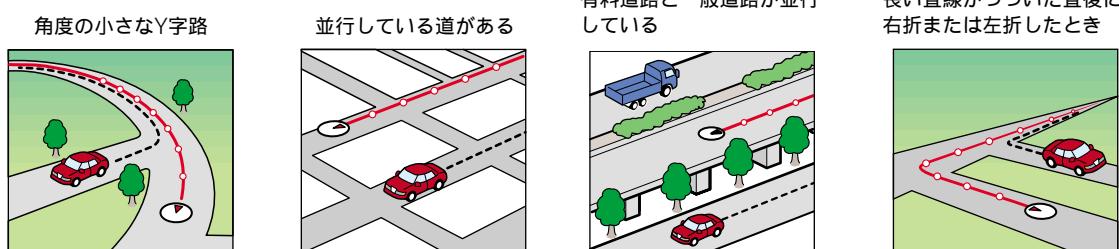


自律航法、マップマッチングの誤差が大きくなる場合は？

次のような状況では、自律航法やマップマッチングの誤差が大きくなることがあります。

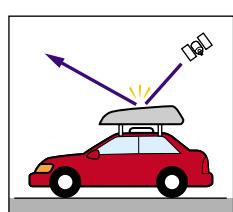


マップマッチングで自車マークが他の道路に乗ってしまう



その他

GPSアンテナがルーフキャリアなどの下に設置してあるとき

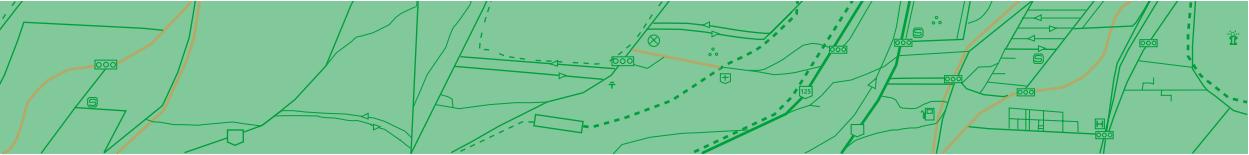


タイヤやチェーンの交換後

フェリーなどで移動したあと

地下駐車場を走行しているとき

地図がない新しい道路を走行しているとき



ルート探索とは？

GPSにより現在地を知る機能に加えて、ナビシステムの主要機能にルート探索があります。ルート探索とは、目的地（行き先）および経由地を決めて道筋（ルート）を自動的に探させることです。

本機では、次のようにルートを設定することができます。

詳しい操作のしかたについては、「行き先を決める」（54ページ）をご覧ください。

目的地、経由地を決める

出発地は、現在の自車位置になります。

目的地が、ごく近い場合は、目的地だけを設定します。

経由地は、目的地がある程度遠い場合や、一部の道を知っている場合に設定すると、うまくルートを探すことができます。

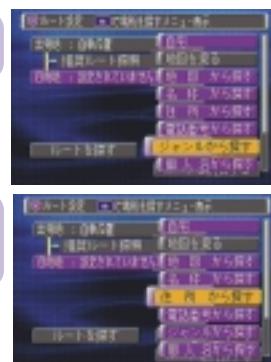
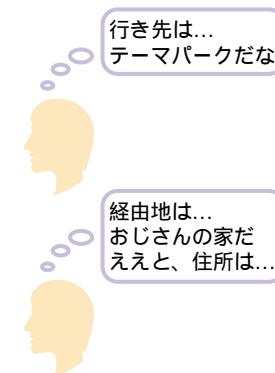
目的地や経由地を指定するには、次の方法があります。

- 地図上で地点を決める

地図画面を見ながら場所を探して目的地、経由地に指定します。（「決定メニュー」36ページ参照）

- 場所を検索して指定する

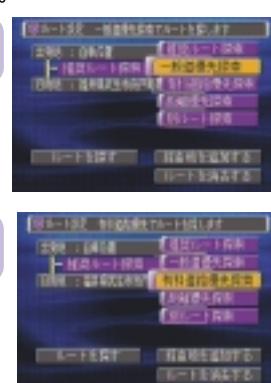
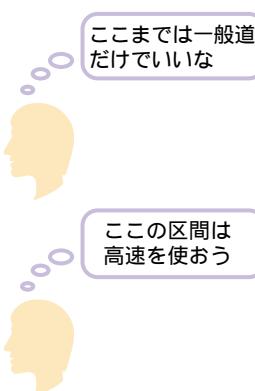
検索のしかたには次の多彩な方法があります。
周辺施設から・ジャンルから・名称から・住所から・電話番号から・マークから・個人名から・緯度経度から



ルートを探す条件を設定する

ルートを探す際に、経由地ごとに次のいずれかの条件を選ぶことができます。

- 推奨ルート探索：一般道と有料道路とともに使い距離を考慮したルートを探します。何も指定しなければ、この条件が選ばれます。
- 一般道優先探索：一般道を優先したルートを探します。
- 有料道路優先探索：有料道路を優先したルートを探します。
- 距離優先探索：一般道を通る距離を優先したルートを探します。
- 別ルート探索：同じ条件で別ルートを探します。





ルート案内とは?

目的地までのルートを決定するとルート案内が始まります。

ルート案内中は、地図上に進むべき道筋が表示され、自車が正しく進んでいるかを確認できます。曲がり角などのポイントが近づくと、画面(交差点拡大図)と音声の案内が出て誘導してくれます。有料道路では、分岐点や出口での案内画面(ジャンクション/ランプガイド)などが出ます。詳細については、「ルート案内の流れ」(24ページ)をご覧ください。

ルート案内には、さらに次のような便利な機能が使えます。

道なり名称表示機能

走行中の道路名称や交差点名称などの表示を行います。「編集・設定」メニューで設定することができます。(「ルートの案内方法を設定する」106ページ参照)



道なり名称を
「表示する」にすると、
常に交差点名などを
表示します。

ご注意

以下の場合には道なり名称機能の情報は表示されません。

- ・自車の前方に表示する情報がないとき
- ・操作画面で地図をスクロールしているとき(カーソル(+ マーク)が表示されているとき)
- ・ガイドポイント表示(右欄)を「表示する」にしてルートガイドを行っているとき

リルート機能

自車がルートから外れると、自車位置から目的地(または経由地)までのルートを探しなおし、自動的にルートを変更します。

リルートが実行できない状況にあるときは、目的地(または経由地)までの直線距離を表示します(シンプルガイド機能)。自車が目的地(または経由地)に着くまでシンプルガイドが続きます。

ご注意

自車が自動ルート探索の対象でない道路を走行している場合はリルートされません。このときは、自動ルート探索の対象になる道路(国道など)に出れば、リルートを始めます。

渋滞回避リルート機能

VICSセンターから提供される最新の道路交通情報を受信し、ルート上に渋滞や交通規制などがあった場合は、それらを回避するリルートを行います。リルートしたときは、「ルートが変わりました」と音声で案内します。

(別売りビーコンユニット接続時のみ)

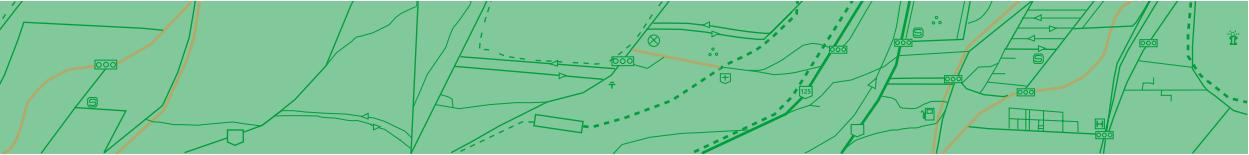
ガイドポイント表示機能

ルート案内中に、曲がるべき方向、交差点までの残距離が表示されます。「編集・設定」メニューで設定することができます。(「ルートの案内方法を設定する」106ページ参照)



ガイドポイント表示

その他のルート案内中の機能については、「その他の機能」(67ページ)をご覧ください。



ルートが見つからないときは

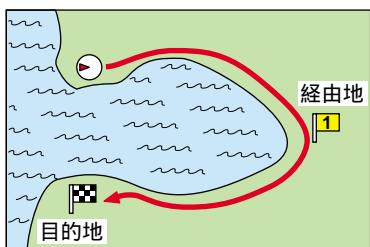
出発地と目的地の位置関係や、目的地付近での交通規制情報などによって、ルート探索が実行できないことがあります。下記のようなケースでは、目的地を少しずらしたり、経由地を追加することで、正しくルート探索を行えることがあります。

出発地と目的地を結ぶルートが、大きく弓なりになるとき

出発地と目的地の間に、海や険しい山があると、ルートを発見できないことがあります。

対処方法：

弓なりになっているルートの中央付近に、経由地(①)を追加してみてください。



目的地が中央分離帯のある道路上やその近くにあるとき

Uターン禁止の道路上に目的地を設定すると、道路規制の内容によって、ルートを発見できないことがあります。

対処方法：

反対車線側に、目的地を設定してみてください。

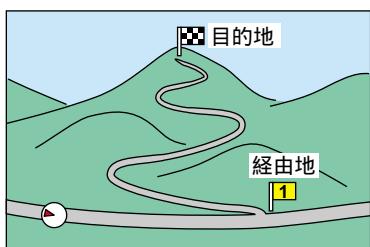


目的地が国道などの幹線道路から大きく離れているとき

山の中のスキー場などを目的地に設定すると、ルートを発見できないことがあります。

対処方法：

目的地近くの幹線道路上に、経由地(①)を追加してみてください。



目的地が観光地や駅周辺などで、交通規制の厳しい場所にあるとき

交通規制の内容を反映して、ルート探索に失敗することがあります。

対処方法：

少し手前の交差点などに、目的地または経由地(①)を設定してみてください。



ルートについてのご注意

ルートは、経路データがある道路上においてのみ探索されます。経路データがない地点に出発地/経由地/目的地が設定された場合は、その周辺の経路データがある道路上の交差点や分岐点がそれぞれ探索されます。

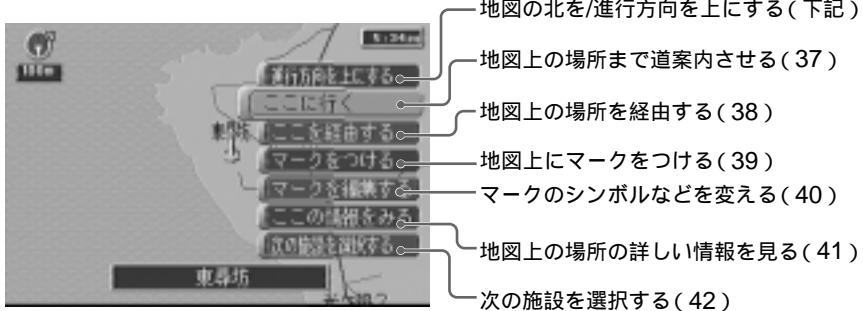
そのため、山岳部で近くに道路のない地域や、道路があっても商店街の中で細い道路しかないような地域に設定すると、すぐ近くまではルートが表示されない場合があります。

さらに、目的地を離島などに設定した場合、フェリー航路のデータが地図ディスクに含まれていないなどの理由により、ルートが見つからない場合があります。

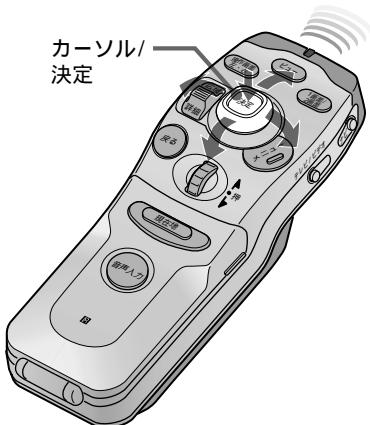
地図で見ている場所を使う(決定メニュー)

今見ている地図画面で、マークをつけたり、目的地を設定してルート探索を始めたりできます。カーソル/決定ボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。詳しくは()内のページをご覧ください。

決定メニュー画面



地図の北を/進行方向を上にする(決定 ▶ 北を上にする/進行方向を上にする)



「北を上にする」と、常に北方向を上にして地図を表示します。
「進行方向を上にする」と、常に進行方向を上にして地図を表示します。

1 地図画面上で、カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。



2 「北を上にする」(または「進行方向を上にする」)を選ぶ

3 カーソル/決定ボタンを押す

方位アイコン

：北を上にしている状態

：進行方向を上にしている状態

ちょっと一言

- ・北が上のとき「進行方向を上にする」、進行方向が上のとき「北を上にする」と表示されます。
- ・操作できない項目は、グレー表示になっています。



地図上の場所まで道案内させる(決定▶ここに行く)



地図画面上で見つけた行きたい場所を目的地にして、道案内させます。

1

地図画面上の行きたい場所にカーソル(+マーク)をあわせる



2

カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。



3

「ここに行く」を選び、決定する

+マークが、目的地を意味する旗マーク(旗マーク)に変わり、自動的にルートを探し、道案内が始まります。

ルートを探している画面



ルート案内

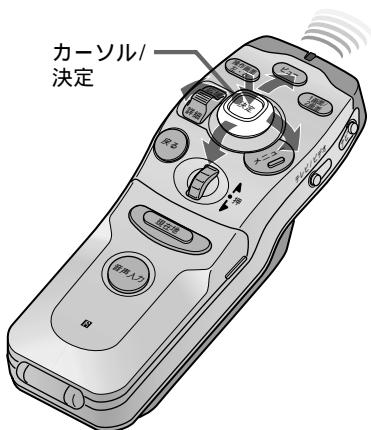
決定

ここに行く
北を上にする/進行方向を上にする



地図で見ている場所を使う(決定メニュー)

地図上の場所を経由する(決定 ▶ ここを経由する)



ルートをすでに設定しているときやルート案内(道案内)の途中で、地図画面上の寄ってみたい場所を、経由地として設定することができます。設定後は、自動的にそこを経由地としたルートを探して道案内してくれます。

1

地図画面上の寄りたい場所にカーソル(+ マーク)をあわせ、カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。



2

「ここを経由する」を選び、決定する

+マークが、経由地を意味する旗マーク(1)に変わり、自動的にルートを探しなおし、道案内が始まります。

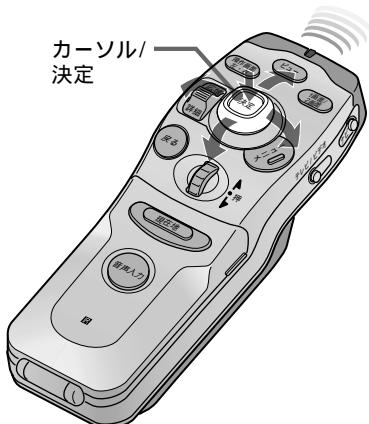
ルートを探している画面



ルート案内



地図上にマークをつける(決定 ▶ マークをつける)



ちょっと一言

マークは、なるべく詳細な地図画面でつけてください。100m以下の縮尺表示でつけるのがおすすめです。マークをつけると、「付近」と自動的に名前がつきます。

ドライブ中に見つけたレストランや景色のよかった場所、友人の家など、覚えておきたい場所を100か所までマークをつけて登録できます。マークを登録した場所は、あとからジョグダイヤル操作で呼び出したり、マークのシンボルを変えたりするマークの編集ができます。

1

地図画面上のマークをつけたい場所にカーソル(+ マーク)をあわせ、カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。



2

「マークをつける」を選び、決定する

+ マークの中心にマークがつきます。



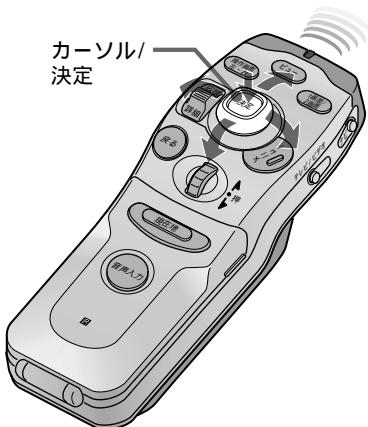
マークをつけた地点は、マークリストやジョグダイヤルメニューに自動的に登録されます。

決定

マークをつける
ここを経由する

地図で見ている場所を使う(決定メニュー)

マークを消したり、シンボルなどを変える(決定▶マークを消す/マークを編集する)



マークを削除したいときは

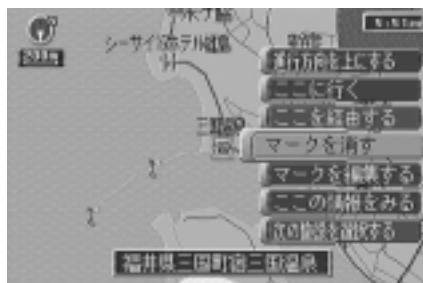
1 地図画面上のマークにカーソル(+マーク)をあわせる

+マークが指マークに変わります。



2 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。



3 「マークを消す」を選び、決定する

マークが削除されます。

マークを編集するときは

マークのシンボルなどを変えたいときは、上の手順3で「マークを編集する」を選んで決定すると、「マーク編集」画面になります。

詳しくは、「マークの名前などを変える」(99ページ)をご覧ください。



地図上の詳しい情報を見る(決定▶ここの情報を見る)

地図画面上のシンボルやマルチアングルポリゴン(市街地図)にカーソル(+)マークを重ねたとき、指カーソルが表示される場所には、VICS情報やデパートのテナントなどの情報があります。

指カーソル表示状態で決定ボタンを押すと、指カーソル位置の情報を見ることができます。

1 地図画面上で、カーソル(+)が指マークに変わる位置に移動する

コンビニのシンボルやマルチアングルポリゴンに重ねます。

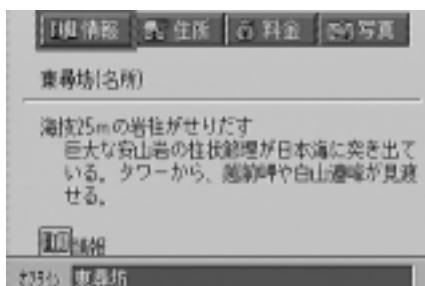


2 カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。



3 「ここの情報を見る」を選び、決定する



決定

ここ的情報を見る
マークを消す

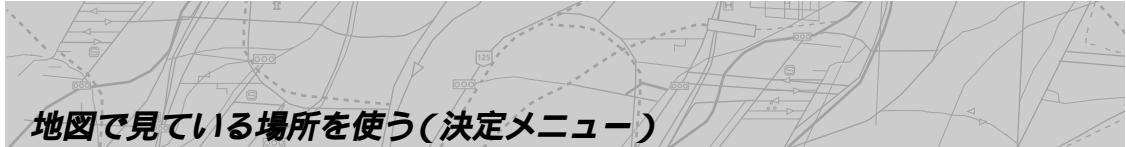
マークを編集する

● ちょっと一言

テナント情報を見るには、次のように操作します。

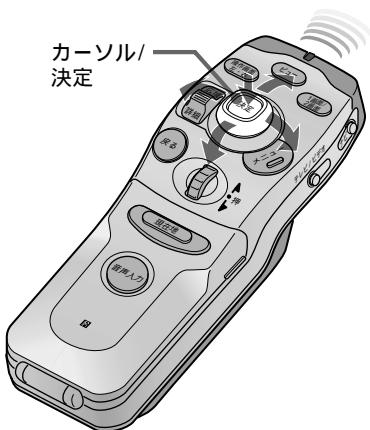
1 市街地図にする。

2 ビルのある位置にカーソル(+)を動かし、右の手順1~3を行う。



地図で見ている場所を使う(決定メニュー)

次の施設を選択する(決定 ▶ つぎの施設を選択する)



地図画面上の施設マークが密集しているとき、カーソル位置や地図画面の縮尺を変更することなく、近くの施設を選択することができます。

1

地図画面上で、カーソル(+)が指マークに変わった位置に移動する

施設マークに重ねます。

2

カーソル/決定ボタンを押す

決定メニューが表示されます。



3

「次の施設を見る」を選び、決定する

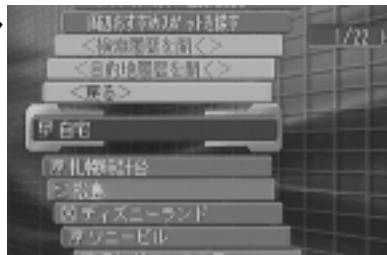
施設情報が、現在選ばれている施設に最も近い施設の情報に切り換わります。



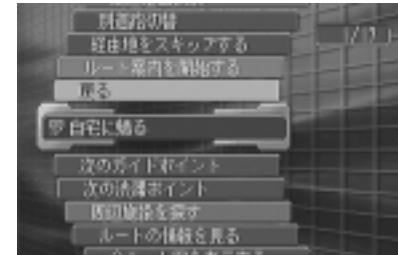
目的地などをすぐに呼び出す(ジョグダイヤルメニュー)

リモコンのジョグダイヤルを使って、最近探した場所(20件まで)、最近探した目的地(20件)、マークした地点(全地点)を呼び出して、ルートを探したり、地図を表示したりすることができます。また、ルート案内に従ってドライブしているときなどに、ルート案内操作が簡単にできます。ジョグダイヤルメニューには、次の2つがあります。

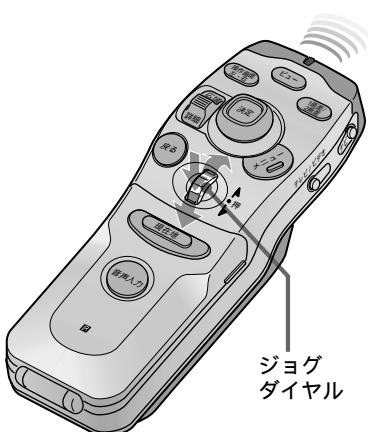
ジョグダイヤル メニュー画面



ジョグダイヤルを押したとき (ルート案内の簡単操作)



以前探した場所やルートを使う



1

ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

2

ダイヤルを回して<目的地履歴を開く>または<検索履歴を開く>を選び、決定する

<目的地履歴を開く>を選ぶと最近設定した目的地の一覧が、<検索履歴を開く>を選ぶと最近探した地点の一覧が表示されます。



目的地履歴と検索履歴は、それぞれ一番新しいものから20件まで表示されます。

初めてお使いになるときや1度も目的地や場所を探していない場合履歴として記憶されていないため、<目的地履歴を閉じる>または<検索履歴を閉じる>は選択できません。

次ページへつづく

決定/ジョグダイヤル

目的地履歴を開く/検索履歴を開く
次の施設を選択する



目的地などをすぐに呼び出す(ジョグダイヤルメニュー)

3 ダイヤルを回して、目的地履歴一覧または検索履歴一覧の呼び出したい名前を選び、決定する

次の操作を選ぶ項目が表示されます。



「戻る」 ルート履歴または検索履歴の一覧に戻ります。

「ルートを探」 呼び出した名前の地点を目的地にして、ルート探索が始まります。

「地図を見る」 呼び出した名前の地点が、地図画面上に表示されます。

「削除する」 マークを削除するかどうか確認する画面が表示されます。カーソル/決定ボタンを左右に押して「はい」を選んで決定すると、削除されます。

4 項目を選び、決定する

目的地履歴や検索履歴の一覧を閉じるときは

<目的地履歴を閉じる>または<検索履歴を閉じる>をジョグダイヤルで選び、決定します。

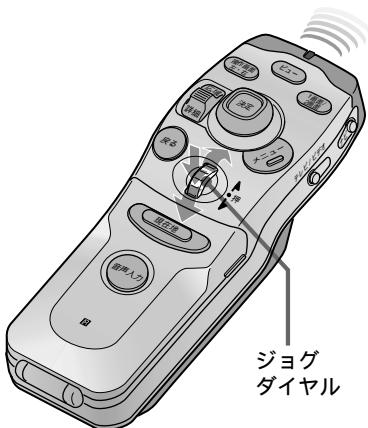
ご注意

次のようなときは、目的地履歴や経由地履歴、設定中の経由地や目的地が消去されている場合があります。

- バッテリーを交換したり、取り外したとき
- 電源電圧の変動で、バックアップ電圧が降下したとき



マークした場所を呼び出す



ジョグダイヤル

マークした場所を呼び出す

1

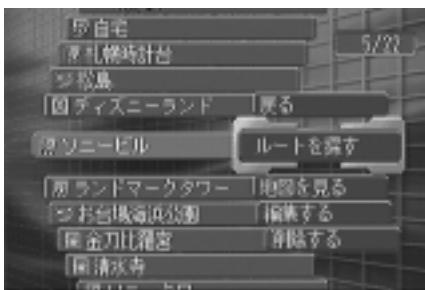
ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

2

ダイヤルを回して呼び出したいマーク(マークなど)の名前を選び、決定する

次の操作を選ぶ項目が表示されます。



「戻る」

ジョグダイヤルメニューに戻ります。

「ルートを探す」

呼び出したマークを目的地にして、ルート探索が始まります。

「地図を見る」 呼び出したマークが、地図画面上に表示されます。

「編集する」 「マーク編集」画面(99ページ)になります。

「削除する」 マークを削除するかどうか確認する画面が表示されます。カーソル/決定ボタンを左右に押して「はい」を選んで決定すると、削除されます。

3

項目を選び、決定する

ちょっと一言

- ・ジョグダイヤルで決定するときは、ジョグダイヤルをそのまま押してください(17ページ)。
- ・ジョグダイヤルメニューの「戻る」>を選んで決定すると、ひとつ前の操作画面になります。リモコンの戻るボタンと同じです。
- ・お買い上げ時には10個程度のマークが登録されています。より便利にお使い頂くために、よく行く場所などをマーク登録(「地図上にマークを付ける」39ページ参照)してください。

ご注意

「編集する」を操作するときは、安全な位置に停車して、パーキングブレーキを引いてください。



マークを並べ替える



ちょっと一言

- ・ジョグダイヤルで決定するときは、ジョグダイヤルをそのまま押してください(17ページ)。
- ・ジョグダイヤルメニューの「戻る」>を選んで決定すると、ひとつ前の操作画面になります。リモコンの戻るボタンと同じです。



ちょっと一言

50音順に並べ替えるには、マークに「読み」を設定しておく必要があります。

「読み」を設定するには、次のように操作してください。

- 1 ジョグダイヤルを回してマークを選ぶ。
 - 2 ダイヤルを押して「編集する」を選ぶ。
 - 3 「読み」を入力する。
- 編集・設定メニューの「マークの名前などを変える」(99ページ)でも設定することができます。

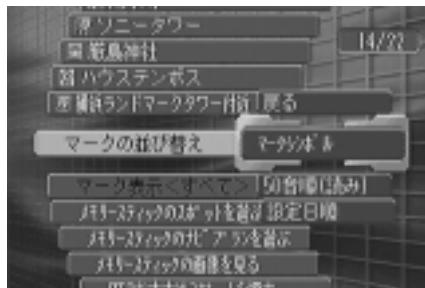
ジョグダイヤルメニューに表示されるマーク一覧をマークの種別(シンボル)順、50音順、設定日順のいずれかに並べ替えることができます。マークを呼び出すときに便利です。

1 ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

2 ダイヤルを回して「マークの並べ替え」を選び、決定する

並べ替える条件を選ぶ項目が表示されます。



「マークシンボル」マークの種類別に並び替わります。

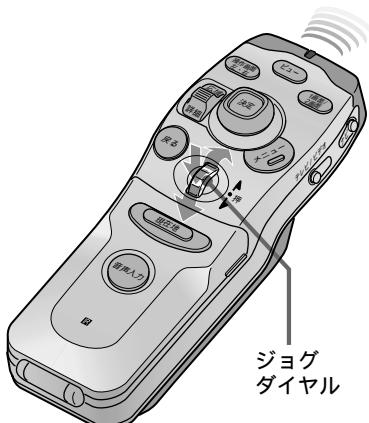
「50音順」 「読み」で設定した50音順に並び替わります。「読み」の設定されていないマークは最後になります。

「設定日順」 「マーク編集」画面で設定や変更をしたマークが新しいものから順に並び替わります。

3 並べ替える条件を選び、決定する



マークを絞り込む



● ● ご注意

いずれのマークも「グループ」が設定されていない場合、選択できるグループは「すべて」と「未設定」のみになります。

ちょっと一言

マークを絞り込むには、マークに「グループ」を設定しておく必要があります。

「グループ」を設定するには、次のように操作してください。

1 ジョグダイヤルを回してマークを選ぶ。

2 ダイヤルを押して「編集する」を選ぶ。

3 「グループ」を設定する。

編集・設定メニューの「マークの名前などを変える」(99ページ)でも設定することができます。

ジョグダイヤルメニューに表示されるマーク一覧をグループ別に絞り込むことができます。登録したマークの数が多くなったときに便利です。

あらかじめ、マークに「グループ」を設定しておく必要があります。

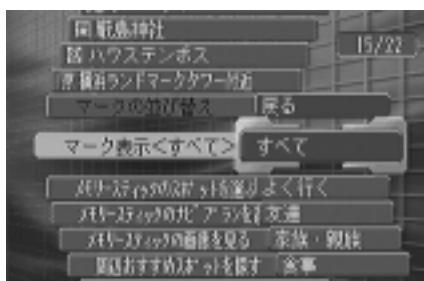
1 ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

2 ダイヤルを回して「マーク表示 < >」を選び、決定する

< > は現在選んでいるグループの名前を表示しています。(例: <すべて>)

グループの一覧が表示されます。



3 絞り込みたいグループを選び、決定する

< > が、選んだグループの名前になり、マークが絞り込まれます。

ジョグダイヤル

マーク表示
マークの並べ替え

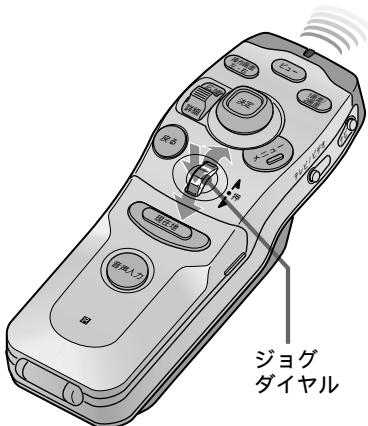
自宅を登録する/自宅に帰る

「自宅を登録する」は18ページを、「自宅に帰る」は23ページをそれぞれご覧ください。



目的地などをすぐに呼び出す(ジョグダイヤルメニュー)

周辺のおすすめスポットを探す



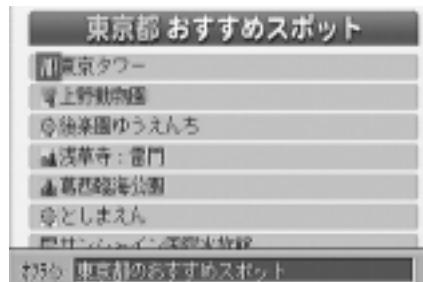
現在地図画面が表示している地点周辺のおすすめスポットの情報を、リストから探すことができます。

1 ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

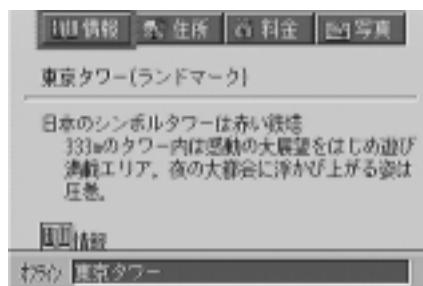
2 ダイヤルを回して「周辺おすすめスポット」を選び、決定する

現在地周辺のおすすめスポット一覧(都道府県単位)が表示されます。



3 ジョグダイヤルまたはカーソル/決定ボタンで、スポットを選び、決定する

選んだスポットの情報が表示されます。

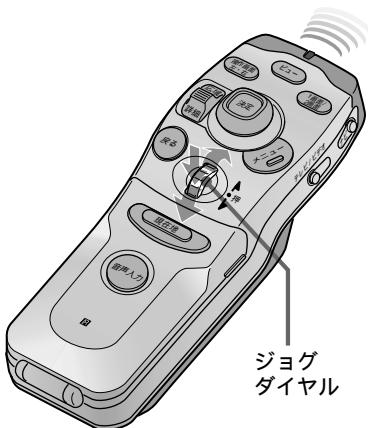


ジョグダイヤルまたはカーソル/決定ボタンで、「情報」、「住所」、「料金」、「写真」の各項目を選んで決定すると、それぞれの項目へジャンプします。

ジョグダイヤルまたはカーソル/決定ボタンで、画面をスクロールすることもできます。



メモリースティックのスポットを選ぶ



別売りのメモリースティックに保存されたスポット情報を読み出して使うことができます。

1 メモリースティックをナビ本体に挿入する(29ページ)

2 ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

3 ダイヤルを回して「メモリースティックのスポットを選ぶ」を選び、決定する

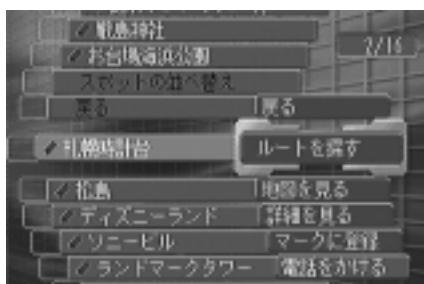
スポット情報の入ったファイルが一覧表示されます。

4 ダイヤルを回してファイルを選び、決定する

選んだファイル内のスポットが一覧表示されます。

5 ダイヤルを回してスポットを選び、決定する

次の操作を選ぶ項目が表示されます。



「戻る」 スポットの一覧に戻ります。

「ルートを探す」 呼び出したスポットの地点を目的地にして、ルート探索が始めります。

「地図を見る」 呼び出したスポットの地点が地図画面上に表示されます。

「詳細を見る」 呼び出したスポットの詳細情報が表示されます。

「マークに登録」 呼び出したスポットの地点が、ナビ本体のマークに登録されます。

「電話をかける」 呼び出したスポットに登録されている電話番号に電話します。

ジョグダイヤル

メモリースティックのスポットを
周辺のおすすめスポットを探す

ちょっと一言

- スポット情報をメモリースティックに保存するには、ソニーデジタルマップナビゲーターNavin'You 5.0以上がプリインストールされたVAIO、または同バージョン以上のパッケージソフトをインストールしたパソコンが必要です。
- Navin'Youでは、スポットを「ユーザーズポイント」と呼んでいます。
- スポットは、「メモリースティック位置情報交換ファイルフォーマットVer.1.0」形式で保存されます。

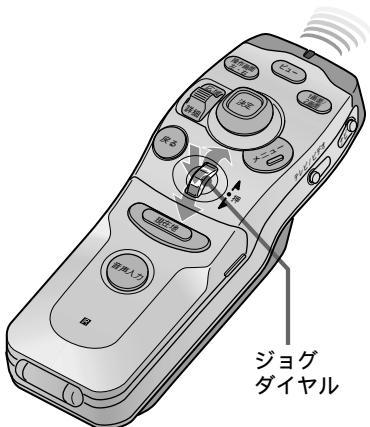
ご注意

- 1枚のメモリースティックに保存するファイル数は、100ファイル(読み込み可能な限界数)までにしてください。
- 1ファイルに保存するスポットは200個(読み込み可能な限界数)までにしてください。
- スポット名は、全角12文字までしか表示できません。



目的地などをすぐに呼び出す(ジョグダイヤルメニュー)

メモリースティックのナビプランを選ぶ



別売りのメモリースティックに保存されたナビプラン情報を読み込んで使うことができます。

1 メモリースティックをナビ本体に挿入する(29ページ)

2 ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

3 ダイヤルを回して「メモリースティックのナビプランを選ぶ」を選び、決定する

ナビプラン名が一覧表示されます。

4 ダイヤルを回して読み込みたいナビプラン名を選び、決定する

ナビプランの目的地設定に従って、ルートを探します。



ちょっと一言

- ナビプランをメモリースティックに保存するには、ソニーデジタルマップナビゲーターNavin'You 5.1以上がプリインストールされたVAIO、またはNavin'You 5.5以上のパッケージソフトをインストールしたパソコンが必要です。
- ナビプランは、「メモリースティック順路情報交換ファイルフォーマットVer.1.0」形式で保存されます。



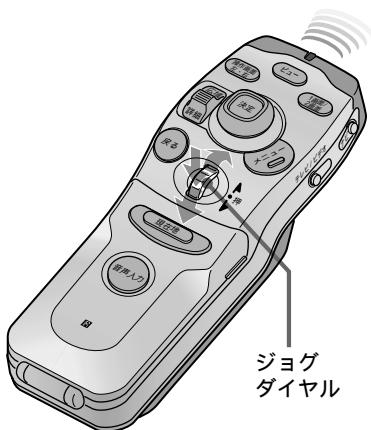
ご注意

- 1枚のメモリースティックに保存するナビプラン数は、100プラン(読み込み可能な限界数)までにしてください。
- ナビプラン名は、全角12文字までしか表示できません。
- ソフト側でナビプランを作成するとき、目的地点は5地点(ナビ側で読み込み可能な限界数)までにしてください。
- ナビプランで探したルートは、Navin'Youで探したルートと同じにならないことがあります。



メモリースティックの画像を見る

別売りのメモリースティックに保存された画像を、モニターに表示することができます。



ジョグ
ダイヤル

メモリースティックの
画像を見る
ナビプランを選ぶ

1 メモリースティックをナビ本体に挿入する(29ページ)

2 ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

3 ダイヤルを回して「メモリースティックの画像を見る」を選び、決定する

画像のサムネールが一覧表示されます。

サムネールのない画像の場合は、画像フォーマットを示すアイコンが表示されます。

4 カーソル/決定ボタンで画像(またはアイコン)を選び、決定する

選んだ画像が拡大表示されます。

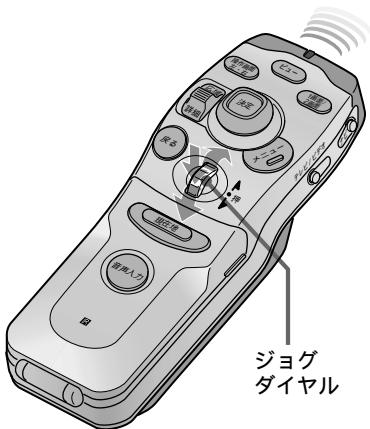
ご注意

- 1枚のメモリースティックに保存する画像は、200枚(読み込み可能な限界数)までにしてください。
- 画像のサイズが大きいほど、表示に時間がかかります。
- 読み込める画像は、「メモリースティック静止画ファイルフォーマットVer.1.0」形式で保存されている静止画像(JPEG、GIF*、BMP形式)です。
- 表示可能な画像サイズは、2400×2400までです。
- パソコンなどで加工した画像は、表示できない場合があります。

* Graphics Interchange Format®
は、米国CompuServe Incorporated
が著作権を有します。
GIFは、米国CompuServe
Incorporatedが権利を有するサービス
マークです。



走行中に次の案内を見る



ジョグ
ダイヤル



ちょっと一言

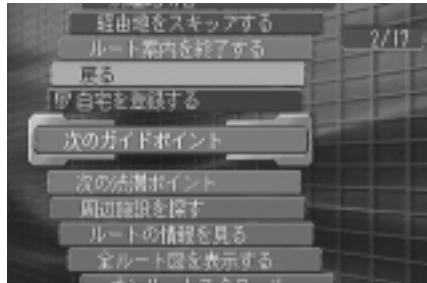
- ・ジョグダイヤルで決定するときは、ジョグダイヤルをそのまま押してください(17ページ参照)。
- ・ジョグダイヤルメニューの「戻る」>を選んで決定すると、ひとつ前の操作画面になります。リモコンの戻るボタンと同じです。

ルート案内に従ってドライブしているとき、ルート上の次のガイドポイント(一般道路の交差点や曲がり角、有料道路のインターチェンジなど)を案内させたり、渋滞箇所を案内させたりすることができます。ルートを設定しているときにのみ、操作できます。

1 ジョグダイヤルを押す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

2 ダイヤルを回し、以下の項目のいずれかを選び、決定する



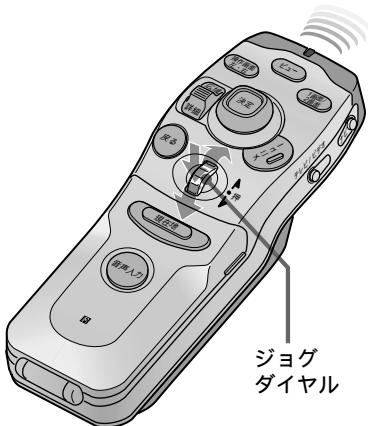
操作や機能について詳しくは、()内のページをご覧ください。

「次のガイド ポイントまでの距離などを音声で案内します。
ポイント」 (67)(ルート設定時のみ)

「次の渋滞ポ
イント」 VICS情報で得た渋滞箇所などの情報を音声でお知らせ
します。(31)



ルートを探しなおす



ちょっと一言

- ・ジョグダイヤルで決定するときは、ジョグダイヤルをそのまま押してください(17ページ)。
- ・ジョグダイヤルメニューの＜戻る>を選んで決定すると、ひとつ前の操作画面になります。リモコンの戻るボタンと同じです。

ルート案内に従ってドライブしているときなどに、設定したルートを確認したり、条件を変えてルートを探しなおすことなどができます。ルートを設定しているときにのみ、操作できます。

1 ジョグダイヤルを押す

ジョグダイヤルメニューが表示されます。

2 ダイヤルを回し、以下の項目のいずれかを選び、決定する



操作や機能について詳しくは、()内のページをご覧ください。

「ルートの情報」「ルート情報」画面になります。(63)
報を見る」

「全ルート図」 目的地までの所要時間や総距離などとともに、全ルートを表示する」 が地図画面上に表示されます。

「オンルート」 地図画面がルートに沿ってスクロールします。
スクロール」

「推薦ルート」 一般道と有料道路をともに使用し距離を考慮したルートを探します。何も指定しなければ、このルートが選ばれます。

「一般道路優先探索」 一般道を優先したルートを探します。

「有料道路優先探索」 有料道路を優先したルートを探します。

「距離優先探索」 一般道を通る距離を優先したルートを探します。

「別ルート探索」 同じ探索条件で、現在のルートとは別のルートを探します。

「周辺迂回探索」 現在のルートに対して、自車位置の前方数kmに限って迂回するルートを探します。

「別道路切替」 高速道路や有料道路が一般道と隣接している場合、実際に走行している道路と自車マークの位置が違っているときに、自車マークのある道路を切り替えます。

「経由地をスキップする」 ルート案内中に、次の経由地を通らないルートを探します。(経由地(1など)へのルート案内を行っているときのみ、選べます。)

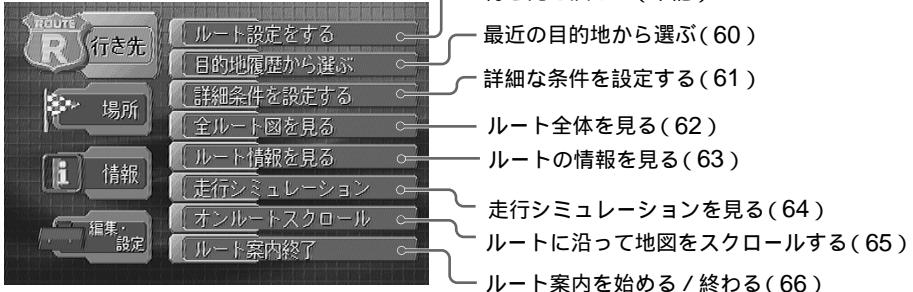
行き先を探す(行き先メニュー)

「目的地」や「経由地」を設定し、さらにそれぞれの地点を結ぶルートをいくつかの条件から選んで、計画に沿ったルートが探せます。複数のルートを同時に探すこともできます。

行き先メニューを表示するには、メニューボタンを押してから、「行き先」を選択してください。詳細は()内のページをご覧ください。

行き先

メニュー画面



行き先を決める(行き先 ▶ ルート設定をする)



ご注意

ルートが見つからない場合は
35ページをご覧ください。

「ルート設定をする」を選びと、目的地や経由地を指定して、新規ルートを作成することができます。経由地は4か所まで設定できます。

設定された目的地は20地点まで自動的に「目的地履歴から選ぶ」に保存され、以降は古いものから順に消去されます。

目的地を決める(行き先 ▶ ルート設定をする ▶ 目的地)

ここでは、地図画面から目的地を指定する操作を例に説明します。

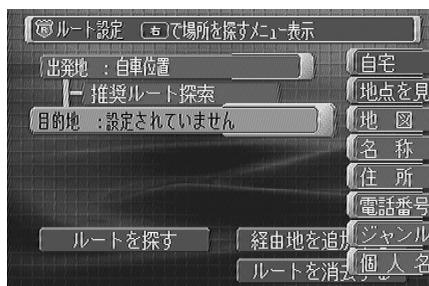
1 メニューボタンを押す

メインメニューが表示されます。

2 「行き先」を選び、決定する

3 「ルート設定をする」を選び、決定する

「ルート設定」画面になります。



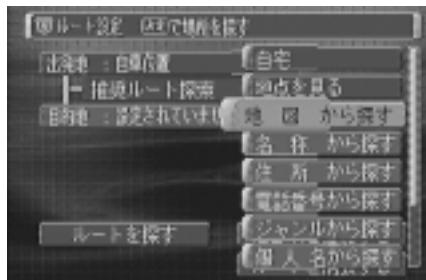


ちょっと一言

- 目的地を指定する方法には、以下の種類があります。
 - 地図から探す
 - 名称から探す
 - 住所から探す
 - 電話番号から探す
 - ジャンルから探す
 - 個人名から探す
 - マークから探す
 - 周辺施設から探す
 - 座標から探す
- 操作について詳しくは、「場所を探す」(68ページ)をご覧ください。
- 「自宅」を選んで決定すると、「目的地」が自宅に設定されます。
- すでに「目的地」が設定されている場合、「地点を見る」を選んで決定すると、その地点の地図画面になります。

4 「目的地」を選び、カーソル/決定ボタンを右に押す、または決定する

目的地を指定する条件を選ぶ項目が表示されます。



5 「地図から探す」を選び、決定する

地図画面になります。



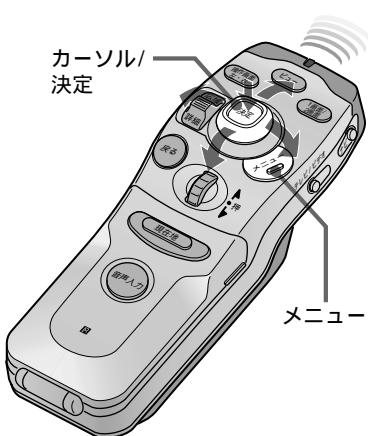
6 + マークを目的地にしたい場所に合わせ、カーソル/決定ボタンを押す

決定した地点が有料道路に近い場合、そこが有料道路上か否かの確認メッセージが表示されます。



7 「はい」または「いいえ」を選び、決定する

+ マークが目的地を意味する旗マーク(■)に変わり、自動的にルート設定画面に戻ります。



経由地を決める

(行き先 ▶ ルート設定をする ▶ 経由地を追加する)

目的地までのルートを探すとき、経由したい地点がある場合は、経由地を設定します。(1ルートにつき4か所まで)
地図画面から経由地を指定する操作を例に説明します。

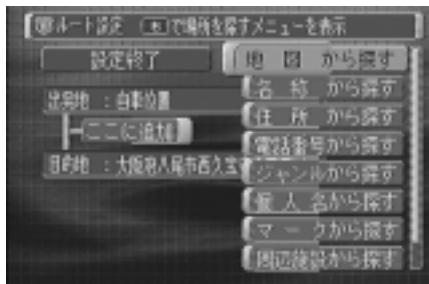
1 (メニュー) ▶ 行き先 ▶ ルート設定をする ▶ 経由地を追加すると選び、決定する

経由地設定画面が表示されます。



2 カーソル/決定ボタンを右に押す、または決定する

経由地を指定する項目が表示されます。



「経由地」がすでに設定されている場合、「削除する」を選んで決定すると、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。「はい」を選んで決定すると、経由地が削除されます。



ちょっと一言

・経由地を指定する条件には、以下の種類があります。

- 地図から探す
- 名称から探す
- 住所から探す
- 電話番号から探す
- ジャンルから探す
- 個人名から探す
- マークから探す
- 周辺施設から探す
- 座標から探す

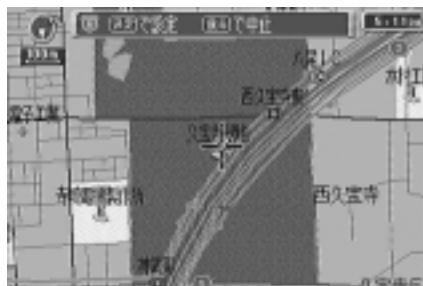
操作について詳しくは、「場所を探す」(68ページ)をご覧ください。

・すでに「経由地」が設定されている場合、「地点を見る」を選んで決定すると、その地点の地図画面になります。

3

「地図から探す」を選び、決定する

地図画面になります。



4

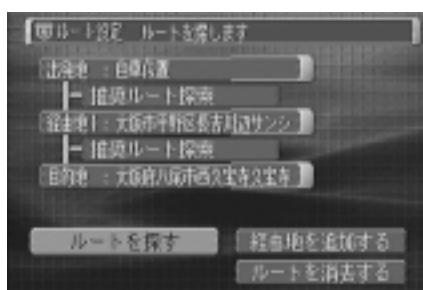
+ マークを経由地にしたい場所に合わせ、カーソル/決定ボタンを押す

決定した地点が有料道路に近い場合、そこが有料道路上か否かの確認メッセージが表示されます。

5

「はい」または「いいえ」を選び、決定する

+ マークが経由地を意味する番号旗マーク()に変わり、自動的にルート設定画面(手順1)に戻ります。



「経由地」をいくつか設定する場合、手順1~5をくり返します。経由地は4地点まで設定できます。

行き先

経由地を追加する



行き先を探す(行き先メニュー)

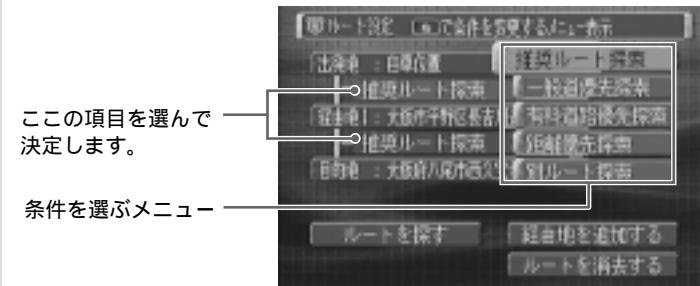


ルートを探す条件を決める(行き先 ▶ ルート設定をする ▶ ルートを探す条件を決める(「推奨ルート探索」など)と選び、決定する)

出発地から経由地、経由地から目的地まで、それぞれの地点と地点の間のルートを探す条件を設定します。

1 (メニュー) ▶ 行き先 ▶ ルート設定をする ▶ ルートを探す条件(「推奨ルート探索」など)と選び、決定する

ルートを探す条件を選ぶメニューが表示されます。



「推奨ルート探索」: 一般道と有料道路とともに使用し距離を考慮したルートを探します。何も指定しなければ、この条件が選ばれます。

「一般道優先探索」: 一般道を優先したルートを探します。

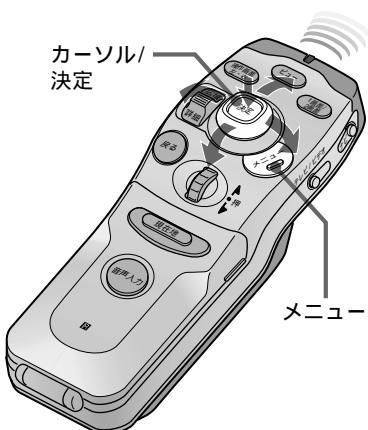
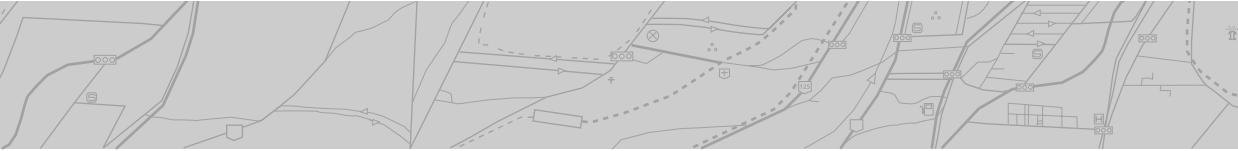
「有料道路優先探索」: 有料道路を優先したルートを探します。

「距離優先探索」: 距離を優先したルートを探します。

「別ルート探索」: 上記すべての探索条件以外でのルートを探します。

2 項目を選び、決定する

「経由地」がいくつがある場合、手順1と2をくり返してそれぞれの地点間のルートを探す条件を設定することができます。



ルートを探す (行き先 ▶ ルート設定をする ▶ ルートを探す)

経由地や目的地、地点間ごとのルートを探す条件を設定したあとで、ルートを探します。

▶ 行き先 ▶ ルート設定をする ▶ ルートを探すと選び、決定する

地図画面に戻り、ルートを探して道案内を始めます。

(ルートを探している画面)



行き先

ルートを探す
条件を決める

ちょっと一言

- カーソル/決定ボタンを上下に倒して、探索条件を切り換えると、それぞれの条件でのルートを見比べることができます。カーソル/決定ボタンを押して決定すると、ルート案内が始まります。
- 現在地ボタンを押して、ルート案内を始めることもできます。

ご注意

- ルート上に有料道路があると、料金が表示されます。自車位置や設定した場所(目的地、経由地)によって、正しい料金が表示されない場合があります。
- 有料道路を使用するルートを探したときの料金表示は、目安としてご利用ください。

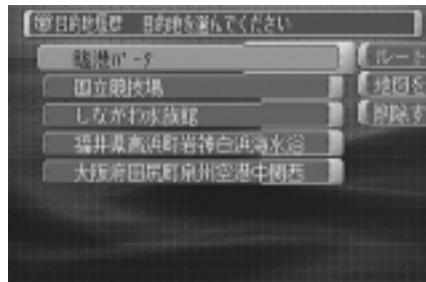


最近の目的地から選ぶ(行き先 ▶ 目的地履歴から選ぶ)



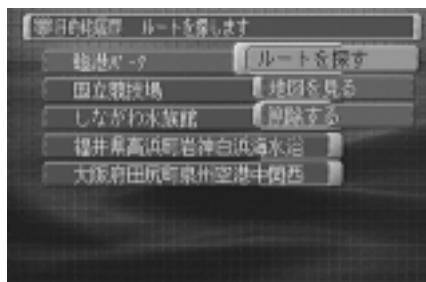
一度設定した目的地は、20地点まで自動的に保存されていますので、同じ目的地を改めて地図などから探す必要はありません。
目的地履歴は20地点を超えると古い順に消去されます。

1 メニュー ▶ 行き先 ▶ 目的地履歴から選ぶ と選び、決定する



2 目的地を選び、決定する

次の操作を選ぶメニューが表示されます。



「ルートを探す」: 地図画面に戻り、ルートを探します。

(59ページ参照)

「地図を見る」: 目的地の地図を表示します。

「削除する」: ルートを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。「はい」を選んで決定すると、削除されます。

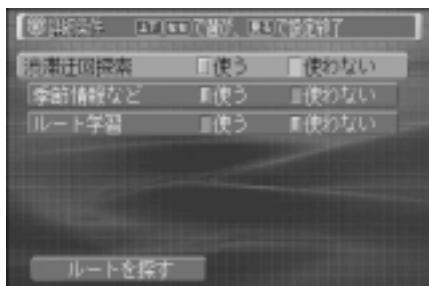


詳細な条件を設定する(行き先 ▶ 詳細条件を設定する)

VICS情報など、ルートを探すときの詳細な条件を設定します。



1 メニュー ▶ 行き先 ▶ 詳細条件を設定する と選び、決定する



2 カーソル/決定ボタンの上下を動かして項目を選び、左右を動かして設定を切り換える

「渋滞回避探索」は、VICSの情報から、渋滞している道を避けてルートを探索します。

「季節情報など」 地図ディスクの詳細規制情報(季節による規制情報)を反映するかどうかを選びます。「使う」にすると、常に規制があるものとして探索します。

「ルート学習」 よく通る道をナビシステムが学習していきます。「使う」にすると、ルート探索するときに、通る回数の多い道をルートとして使用します。
学習したルートは水色で表示されます。

3 「ルートを探す」を選び、決定する

行き先

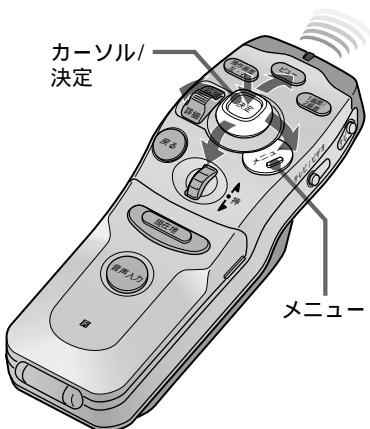
詳細条件を設定する
最近の目的地から選ぶ



- 「渋滞回避探索」は、別売りビーコンユニットを接続しているときのみ有効です。
- 「ルート学習」は、学習を行うルート上に交通規制がある場合や途中でリルート機能が働いた場合には実行されません。



ルート全体を見る(行き先 ▶ 全ルート図を見る)

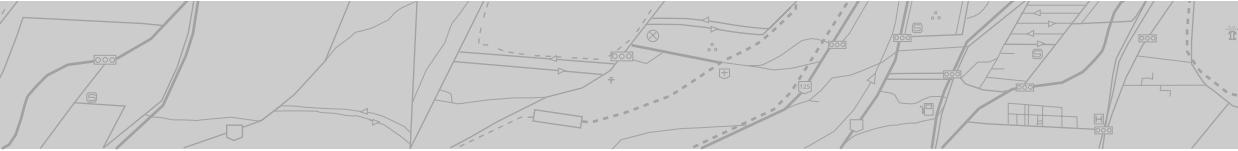


ルート全体を表示して、ルートを確認することができます。

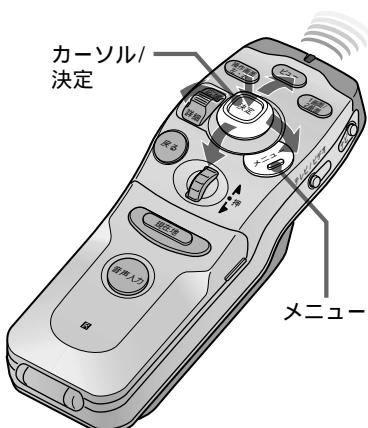
ルート案内中に、 ▶ 行き先 ▶ 全ルート図を見ると選び、決定する

全ルート図が表示されます。





ルートの情報を見る(行き先 ▶ ルート情報を見る)



ルート案内中に設定したルートの、概略情報(ジャンクション、インターチェンジ名称／道路名称／出発地、経由地、目的地)を表示します。

1 メニュー ▶ 行き先 ▶ ルート情報を見る と選び、決定する

「ルート情報」画面になります。

出発地から目的地までの各ポイントの名称、道路の種類、道のり総距離、所要時間、通行料金などが表示されます。



ご注意

- ルートが設定されていないと、「ルート情報」は選択/表示できません。
- 長距離に至るルートの場合、広域/詳細レバーで表示を送ることができます。
- この機能はルート案内中のみに働きます。車を安全な場所に停めてから操作してください。
- 所要時間と料金表示は、目安としてご覧ください。
- ルートを探してから、ルート情報を見ることができるようになります。少し時間がかかります。

2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして、ルートに沿った情報を見る

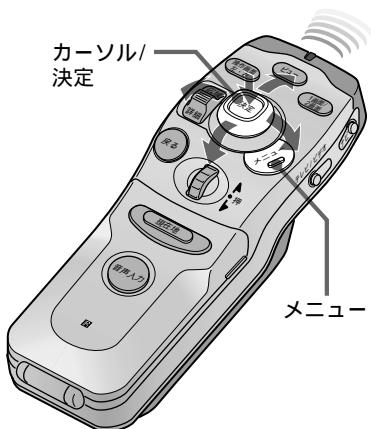
経由地や目的地を選んで決定すると、その地点の地図画面を表示できます。(グレー表示の地点は、地図画面にできません。) 戻るボタンを押すと、「ルート情報」画面に戻ります。

行き先

ルートの情報を見る
全ルートを見る



走行シミュレーションを見る(行き先 ▶ 走行シミュレーション)



画面上で自車マークを走行させることで、設定したルートを確認できます。

1

▶ 行き先 ▶ 走行シミュレーション と選び、決定する



ご注意

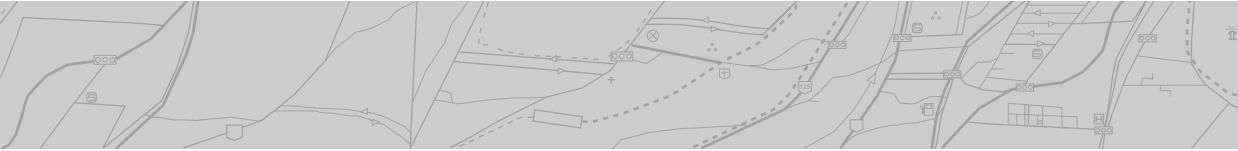
- ルートが設定されていないと、「走行シミュレーション」は選択/表示できません。
- この機能はルート案内中のみに働きます。車を安全な場所に停めてから操作してください。
- 車を走行させると、走行シミュレーションは中止されます。

2

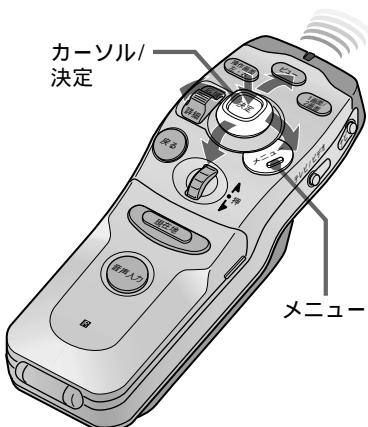
カーソル/決定ボタンを押す

自車マークがルートに沿って移動します。

シミュレーションを中止するには
戻るボタンまたはメニューボタンを押します。



ルートに沿って地図をスクロールする(行き先 ▶ オンルートスクロール)



ちょっと一言

手順1で「設定」を選んで決定すると、オンルートスクロールの停止位置の設定や、スクロール中に表示する施設選択設定ができます。

地図画面をルートに沿ってスクロールすることで、設定したルートを確認できます。

1 (メニュー) ▶ 行き先 ▶ オンルートスクロール と選び、決定する



2 「目的地へ」または「出発地へ」、「次の経由地へ」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

スクロールを始める地点が、設定されます。

3 「目的地まで」または「経由地まで」を選び、カーソル/決定ボタンを押す

+ マークが、設定した地点までルートに沿って移動します。

低速スクロールと高速スクロールを切り換えるには
スクロール中に、カーソル/決定ボタンを押します。

スクロールを一時的に中止するには
スクロール中に、「一時停止」を選び、決定します。

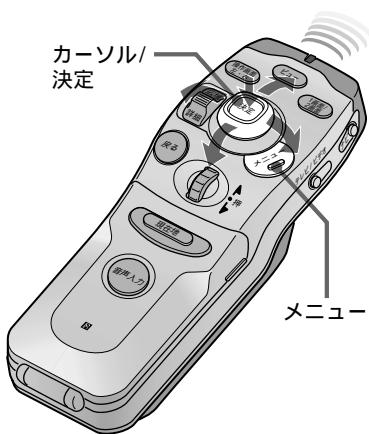
オンルートスクロールを中止するには
戻るボタンまたはメニューボタンを押します。

行き先

オ
ン
ル
ー
ト
ス
ク
ロ
ー
ル
走
行
シ
ミ
ュ
レ
ー
シ
ョ
ン



ルート案内を始める / 終わる(行き先 ▶ ルート案内開始 / 終了)



ルート案内を途中でやめたり、再開したりすることができます。

ルート案内を途中で終わるには

ルート案内中に、 ▶ 行き先 ▶ ルート案内終了と選び、決定する

ルート案内が終了します。

ルート案内を再開するには

 ▶ 行き先 ▶ ルート案内開始と選び、決定する

ルート案内が始まります。



その他の機能

音声案内

次に向かうガイドポイント(経由地、曲がるべき交差点など)までの道のりなどを音声で知らせます。(ルート設定時)

音声案内の主な項目は、以下のとおりです。

- ルート案内開始/終了

- ガイドポイント案内

ガイドポイントまでの距離、種類(名称)、方向を案内します。

方向の案内には

「右方向」、「ななめ右方向」、「左方向」、「ななめ左方向」、「Uターン」の5種類があります。

- ガイドポイント基本案内

ガイドポイントまでの距離、種類(名称)、方向、方面を案内します。

- VICS情報

ルート案内中もルート案内中でないときも、音声でお知らせします。

シンプルガイド機能

ルートから外れている(自車マークが案内している道路上にない)ときで、リルートが実行できない状況にあるときは、直線距離を表示します。

- シンプルガイド中は、次のような表示が出ます。

「目的地到着時刻」は表示されません。



- シンプルガイド中は、交差点拡大機能やジャンクションガイド機能などは働きません。

● ちょっと一言

直線距離について

直線距離は、編集・設定メニューの詳細設定の「ルートの案内方法を設定する」で、「到着時刻の対象」が「目的地」の場合は、目的地までの直線距離になります。「経由地」に設定して次の経由地がある場合は、次の経由地までの直線距離になります。

料金表示機能

ルートを探した直後に、そのルートの合計金額が表示されます。

ルート案内中は

料金所が近づくたびに、必要な料金を表示し、音声でも案内します。

ルート情報画面では

料金所で支払うべき料金が表示されます。

● ちょっと一言

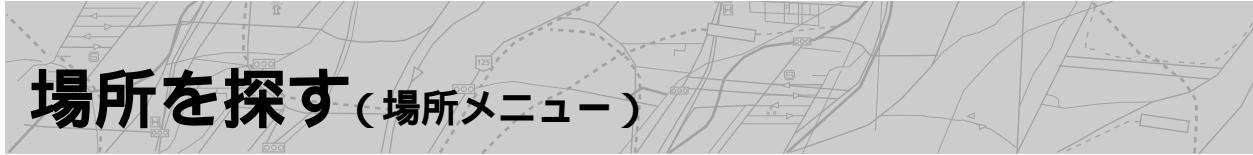
- 料金表示機能に対応している道路については、「料金表示機能の対象道路」(152ページ)をご覧ください。
- 料金表示は、普通車の場合のものです。

● ご注意

料金表示は、料金表示機能に対応していない道路を通る場合や、出発地/目的地が有料道路上のとき、また出発時に探したルートと異なる有料道路、入口、出口、を使用したときなどには正しく表示できない場合があります。料金表示は目安としてお使いください。

行き先

ルート案内開始/終了

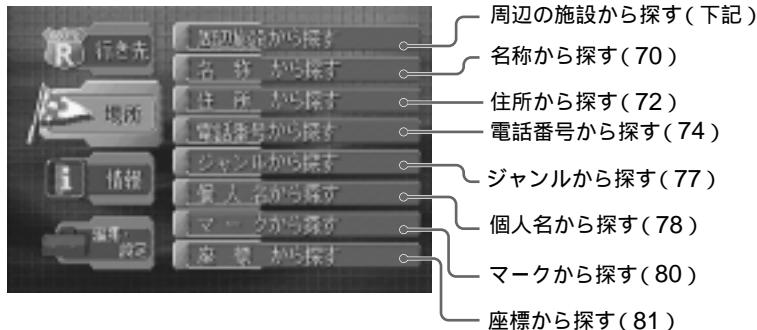


場所を探す(場所メニュー)

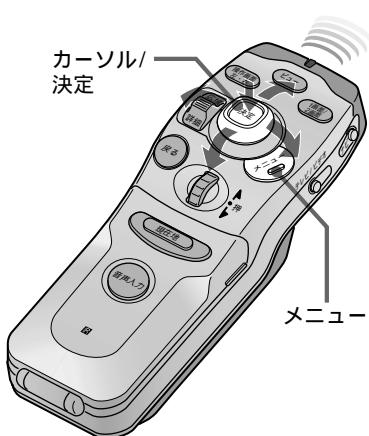
目的地などの場所をより早く探すために、近くのコンビニエンスストアなどの施設や、名称、住所、電話番号、ジャンル、個人名、設定したマーク、緯度経度などから検索することができます。

場所メニューを表示するには、メニューボタンを押してから、「場所」を選択してください。詳細は()内のページをご覧ください。

場所
メニュー画面



周辺の施設から探す(場所 ▶ 周辺施設から探す)



ちょっと一言
地図をスクロールした状態で、「周辺施設から探す」を選んで決定すると、表示されている地図画面(カーソル(+)位置)の周辺検索になります。

ドライブ中に近くのコンビニエンスストアやレストランなどの探し項目をリストアップし、地図上に表示します。

1 メニューボタンを押す

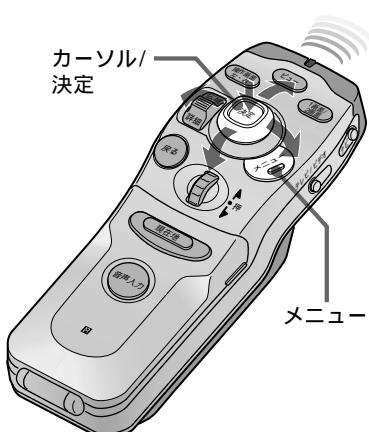
メインメニューが表示されます。

2 「場所」を選び、決定する

3 「周辺施設から探す」を選び、決定する

周辺の施設リストが表示されます。





4

ジャンルを選んでから、探す項目を選び、決定する

検索結果のリスト(名称 / 方向 / 距離 / シンボル)が、近い順に地図画面に表示されます。



5

項目リストを選び、決定する

選んだ項目の地図画面になります。



- リスト表示されるのは、場所によって異なります。自車位置およびカーソル表示のときは半径10km以内にある指定項目で、近いものから最大200か所です。見つからないときは、場所を変えてもう1度操作してください。
- 手順5では指定した項目の位置にピンマークが表示されます。



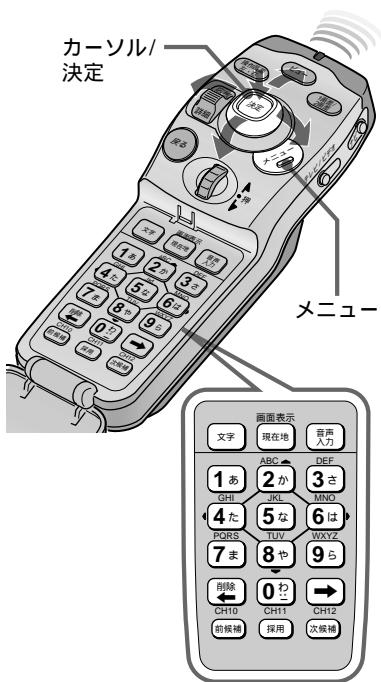
場所

周辺施設から探す



場所を探す(場所メニュー)

名称から探す(場所 ▶ 名称から探す)



名称を入力し、該当する候補地を都道府県またはリストから絞り込むことができます。

1 メニュー ▶ 場所 ▶ 名称から探すと選び、決定する

入力画面が表示されます。



2 名称を入力する

リモコンの数字キーで入力する場合

例えば、「む」を入力するには、[7ま]キーを3回押して「む」を選択し、[]キーを押します。

カーソル/決定ボタンで入力する場合

カーソル/決定ボタンを上下左右に動かして文字を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定します。

間違った文字を入力したときは

[削除]キーを押します。



3 手順2を繰り返し必要なキーワードを入力する

文字を入力すると、画面上に該当する件数が表示されます。ただし、1万件以上のときは「1万件以上」と表示されます。



ちょっと一言

- ・入力した名前に該当するリストのない都道府県名は表示されません。
- ・リモコンの広域/詳細レバーでリストのページ送りができます。
- ・例えば[1あ]キーを1回押せば「あ」の先頭の愛知、2回押せば「い」の先頭の石川が選択されます。

4 「完了」を選び、決定する(またはリモコンの[前候補]キー、[次候補]キーを押す)

検索対象リスト画面になります。



「県名で絞込む」を選び、都道府県名リスト画面になります。
「地域で絞込む」を選び、地域名リスト画面になります。
「ジャンルで絞込む」を選び、検索対象リスト画面になります。

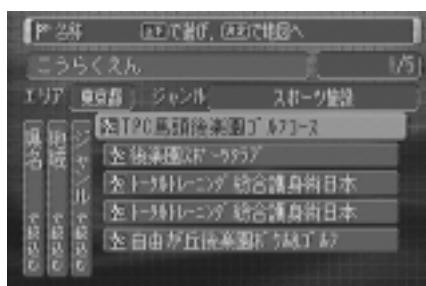
場所

5 リストから都道府県を選び、決定する

検索対象リスト画面になります。

手順4で、県名を「東京都」、ジャンルを「スポーツ施設」で絞り込んでおくと、下記の画面になります。

名
称
か
ら
探
す



「件数」欄には、該当する件数と今選択している項目の位置が表示されます。

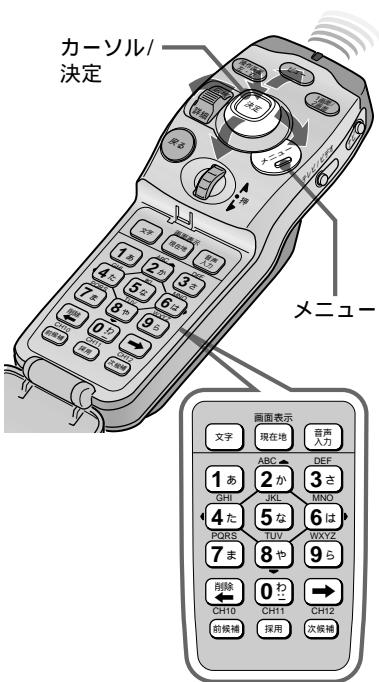
例えば、1/5は、5件中の1番目です。

6 検索対象リストから項目を選び、決定する

該当する地図画面が表示されます。



住所から探す (場所 ▶ 住所から探す)



都道府県名や市区町村名、大字町名、番地を選択し、該当する地域の地図を表示できます。

1 メニュー ▶ 場所 ▶ 住所から探す と選び、決定する



2 都道府県名を選び、決定する

例えば、[1あ]キーを1回押せば「あ」の先頭の愛知県、2回押せば「い」の先頭の石川県が選択されます。

3 市区町村名を選び、決定する



ちょっと一言

リモコンの広域/詳細レバーでリストのページ送りができます。



ご注意

一部の市区町村では、番地を指定することはできません。

ちょっと一言

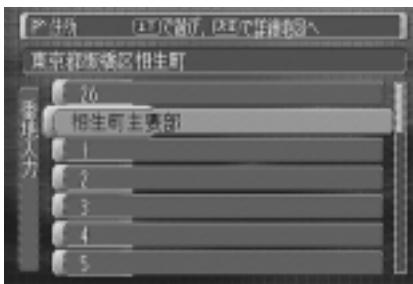
- 目的の番地がない場合は、近い数字を選んでください。
- リモコンの広域/詳細レバーでリストのページ送りができます。

4 大字町名を選び、決定する



5 番地を選ぶ

「番地入力」を選んで決定すると、リモコンの数字キーで番地を入力できます。



6 カーソル/決定ボタンを押す

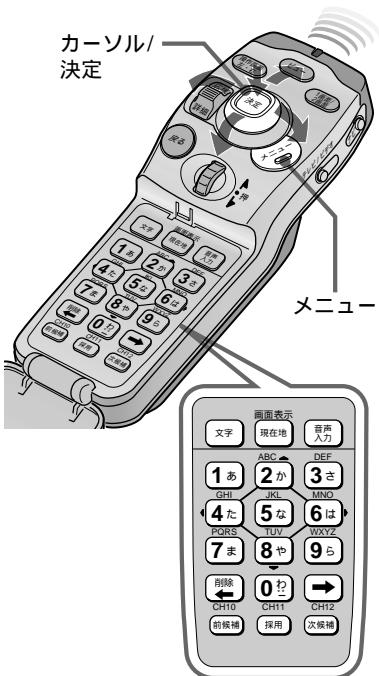
該当する地図画面になります。

場所

住所から探す



電話番号から探す (場所 ▶ 電話番号から探す)



ちょっと一言

- ・地図画面のとき[0わ]キーを押すと電話番号入力画面になります。(ショートカット機能)
- ・ショートカット機能を使ったときは、入力欄の1文字目に初期設定で「0」が入っています。
- ・カーソル/決定ボタンを使って入力する場合、左右に動かすと数字のカーソルを移動することができます。

電話番号を数字キーで入力すると、お店などや電話帳に記載されている友人の家などを地図画面に表示することができます。

1 [メニュー] ▶ 場所 ▶ 電話番号から探すと選び、決定する

電話番号入力画面になります。

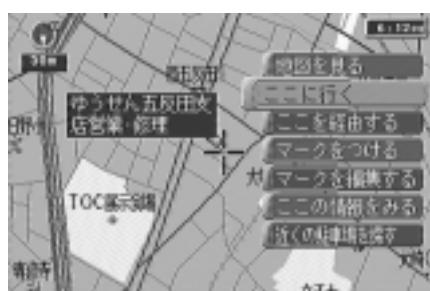


2 検索したい電話番号を、市外局番から入力する

リモコンの数字キーで入力します。カーソル/決定ボタンを上下に動かして数字を選択し、決定しても入力できます。

3 リモコンの[採用]キーを押す(またはカーソル/決定ボタンで画面上の「検索」を選び、決定する)

お店などの電話番号を入力したとき
入力した電話番号が検索情報と一致すると、指定したお店の場所が地図画面に表示されます。





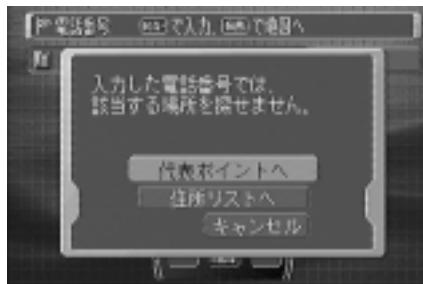
お店などが検索できないときは

入力した電話番号が検索情報と一致しない場合、次の画面が表示されます。

(電話番号を正しく入力しても、この画面が表示されることがあります。)

● ご注意

「リスト一覧」は、入力した電話番号で候補が見つからない場合は、選ぶことができません。(グレー表示されます)



「代表ポイントへ」: その市内局番に該当する代表的な場所の地図画面になります。

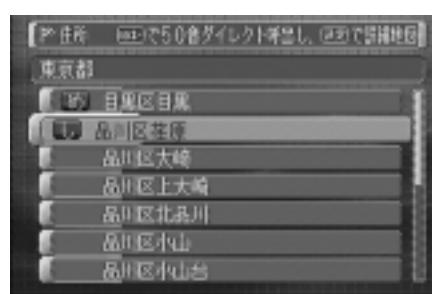
「住所リストへ」: 入力した電話番号に該当する住所の一覧が表示されます。

● ちょっと一言

リモコンの広域/詳細レバーでリストのページ送りができます。

場所

電話番号から
探す

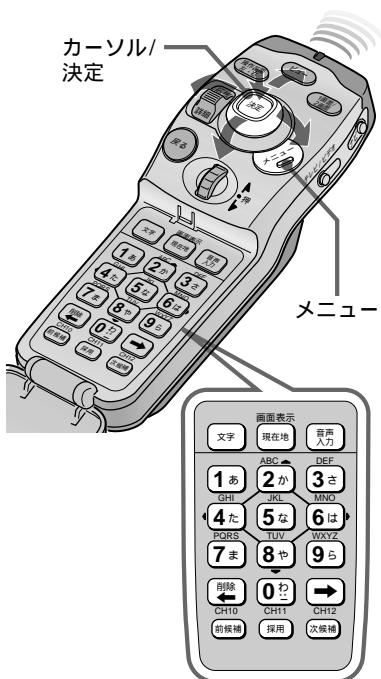


リストから住所を選んで決定すると、その場所の地図画面になります。

次ページへつづく



場所を探す(場所メニュー)



ご注意

- 個人宅の検索情報は電話帳を基準としているので、「個人名称」入力画面には、電話帳に記載してある個人名を入力してください。
電話帳に載せていない個人名は、検索できません。
- 漢字表記の読み方が2通り以上考えられる場合は、入力した電話番号と一致しないことがあります。

個人の家の電話番号を入力したとき

「個人名称」入力画面(下図)になります。電話帳に記載してある個人名の姓のみを入力してください。

入力のしかたは、「個人名から探す」(78ページ)の手順5と同じです。



入力した電話番号と個人名が一致すると、指定した個人の家の場所が地図画面に表示されます。

個人名を入力しなかった場合は

入力した電話番号と個人名が一致しない場合、個人名の確認に失敗したことを知らせるメッセージが表示され、電話番号入力画面に戻ります。



ジャンルから探す (場所 ▶ ジャンルから探す)



食事、観光など目的のジャンルを指定して、場所を探すことができます。

1 (メニュー) ▶ 場所 ▶ ジャンルから探すと選び、決定する

例えば、「遊び」を選ぶと次の画面になります。

2 項目を選び、決定する

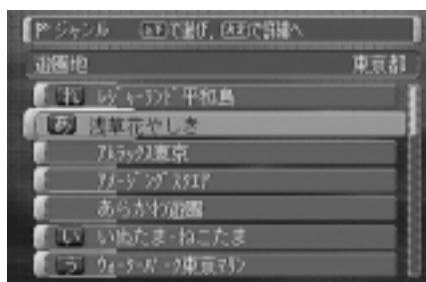
さらに詳細なジャンルを選ぶリスト項目が表示されます。

3 詳細な項目を選び、決定する

都道府県の選択画面になります。(数が少ない場合は、すぐにリスト表示されます。)

該当データが多いジャンルでは、都道府県で選んだあと、市区町村の選択画面になります。

4 都道府県を選び、決定する



5 リストから項目を選び、決定する

該当する地図画面が表示されます。

場所

ジャンルから探す

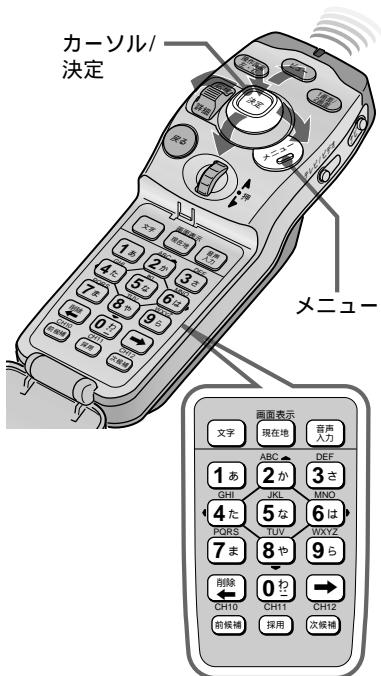


ちょっと一言

- リモコンの数字キーを使うと、50音別の呼び出しができます。
- リモコンの広域/詳細レバーでリストのページ送りができます。



個人名から探す(場所 ▶ 個人名から探す)



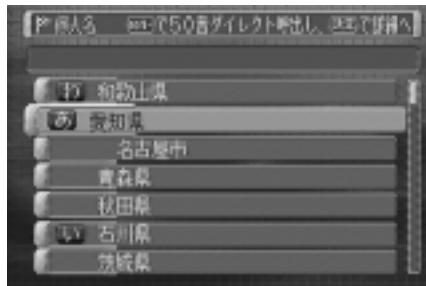
電話帳に記載してある個人名を入力し、都道府県、市区町村を指定することで、個人の家や個人の商店を探すことができます。

検索情報は、電話帳を基準としていますので、名前は電話帳に記載してある名義で入力してください。

1 メニュー ▶ 場所 ▶ 個人名から探す と選び、決定する

都道府県名リストになります。

入力した個人名の住所を指定していきます。



2 都道府県名を選び、決定する

市区町村名リストになります。

3 市区町村名を選び、決定する

「姓」入力画面になります。



● ちょっと一言

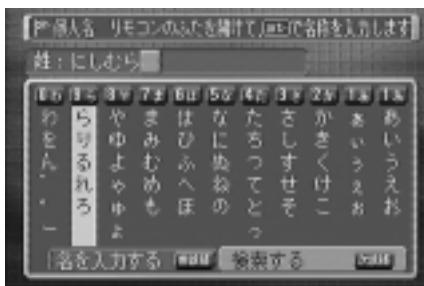
- リモコンの広域/詳細レバーでリストのページ送りができます。
- 例えば[1あ]キーを1回押せば「あ」の先頭の愛知、2回押せば「い」の先頭の石川が選択されます。

● ご注意

- 個人名は、電話帳に記載してある名義で入力してください。
- 漢字表記の読み方が2通り以上考えられる場合は、検索できないことがあります。
- 検索情報は、電話帳を基準でありますので、個人の家や商店を検索できるのは電話番号を電話帳に載せている方のみになります。電話帳に載せていない方は、検索できません。



4 姓を入力する



ちょっと一言

- 促音(っ)は[4た]キーを、濁音(ー)や半濁音(ー)は[0わ]キーをくり返し押して入力します。
- []キーを押す代わりに、[採用]キーまたは他の数字キーを押して文字を確定することもできます。
- カーソル/決定ボタンでも操作できます。

リモコンの数字キーで入力する場合

例えば、「む」を入力するには、[7ま]キーを3回押して「む」を選択し、[]キーを押します。

カーソル/決定ボタンで入力する場合

カーソル/決定ボタンを上下左右に動かして文字を選び、カーソル/決定ボタンを押して決定します。

間違った文字を入力したときは

[削除]キーを押します。

場所

5 「名を入力する」を選び、決定する

「名」入力画面になります。

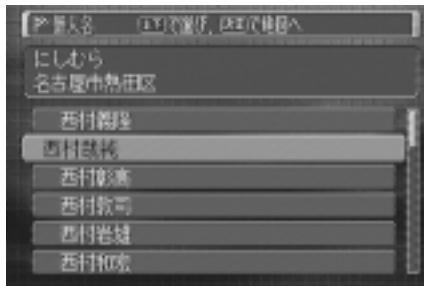
手順5と同様に名前を入力します。

「検索する」を選んで決定すると、姓だけで検索することもできます。

個人名から探す

6 「検索する」を選び、決定する

個人名リストになります。(下図は説明用の画面です。)



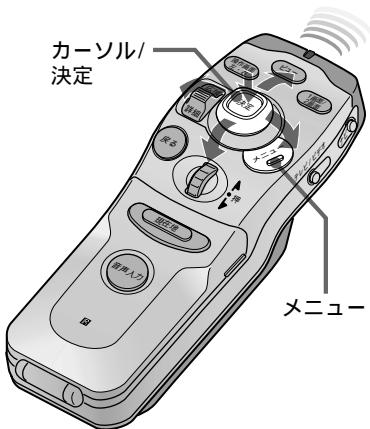
地図画面に表示したい個人名を、選んで決定します。

個人の家が検索できないときは

入力した個人名と指定した住所が一致しない場合、個人名の確認に失敗したことを知らせるメッセージが表示され、「個人名」入力画面(手順1)に戻ります。



マークから探す(場所 ▶ マークから探す)



ちょっと一言

- マークのつけかたは、「地図上にマークをつける」(39ページ)をご覧ください。
- マーク編集については、「マークの名前などを変える」(99ページ)をご覧ください。
- リモコンの広域/詳細レバーでリストのページ送りができます。

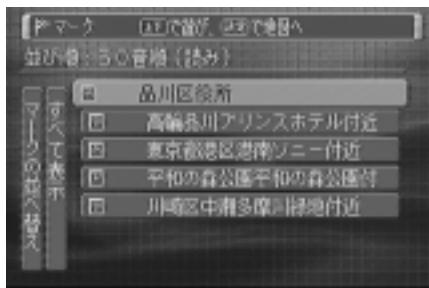
登録してあるマークから、そのマークをつけた場所の地図を呼び出すことができます。

1



▶ 場所 ▶ マークから探す と選び、決定する

マークの一覧が表示されます。



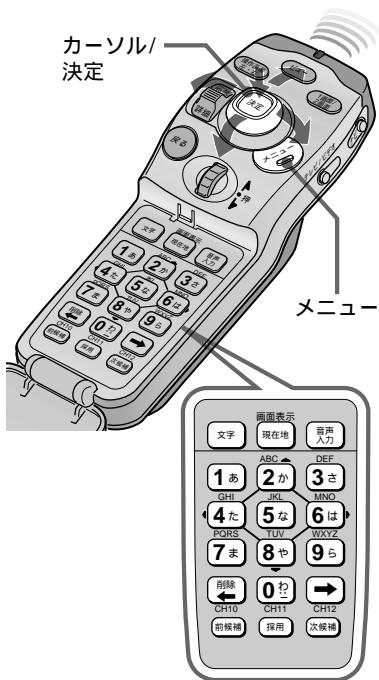
2

表示したいマークを選び、決定する

選択したマーク周辺の地図画面になります。



座標から探す (場所 ▶ 座標から探す)



座標(緯度経度またはマップコード)を入力すると、その位置を中心とした地図を表示することができます。

例えば、本機を取り付いている何台かの車でドライブするときに、目的地などの緯度経度を教え合うことにより、お互い共通の場所に目的地を設定することができます。

1 [メニュー] ▶ 場所 ▶ 座標から探す と選び、決定する

2 緯度経度またはマップコードを入力する

リモコンの数字キーで入力します。



緯度経度は、緯度 経度の順に入力します。

入力位置を変更するには、[]/[]キーを押します。

緯度欄にはN(北緯) 経度欄にはE(東経)のみが入力できます。(固定)

3 リモコンの[採用]キーを押す

指定した緯度経度の地図画面が表示されます。

場所

マーカーから探す

ちょっと一言

- マップコード*とは、特定の位置のデータをコード化し、1~10桁の番号で、その場所が特定できるものです。
- 緯度経度またはマップコードのどちらかを入力すれば、地点を探せます。

*「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

ご注意

- 実在しない緯度経度は入力できません。また、地図ディスクに収録されていない地域の緯度経度を入力しても地図を表示できません。
- 緯度経度入力は、カーソル/決定ボタンでは行えません。

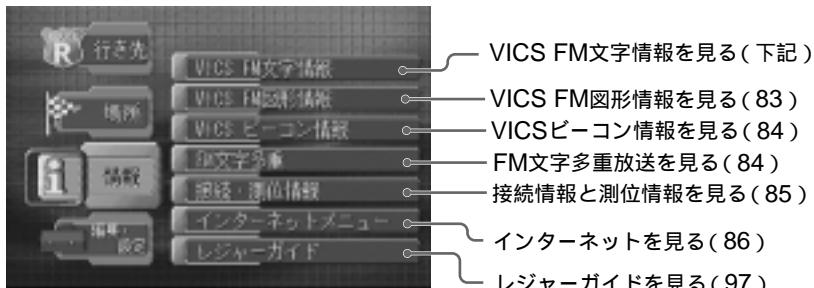
情報を見る(情報メニュー)

本機はFM VICSユニット内蔵のため、VICSセンターがNHKのFM多重放送の設備を使って提供する交通情報や、FM文字多重放送などを見ることができます。

情報メニューを表示するには、メニューボタンを押してから、「情報」を選択してください。詳細は()内のページをご覧ください。

情報

メニュー画面



VICS FM文字情報を見る

まず、受信可能なVICS局を受信します。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ VICS FM文字情報と選び、決定する

VICS FM文字情報の目次画面になります。



1 受信状態表示

現在選択している周波数のFM放送の受信状態を表示します。



2 番組番号ボタン

画面上に表示されている番組目次の番号に対応しています。

3 ページ送りボタン

前後にページがあるとき緑色で表示されます。

前後のページを表示するには
「前ページ」または「次ページ」を選び、決定します。

ちょっと一言

リモコンの広域/詳細ボタンを押すと、ページ送りができます。

2 表示したい番組番号を選び、決定する



1 受信状態表示

現在選択している周波数のFM放送の受信状態を表示します。

2 ページ送りボタン

前後にページがあるとき緑色で表示されます。



③ 表示エリア

通常は15.5文字×2行です。

④ 番組ジャンプボタン

目次画面に戻らず、前後の番組にジャンプします。

前後の番組を表示するには

番組ジャンプボタン(④)を選択して、決定します。

番組目次画面(1ステップ前)に戻るには

リモコンの戻るボタンを押します。

地図画面に戻るには

リモコンの現在地ボタンを押します。

● ● ● ご注意

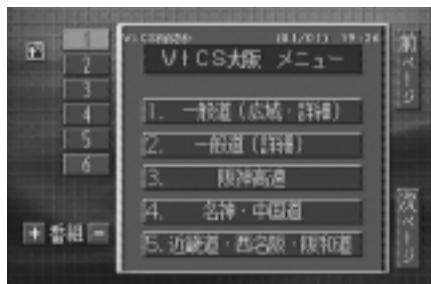
- 電波の状態により、受信するまでに多少の時間がかかることがあります。
- 通常のFM放送が受信できいても、受信状況によっては、文字データは受信できないことがあります。このような場合は、別売りのアンテナ分配器を接続することをおすすめします。(別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。)
- 番組番号を選択しても、番組が受信できないことがあります。
- 番組ジャンプボタンは、番組の構成によって、すべてのページが表示されないことがあります。

VICS FM図形情報を見る

画面内のボタンの操作については、「VICS FM文字情報を見る」(82ページ)をご覧ください。



▶ 情報 ▶ VICS FM図形情報
と選び、決定する



「次」ボタン

6番以降の番組があれば緑色で表示されます。このボタンを選択して決定すると、6番以降の番組選択画面になります。

情報

V V
I I
C C
S S
F F
M M
文 形
字 情 報



情報を見る(情報メニュー)

VICSビーコン情報を見る

別売りのVICSビーコンユニットNVA-VB3を接続したときのみ、ビーコン情報を表示します。

1  ▶ 情報 ▶ VICSビーコン情報と選び、決定する

2 表示したい項目を選び、決定する
選択した項目の文字情報を表示します。



 ご注意

VICSビーコン情報の内容は、受信する地域によって異なることがあります。

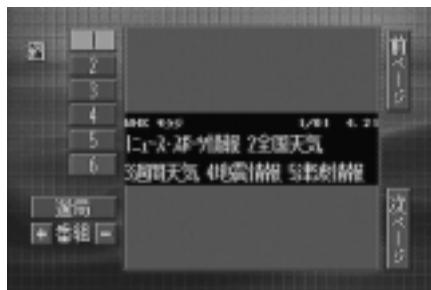
FM文字多重放送を見る

FM文字多重放送を見るには、「FM文字多重」を選択します。

画面内のボタンの操作については、「VICS FM文字情報を見る」(82ページ)をご覧ください。

1  ▶ 情報 ▶ FM文字多重と選び、決定する

FM文字多重放送の目次画面になります。



「選局」ボタン

選んで決定すると、「FM選局」画面(111ページ参照)に切り換わります。

2 表示したい番組番号を選び、決定する



接続情報と測位情報を見る

お使いになる前に、ナビ本体と外部ユニットが正しく接続されているかをモニター画面で確認してください。

メニュー ▶ 情報 ▶ 接続・測位情報と選び、決定する



各表示項目を確認してください。

ビーコンユニット 別売りのビーコンユニットが接続されているときに「接続」と表示されます。

車速パルス 安全な場所で車をゆっくり走らせて、数値が上がるのを確認してください。

パーキング パーキングブレーキを引いた状態で、「ON」が表示されるのを確認してください。

バックセンサー シフトレバーをリバース(R)の位置にして、「ON」が表示されるのを確認してください。

ディスクバー 地図ディスクのバージョンを表示します。

プログラムバージョン ナビ本体のプログラムバージョンを表示します。

ご注意

車速パルスを確認するときは、安全な場所で車をゆっくり走らせてください。確認作業は同乗車の方にお願いしてください。この数値はパルスが正しく取られていることを確認する目安です。数値は車種によって異なります。

別売り品以外の項目が「ON」表示にならない場合は車のエンジンを切り(電源を切り)該当機器の接続を確認してください。

自車位置の精度を確認する

初めて本機を取り付けたときや別の車に付け替えたときは、周囲に高い建物などのない道路をできるだけ一定の速度で30分間ほど走行してください。測位の状態は、接続情報・測位情報画面で確認できます。

GPS衛星

黄色(受信中): 現在電波を受信中のGPS衛星です。3個以上の衛星から受信すると自動的に現在位置を測位します。受信中の衛星が4個以上あれば、高度を含めた3次元測位が可能になります。

グレー(検索中): 障害物などで電波を受信できないGPS衛星です。

ご注意

- 確認のための表示が変わるまで数秒間かかる場合があります。
- 自車マークの動きが正確でないときは、次の操作を行ってください。
 - 車速パルスリセット(108ページ)を行う。
 - 車速センサーコードの接続を確認し(前ページ)、正しく接続する。

情報

V
I
C
S
ビ
ー
コ
ン
情
報

F
M
文
字
多
重

情報メニューに戻るには
戻るボタンを押します。



情報を見る(情報メニュー)

インターネットを見る

インターネットに接続するには、次の準備が必要です。

- ・別売りの携帯電話接続コードRC-PD1(PDC用)/RC-CD1(cdmaOne用)とデジタル携帯電話の接続
- ・プロバイダー(通信会社)との契約
- ・インターネットの設定(93ページ参照)

BitSpirit® Internet Copyright 1995-2001
Aplix Corporation. All rights reserved.

本製品で使用されているブラウザはBitSpirit® Internetです。

BitSpiritは株式会社アリックスの登録商標です。

BitSpirit Internetロゴは、株式会社アリックスの登録商標です。



BitSpirit® Internet

ホームページを見る

ホームページを見るには、次のように操作します。

1

▶情報▶インターネットと選び、決定する

インターネットメニュー画面が表示されます。



2

「ホームページ」を選び、決定する

各種設定の「ブラウザの設定」(96ページ)で設定したホームページを表示します。

地図画面に戻るには

「ナビ」を選んで、決定します。

プロバイダーの接続時は、「インターネットを終了して、地図(現在地)を表示しますか」と確認メッセージが表示されますので、「はい」を選んでください。



ホームページの見かた



ページを切り換えるには

リモコンの広域ボタンで戻り、詳細ボタンで進みます。通常は、1度参照したホームページを一時的に記憶しています。

スクロールのしかた

カーソル/決定ボタンを上下左右に移動します。
ジョグダイヤルを回して、上下にスクロールすることもできます。

リンク先を見るには

画面上の赤い枠を希望のリンク先に合わせて、決定ボタンを押します。リンク先のホームページへ移ります。

インターネット関連のメニューを表示するには

リモコンのメニューボタンを押します。



インターネット画面を終了するには

メニューの「終了」を選択して、決定します。

回線を接続/切断するには

メニューの「回線接続」または「回線切断」を選択して、決定します。

ご注意

- 回線を切断してから地図画面に戻るまでに、数秒かかることがあります。
- インターネットから得られた情報の内容と、それらの利用により発生した損害に関して、弊社はいかなる責任も負わないものとします。
- 次のようなときは、プロバイダ設定やメール設定が消去されている場合があります。
 - バッテリーを交換したり、取り外したとき
 - 電源電圧の変動で、バックアップ電圧が降下したとき



情報を見る(情報メニュー)

新しいURLを入力してアクセスする

初めてのホームページを見るには、URLを入力する必要があります。

1 情報 ▶ インターネットと選び、決定する

インターネットメニュー画面が表示されます。

2 「アドレス入力」を選び、決定する

入力画面が表示されます。

「http://」が初期値として入力されています。



3 カーソル/決定ボタンで、英数字、定型語句を1つずつ選び、決定する

URL表示欄に入力文字が表示されます。

大文字を入力するには、「大文字」を選んで決定します。(押すたびに、「小文字」/「大文字」表示が切り換わります。)

入力した文字を削除するには、「削除」を選んで決定します。

途中の文字を修正するには、「<」または「>」を選んで決定し、URL表示欄のカーソル位置を変更してから、文字の追加入力や削除を行います。

記号を入力するときは、「履歴1」を選んで「記号1」または「記号2」になるまでくり返し決定し、記号入力画面にします。

4

「完了」を選び、決定する

入力されたURLアドレスのホームページにアクセスします。

一度入力したURL履歴を使うには

入力画面で「履歴1」を選んで決定し、過去に入力したURLリスト(最近の7件)から、入力内容を選ぶことができます。

「履歴1」を選んで決定すると、キー表示が「履歴2」に切り換わります。「履歴2」を選んで決定すると、過去14件までのURLリストから入力内容を選ぶことができます。



URLをブックマークに登録する

現在表示しているURLを、ブックマークに登録することができます。登録されたURLはブックマークリストから選択するだけで、アクセスすることができます。ブックマークは、30か所まで登録できます。

1 リモコンのメニューボタンを押す



2 「ブックマーク」を選び、決定する

現在表示しているURLが、追加されます。



登録済みのURLにアクセスする

すでにブックマークにURLを登録してある場合は、「登録ページ」を選んでURLを選択するだけです。

1 (メニュー) ▶ 情報 ▶ インターネットと選び、決定する

インターネットメニュー画面が表示されます。

2 「登録ページ」を選び、決定する



3 アクセスしたいURLを選び決定する

選択したURLアドレスのホームページにアクセスします。



情報を見る(情報メニュー)

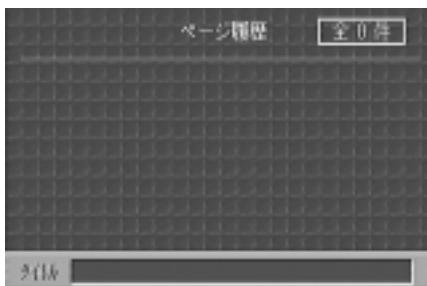
過去のページに戻る

一度表示したページは30種類まで「ページ履歴」に記憶されています。

1 ▶ 情報 ▶ インターネットと選び、決定する

インターネットメニュー画面が表示されます。

2 「ページ履歴」を選び、決定する



3 アクセスしたいURLを選び決定する

選択したURLアドレスのホームページにアクセスします。

登録ページを編集する

「登録ページ」のページを削除したり、編集することができます。

1 ▶ 情報 ▶ インターネットと選び、決定する

インターネットメニュー画面が表示されます。

2 「登録ページ編集」を選び、決定する



3 編集したいURLを選び、決定する



4 タイトルまたはアドレスを選び、決定する

入力画面になります。文字の入力方法は、「新しいURLを入力してアクセスする」(88ページ)と同じです。

5 「完了」を選び、決定する

6 「修正完了」を選び、決定する

「登録ページ編集」画面に戻ります。



電子メールを書く・送る

インターネットを使って、電子メールの送受信ができます。

電子メールを使用するには、「各種設定」(93ページ)の設定が必要です。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ インターネットと選び、決定する

インターネットメニュー画面が表示されます。

2 「電子メール」を選び、決定する



3 「電子メールを書く・送る」を選び、決定する



4 宛名(To)を選び、決定する

入力画面になります。文字の入力方法は、「新しいURLを入力してアクセスする」(88ページ)と同じです。

5 「完了」を選び、決定する

手順3の画面に戻ります。
「アドレス帳」を選んで決定すると、アドレス帳に入力内容を登録できます。

6 「タイトル」を選び、決定する

手順4、5と同様に、タイトルを入力して、「完了」を選び、決定します。

7 本文入力欄を選び、決定する

手順4、5と同様に、本文を入力して、「完了」を選び、決定します。

8 「送信」を選び、決定する

インターネットに接続し、メールが送信されます。

電子メールを読む

情報

インターネット

1 メニュー ▶ 情報 ▶ インターネットと選び、決定する

インターネットメニュー画面が表示されます。

2 「電子メール」を選び、決定する

「電子メール」画面になります。

3 「電子メールを読む」を選び、決定する

インターネットに接続し、受信メールを確認します。



情報を見る(情報メニュー)

アドレス帳を編集する

アドレス帳にメールアドレスを登録しておくと、メールを送信するたびにアドレス入力する手間が省けます。

1 ▶ 情報 ▶ インターネットと 選び、決定する

インターネットメニュー画面が表示されます。

2 「電子メール」を選び、決定する



3 「アドレス帳編集」を選び、決定する



4 「新規登録」を選び、決定する

「アドレス帳の新規登録」画面になります。



5

名前欄を選び、決定する

入力画面になります。文字の入力/修正方法は、「新しいURLを入力してアクセスする」(88ページ)と同じです。

6

「完了」を選び、決定する

手順4の画面に戻ります。

7

アドレス欄を選び、決定する

手順5、6と同様に、アドレスを入力または修正して、「完了」を選び、決定します。

8

「修正完了」を選び、決定する

メールアドレスが登録されます。

アドレス帳の内容をすべて消去するには手順3で「全消去」を選び、決定します。



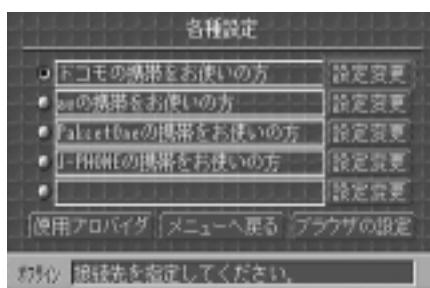
インターネットの設定を行う

インターネットを使用するためには、使用する携帯電話の種類やプロバイダーに合わせて、各種の設定を行う必要があります。

1 情報 ▶ インターネットと選び、決定する

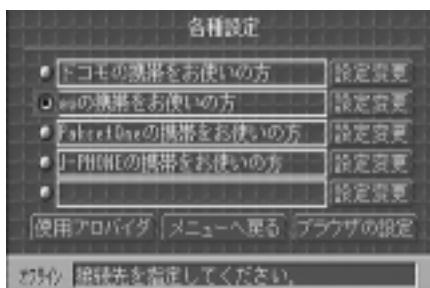
インターネットメニュー画面が表示されます。

2 「各種設定」を選び、決定する



3 携帯電話を選び、決定する

カーソルを冒頭のボタンに移動して携帯電話の種類を選び、決定します。



4

選んだ携帯電話項目の「設定変更」を選び、決定する



次の各項目を設定します。

- ・プロバイダ名
- ・電話番号
- ・ユーザーID
- ・パスワード

ちょっと一言

ユーザーIDとパスワードについては、ご契約のプロバイダーにご確認ください。

設定欄を選んで決定すると、入力画面になります。文字の入力/修正方法は、「新しいURLを入力してアクセスする」(88ページ)と同じです。



入力後に「完了」を選んで決定し、元の画面に戻ります。

情報

インターネット

次ページへつづく



5 「次へ」を選び、決定する

次の各項目を設定します。

- DNSサーバー1
- DNSサーバー2
- プロキシ(プロキシーサーバー)
- ポート番号

● ちょっと一言

DNSサーバーは、2つまでの設定が可能です。DNSサーバーとポートの設定については、必ずプロバイダーの指定にしたがってください。ご契約のプロバイダーによっては、プロキシーサーバーとポート番号の設定がない場合があります。その場合は、空欄のままにしてください。

設定欄を選んで決定すると、入力画面になります。文字の入力/修正方法は、「新しいURLを入力してアクセスする」(88ページ)と同じです。

入力後に「完了」を選んで決定し、元の画面に戻ります。

6 「次へ」を選び、決定する

次の各項目を設定します。

- メールアカウント
- メールパスワード
- メールアドレス

● ちょっと一言

設定内容については、ご契約のプロバイダーにご確認ください。

設定欄を選んで決定すると、入力画面になります。文字の入力/修正方法は、「新しいURLを入力してアクセスする」(88ページ)と同じです。

入力後に「完了」を選んで決定し、元の画面に戻ります。



7 「次へ」を選び、決定する



次の各項目を設定します。

- POPサーバ
- SMTPサーバ

ちょっと一言

設定内容については、ご契約のプロバイダーにご確認ください。

設定欄を選んで決定すると、入力画面になります。文字の入力/修正方法は、「新しいURLを入力してアクセスする」(88ページ)と同じです。

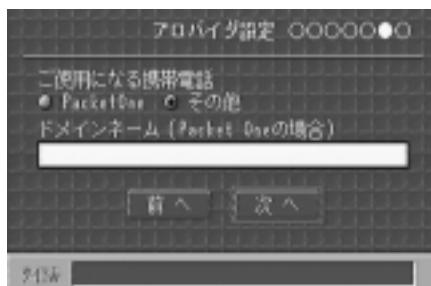
入力後に「完了」を選んで決定し、元の画面に戻ります。

8 「次へ」を選び、決定する



半角カナの表示の「する」/「しない」を選択します。

9 「次へ」を選び、決定する



携帯電話の種類を選び、PacketOneの場合、ドメインネームを設定します。

10 「次へ」を選び、決定する



設定したプロバイダを普段の接続先として設定するかどうかを選びます。

11 「設定を保存」を選び、決定する

プロバイダ設定の内容が保存されます。

ちょっと一言

プロバイダ設定の内容は、忘れたときのために、メモして保管しておいてください。



情報を見る(情報メニュー)

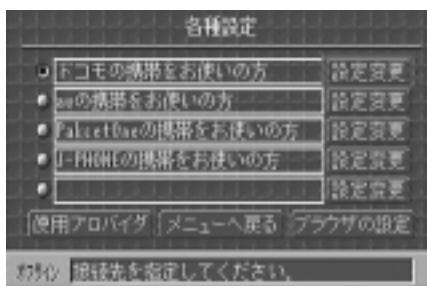
ブラウザの設定を行う

インターネットを見るときの、表示方法について設定します。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ インターネットと選び、決定する

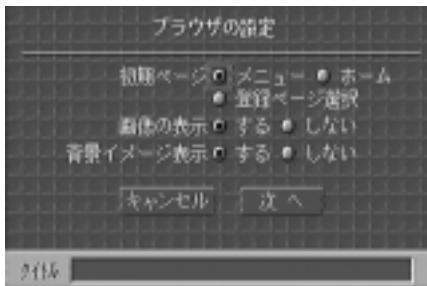
インターネットメニュー画面が表示されます。

2 「各種設定」を選び、決定する



3 「ブラウザの設定」を選び、決定する

「ブラウザの設定」画面になります。



次の各項目を設定します。

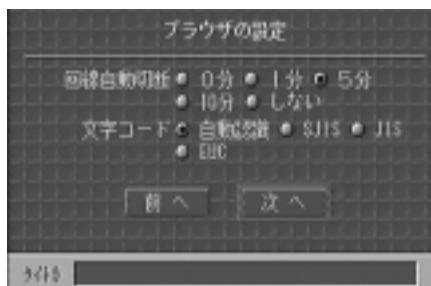
初期ページ：インターネットメニューを選んだとき、表示される内容を設定します。

画像の表示：画像データの表示の「する」/「しない」を設定します。

背景イメージの表示：背景イメージの表示の「する」/「しない」を設定します。

4

「次へ」を選び、決定する



次の各項目を設定します。

回線自動切斷：回線を自動切斷するまでの時間を設定します。

文字コード：文字コードを設定します。

5

「次へ」を選び、決定する



インターネットメニュー画面の「ホームページ」を選んだときに表示するホームページアドレスを入力します。

設定欄を選んで決定すると、入力画面になります。文字の入力/修正方法は、「新しいURLを入力してアクセスする」(88ページ)と同じです。

入力後に「完了」を選んで決定し、元の画面に戻ります。

6

「設定を保存」を選び、決定する

ブラウザ設定の内容が保存されます。



レジャーガイドを見る

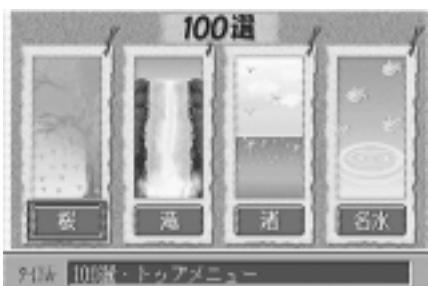
レジャーガイドには、「桜・滝・渚・名水100選」をはじめ、全国の観光案内が地域ごとにまとめられています。ドライブプランを立てるとき、手軽に情報を見たり、ルート設定したりできます。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ レジャーガイドと選び、決定する



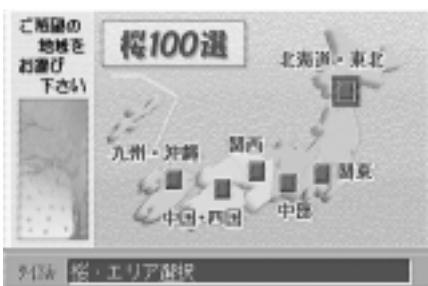
2 見たい項目を選び、決定する

例)「100選 桜・滝・渚・名水」を選び、決定します。



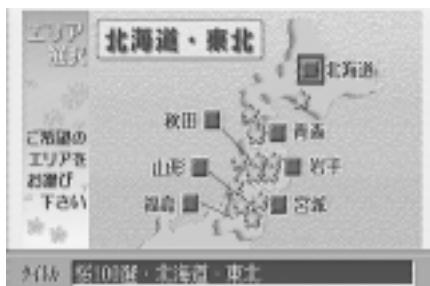
3 項目を選び、決定する

例)「桜」を選び、決定します。



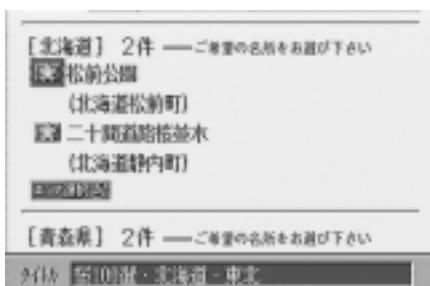
4 項目を選び、決定する

例)「北海道・東北」を選び、決定します。



5 項目を選び、決定する

例)「北海道」を選び、決定します。



カーソル決定ボタンを下に動かして、画面をスクロールさせることもできます。

6 表示したい項目を選び、決定する

選んだ地点付近の地図画面になります。

情報

レジ
ンタ
ー
ネ
ット
イ
ン
タ
ー
ガ
イ
ド

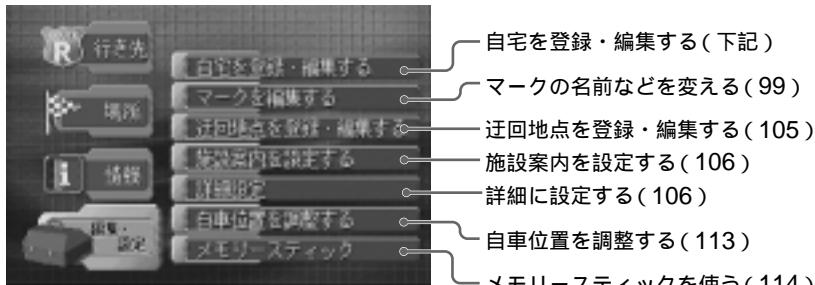
編集と設定(編集・設定メニュー)

本機の編集と設定項目は、編集・設定メニューにまとめられています。

編集・設定メニューを表示するには、メニューボタンを押してから、「編集・設定」を選択してください。詳細は()内のページをご覧ください。

編集・設定

メニュー画面



自宅を登録・編集する

自宅を登録しておくと、いつでもジョグダイヤル操作で「自宅に帰る」操作などができます。

1 (メニュー) ▶ 編集・設定 ▶ 自宅を登録・編集する と選び、決定する



● ちょっと一言

- すでに自宅を登録してあるときは、「自宅編集」画面になります。自宅の場所を大きく変更するときは、「消去」を選んで決定し、改めて自宅を登録してください。自宅位置を微調整するときは、「位置」を選んで決定し、地図画面で調整します。
- 前の画面に戻りたいときは、リモコンの戻るボタンを押します。

2 「住所から探す」を選び、決定する

自宅の住所を選んでいきます。

3 都道府県名を選び、決定する

数字キーで選ぶこともできます。

例えば、[1あ]キーを1回押せば「あ」の先頭の愛知、2回押せば「い」の先頭の石川が選択されます。

4 市区町村名を選び、決定する

5 大字町名を選び、決定する

6 必要な場合は、番地を選び、決定する

自宅周辺の地図画面になります。



● ご注意

一部の市区町村では、番地での検索はできません。

7 地図上の自宅位置にカーソル(+)を合わせ、決定する

自宅が登録され、自宅マーク()が表示されます。



マークの名前などを変える

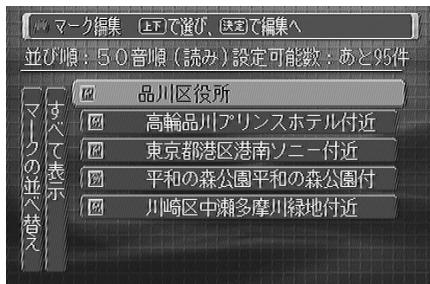
決定メニュー操作で地図につけたマークに、名前をつけたり、音声の読みや電話番号を登録することができます。

また、地図画面上に表示するシンボルを変更することもできます。

マークリスト画面から「マーク編集」画面を表示する

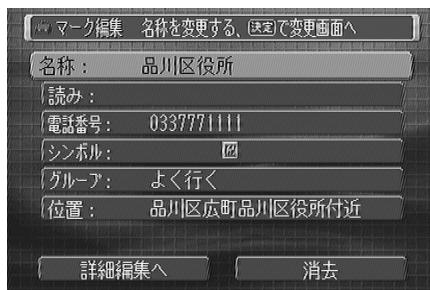
1 メニュー ▶ 編集・設定 ▶ マークを編集すると選び、決定する

マークリスト画面になります。



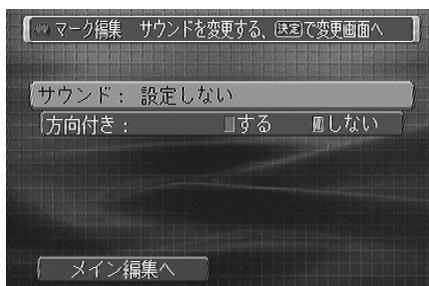
2 マークリスト画面から変更したいマークを選び、決定する

「マーク編集」画面になります。



名称	名称を変更できます。
読み*	マークの読みを設定します。
電話番号	電話番号を登録します。
シンボル	地図上に表示するシンボルを設定します。
グループ	設定しておくと、「グループ絞り込み」を選んだとき、マークをグループ別に絞り込むことができます。 (100ページ)
位置	マーク位置を変更できます。

「詳細編集へ」を選んで決定すると、さらに細かい設定をすることができます。



サウンド	マーク付近を自車が通過する際に出力する音の種類を設定します。
方向付き	サウンド設定がされている場合に有効になります。 「する」を選ぶと、指定した方向から自車が近づいた場合に音声で知らせます。方向の設定は、決定ボタンを押して、地図上で自車マークを使って設定します。

設定後は、「メイン編集へ」を選んで決定します。

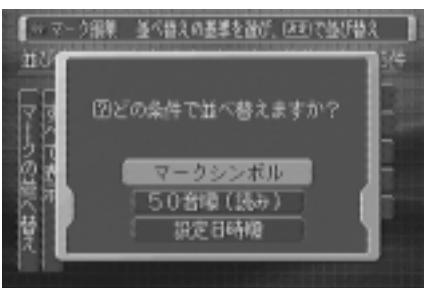
ちょっと一言

* 読みを設定すると、音声認識でマーク地点を呼び出せます。ただし、音声コマンドと同じ読みを設定したときは、音声コマンドが優先され、マーク地点は呼び出せません。

マークを並べ替える

マークのリスト画面を50音順や設定日時順などに並べ替えることができます。
変更するマークを選ぶときなどに便利です。

- 1  ▶ 編集・設定 ▶ マークを編集する ▶ マークの並べ替えと選び、決定する



マークシンボル：マークシンボルの種類別に並び替わります。

50音順：「読み」が設定されているマークを先頭に、「読み」で設定した50音順に並び替わります。

設定日時順：「マーク編集」画面で設定や変更をしたマークが新しいものから順に並び替わります。

- 2 並べ替える条件を選び、決定する

マークリスト画面に戻ります。

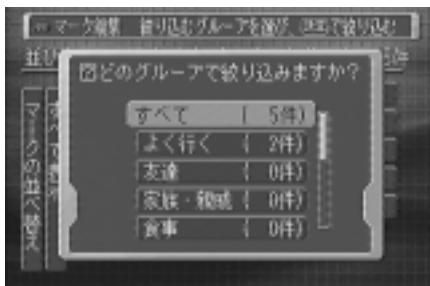
マークをグループ別に絞り込む

「マーク編集」画面の「グループ」(104ページ)でマークのグループを設定しておくと、そのグループを選ぶだけで、数あるマークを絞り込むことができます。

登録したマークの数が多くなったときに便利です。

- 1  ▶ 編集・設定 ▶ マークを編集する ▶ 表示と選び、決定する

は、現在絞り込んでいるグループの名前を表示しています。(例：「すべて表示」)



グループの名前の脇にそのグループに現在登録しているマークの数が(例：(2件))表示されます。

- 2 呼び出したいグループの項目を選び、決定する

マークリスト画面に戻ります。

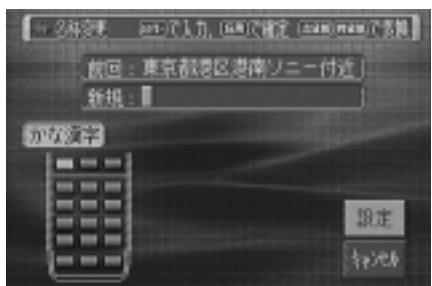


名前を変更する

1

▶ 編集・設定 ▶ マークを編集する ▶ (変更したいマーク) ▶ 名称と選び、決定する

名称入力画面(「かな漢字」入力)が表示されます。



[1あ]キーを押すと、押すたびに、「あ」「い」「う」「え」「お」「あ」「い」「う」「え」「お」、と入力文字が変化します。他のキーも同様です。

● ちょっと一言

促音(っ)は[4た]キーを、濁音(ー)や半濁音(ーー)は[0わ]キーをくり返し押して入力します。

[採用]キー(または、[]キー)や他の入力キー)を押すと、次の文字入力状態になります。

[次候補]/[前候補]キーを押すと、かな漢字変換候補が表示されます。

● ちょっと一言

間違った文字を入力したときは、[削除]キーを押します。直前の文字が消されます。

2

変換候補を選び、決定する

変換候補リストを移動するには、カーソル/決定ボタンを上下に動かします。(または、リモコンの[前候補]、[次候補]キーを押します。)

決定するには、カーソル/決定ボタンまたは[採用]キーを押します。

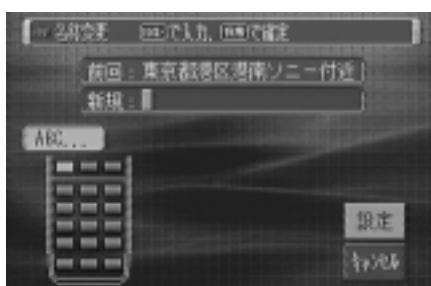
変換候補をページめくりするにはリモコンの広域/詳細レバーを上下に押します。

変換対象の範囲を変えるにはリモコンの[]/[]キーを押します。

3

アルファベット、数字、記号を入力するには、リモコンの[文字]キーを繰り返し押す

押すたびに、「かな漢字」「カタカナ」「ABC..」「123..」「記号」と表示が切り換わります。



編集・設定

マ名前を変更する
マークを並べ替える

マークをグループ別に絞り込む



編集と設定(編集・設定メニュー)

4 リモコンの数字キーを押して、入力する

[ABC]キーを押すと、押すたびに、「A」「B」「C」「a」「b」「c」と入力文字が変化します。他のキーも同様です。

次の文字を入力するには、[採用]キー(または、[]キー)や他の入力キー)を押します。

5 「設定」を選び、決定する(またはリモコンの[採用]キーを押す)

● ちょっと一言

- ・アルファベット入力時の「.」(ピリオド)は、[0わ]キーで入力できます。
- ・「ABC...」(アルファベット入力モード)では、[ABC]キーを押すたびに、「A」「B」「C」「a」「b」「c」と入力文字が変化します。
- ・数字、記号入力の場合は、入力するだけで次の文字入力状態になります。

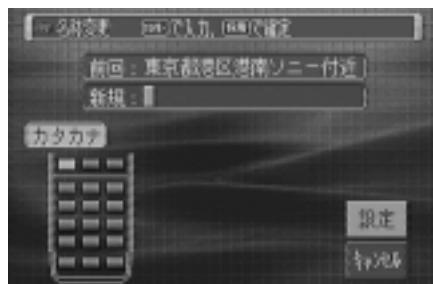
読みを設定する

マークの読みは、マークの並び替えや音声認識操作時に使用します。半角カタカナで入力します。

1

▶ 編集・設定 ▶ マークを編集する ▶ (変更したいマーク) ▶ 読みと選び、決定する

読み入力画面になります。



● ご注意

読み入力は半角カタカナのみです。

2

リモコンの数字キーを押して、入力する

「新規」欄に入力文字が表示されます。

[1あ]キーを押すと、押すたびに、「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」と入力文字が変化します。他のキーも同様です。

● ちょっと一言

促音(っ)は[4た]キーを、濁音(°)や半濁音(°)は[0わ]キーをくり返し押して入力します。

[採用]キーまたは[]キーを押すと、次の文字入力状態になります。

3

「設定」を選び、決定する(またはリモコンの[採用]キーを押す)



電話番号を登録する

- 1 (メニュー) ▶ 編集・設定 ▶ マークを編集する ▶ (変更したいマーク) ▶ 電話番号と選び、決定する

電話番号入力画面になります。



- 2 登録したい電話番号を入力する

リモコンの数字キーを押します。

- 3 「設定」を選び、決定する(またはリモコンの[採用]キーを押す)

「キャンセル」を選ぶと、登録を中止します。

ちょっと一言

電話番号は、レストランや友人宅のメモ帳としてご利用ください。

シンボルを変更する

- 1 (メニュー) ▶ 編集・設定 ▶ マークを編集する ▶ (変更したいマーク) ▶ シンボルと選び、決定する

マークシンボル変更画面になります。



- 2 マークシンボルのいずれかを選び、決定する

マークシンボルのリストをスクロールするには
・リモコンのカーソル/決定ボタンを上下に押します。

・リモコンの広域/詳細レバーでリスト項目を送ることができます。

- 3 「設定」を選び、決定する

「キャンセル」を選ぶと、変更を中止します。

編集・設定

マークを編集する
電話番号／シンボル
読み



編集と設定(編集・設定メニュー)

グループを設定する

マークのグループを設定しておくと、グループでマークを絞り込むことができます。

- 1  ▶ 編集・設定 ▶ マークを編集する ▶ (変更したいマーク) ▶ グループと選び、決定する

グループ設定画面になります。



- 2 グループ欄のいずれかを選び、決定する

グループのリストをスクロールするには
・リモコンのカーソル/決定ボタンを上下に押します。
・リモコンの広域/詳細レバーで一覧を送ることができます。

- 3 「設定」を選び、決定する

「キャンセル」を選ぶと、変更を中止します。

ちょっと一言

グループの種類は以下のとおりです。

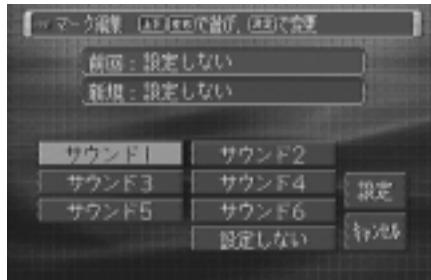
- | | | | |
|-------|------|--------|-----|
| ・よく行く | ・友達 | ・家族・親戚 | ・食事 |
| ・遊び | ・買い物 | ・仕事 | ・秘密 |
| ・注意 | ・その他 | ・未設定 | |

サウンドを設定する

自車がマーク付近を通過したときの音を設定することができます。

- 1  ▶ 編集・設定 ▶ マークを編集する ▶ (変更したいマーク) ▶ 詳細編集へ ▶ サウンドと選び、決定する

サウンド設定画面になります。



- 2 サウンド欄のいずれかを選び、決定する

カーソル/決定ボタンを押すと、それぞれの音が出て、確認することができます。

- 3 「設定」を選び、決定する

「キャンセル」を選ぶと、変更を中止します。

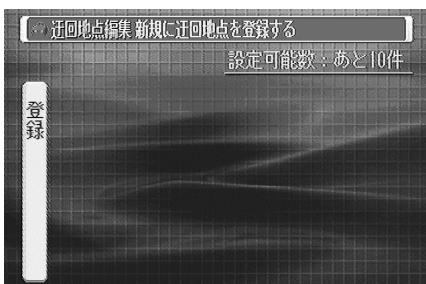


迂回地点を登録・編集する

地図画面上に迂回地点を、10件まで登録することができます。

1 ▶ 編集・設定 ▶ 迂回地点を登録・編集する と選び、決定する

迂回地点を新規に登録する画面になります。



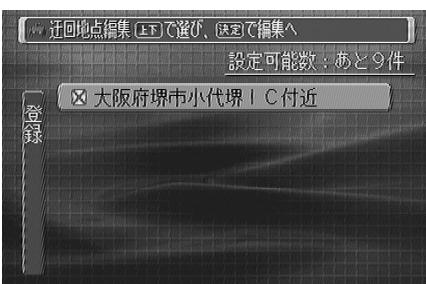
2 「登録」を選び、決定する

場所を登録する画面になります。



3 場所を探す方法を選び、それぞれの方法で迂回地点を登録する

迂回地点が登録されます。



● ちょっと一言

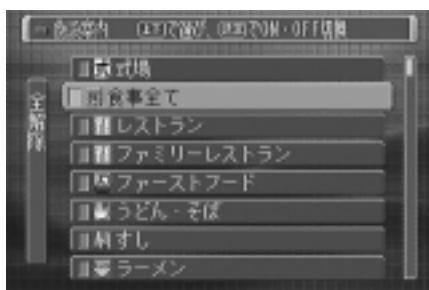
迂回地点を編集するには、手順1で表示した画面で編集したい迂回地点を選び、決定します。

編集と設定(編集・設定メニュー)

コンビニなどの施設案内を設定する

地図画面上に表示するコンビニなどの施設を、カテゴリー単位で設定します。同時に設定できる施設の数は、5種類までです。

1 (メニュー) ▶ 編集・設定 ▶ 施設案内を設定する と選び、決定する



2 地図画面に表示したい施設の種別を選び、決定する

3 現在地またはメニューボタンを押し、地図画面に戻る

自車位置またはカーソル(+ マーク)位置から半径10km以内にある指定カテゴリーのマークが、近いものから順に200か所まで、縮尺800m以下の地図画面に表示されます。



種別(カテゴリー)マーク

詳細に設定する

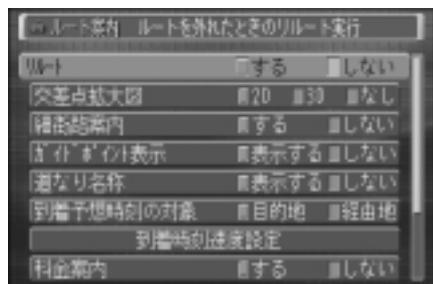
「詳細設定」メニュー画面



ルートの案内方法を設定する

ルート案内中の、音声ガイドや交差点拡大図表示などを設定します。

1 (メニュー) ▶ 編集・設定 ▶ 詳細設定 ▶ ルートの案内方法を設定する と選び、決定する



リルート* ルートを外れたときにリルートします。「しない」に設定すると、リルートしません。(34ページ)

交差点拡大図* 交差点拡大図の平面「2D」、立体「3D」などを設定します。「しない」に設定すると、交差点拡大図を表示しません。(24ページ)

* ルート案内のときの条件設定です。



細街路案内 ** 細街路とは通常のルート探索では対象にならない細い道のことです。一方通行や右左折禁止などの情報のない道を含みます。地図上のルート線はピンク色になります。本機では常に「使う」に固定されており、細街路でのルート案内とリルートを実行します。

ガイドポイント表示* ガイドポイントを「表示する」か「しない」かを設定します。
(34ページ)

道なり名称 走行中の道路名、交差点名などを「表示する」か「しない」かを設定します。

到着時刻の対象* 地図画面左下に表示する所要時間の対象を「目的地」または「経由地」に設定します。

到着時刻設定 高速道路、有料道路、一般道での平均速度を設定し、到着時刻を計算して表示します。

料金案内 有料道路での料金を音声と画面表示で知らせます。

県境お知らせ 県境を超えたときに音声で知らせます。

注意ポイントガイド カーブ、合流、踏切などの注意ポイントを画面表示と音声で知らせます。

フレンドリー メッセージ 1日1回、起動時に日付けを音声で知らせます。

レーンガイド 表示 レーンガイドを表示します。

* ルート案内のときの条件設定です。

** 細街路での音声ガイドは、通常のポンという予報音とは異なり、ポンポンと2回予報音が鳴ります。

2 カーソル/決定ボタンの上下を動かして設定する項目を選び、左右を動かして選択する

設定後は

戻るボタン(またはメニューボタン、現在地ボタン)を押します。

地図の表示方法を設定する

地図画面表示の初期設定を行います。

1

▶ 編集・設定 ▶ 詳細設定 ▶ 地図の表示方法を設定する と選び、決定する



走行軌跡の表示 走行軌跡とは、自車がそれまでに走ってきた道につく白い点のことです。

地図色切換 地図の色の夜/昼モードを自動的に切り替えます。
「イルミ」にすると、ご使用の車のスマートランプ(車幅灯)をかけたときに地図の色が夜モードに、消したときに昼モードになります。本機のイルミ端子を接続していない場合は(別冊「取り付けと接続」参照)、常に昼モードになります。

走行軌跡を消す この項目を選んで決定すると、地図上の走行軌跡を消します。

方面ガイドスクロール 地図をスクロールしたときに上下左右に方面と表示させたいとき、「する」にします。

コンパスライン* フライトビューの地図画面で、自車マークを中心とした同心円上におおよその距離を表示するとき「する」にします。

マルチアングルポリゴン** フライトビューの市街地図画面(縮尺50m以下)で建物などを立体で表示するとき「する」にします。

編集・設定

詳細設定
施設案内を設定する



立体ランドマーク 東京ドームなどの立体ランドマークを表示するとき「する」にします。



道幅表示 道幅を表示するとき「する」にします。

シーズンスポットマーク(桜や紅葉のシーズンに見所スポットに表示されるランドマーク)を表示するとき「する」にします。

ハイウェイマップ自動表示 高速道路に入ると自動でハイウェイマップを表示します。

アウトラインフォント 距離に合わせて文字サイズを変化させます。

ちょっと一言

* コンパスラインは、スタンダードビューのときには表示されません。

** マルチアンダルポリゴンマップは有料道路では表示できません。有料道路では自動的に50mスケールの地図画面に切り換わります。

2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして設定する項目を選び、左右に動かして選択する

設定後は

戻るボタン(またはメニューボタン、現在地ボタン)を押します。

システムを設定する

FMチューナー優先受信、リモコンの操作音、カーステレオの消音、ジョグダイヤルの回転方向、モニターのタイプの設定を行います。

1

▶ 編集・設定 ▶ 詳細設定 ▶ システムを設定すると選び、決定する



音量設定 ナビ音声の音量をモニターの音量つまみとは独立して設定します。

車両情報設定 設定した車両に応じた料金案内を行います。

車速パルスリセット ナビシステムを他の車に付け替えたとき、リセットが必要です。

DGPS* DGPSとVICSのどちらを優先するかを設定します。「使う」に設定すると、DGPS優先で受信しますが、VICSもあわせて受信します。

リモコン操作音 リモコン操作時のピッという確認音を出すとき「する」にします。

カーステレオ消音 ソニーのカーオーディオマスターユニットでATT機能対応モデルに接続したとき「する」にすると、音声案内時とハンズフリー機能使用時に自動的に消音します。

ジョグダイヤル回転方向 リモコンのジョグダイヤルを回した方向に画面のメニューが動くようにする(「正転」)か、ダイヤルを回した方向と反対にメニューが動くようにする(「逆転」)かを設定します。

* DGPSについては、「用語集」(147ページ)をご覧ください。

2

カーソル/決定ボタンを上下に動かして設定する項目を選び、左右に動かして選択する

設定後は

戻るボタン(またはメニューボタン、現在地ボタン)を押します。



VICS/FMの設定

VICSとFM多重受信の初期設定を行います。
VICSおよびFM多重放送情報の見かたについて
は、「情報を見る」(82ページ)をご覧ください。

1 メニュー ▶ 編集・設定 ▶ 詳細設定 ▶ VICS/FM多重を設定する と選 び、決定する

VICS/FM多重設定画面になります。



VICS放送局 「VICS選局」画面(110ページ)
を選ぶ になります。

FM多重放送 「FM選局」画面(111ページ)
を選ぶ になります。

情報を表示す VICS情報の道路種別による表示
る道路の種類 を切り換えます。

- 「すべて」: 高速道路/一般道路とも表
示
- 「一般」: 一般道路のみ表示
- 「高速」: 高速道路のみ表示
- 「表示しない」: どれも表示しない。

渋滞なし表示 渋滞なしの渋滞線表示の「す
る」「しない」を切り換えます。

駐車場表示 事故や規制・駐車場表示の「す
る」「しない」を切り換えます。

規制情報表示 規制情報表示の「する」「し
い」を切り換えます。

点滅表示 渋滞線の点滅表示の「する」「し
ない」を切り換えます。

以下は別売りのピーコンユニット接続時の
み表示されます。

注意警戒情報 注意警戒情報表示の「する」「し
表示 ない」を切り換えます。

ポップアップ ポップアップの種類を設定しま
情報の種類す。

- 「図形と文字」: 文字と図形情報を
ポップアップ
- 「図形のみ」: 図形情報をのみをポッ
ップアップ
- 「OFF」: ポップアップしない。

2 必要な項目を選び、カーソル/決定 ボタンを左右に動かして設定を切 り換える

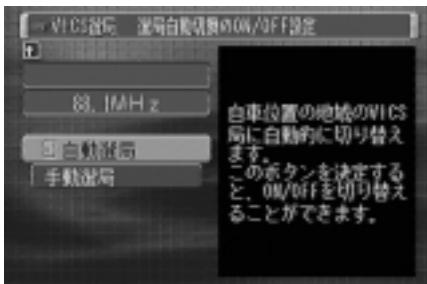
「VICS放送局を選ぶ」「FM多重放送局を
選ぶ」を選んだ場合は、カーソル/決定ボタ
ンを押します。

設定後は
戻るボタン(またはメニューボタン、現在地ボタ
ン)を押します。

VICS局を選局する

▶ 編集・設定 ▶ 詳細設定 ▶
VICS/FM多重を設定する ▶ VICS
放送局を選ぶと選び、決定する

「VICS選局」画面になります。



自動選局：自車位置の地域のVICS局に自動的に切り替えます。カーソル/決定ボタンを押して「ON」(チェックをつける)か「OFF」(チェックをはずす)かを選択します。

手動選局：周波数入力画面*に切り換わります。

VICSを効率よく受信するには
通常は「自動選局」を「ON」にします。
うまく受信できないときは、「手動選局」を選んで、受信したいVICS局の周波数を選んでください。

ちょっと一言

通常は自動選局機能により、VICS局を選局する必要はありません。自車位置以外のVICS情報を見たいときに行ってください。

*周波数入力画面について

「手動選局」を設定すると、下図のような周波数入力パレットが表示されます。入力はリモコンの数字キーで行います。



リモコンの数字キーを1つずつ押して、周波数を入力します。

ちょっと一言

見たい地域のFM局が受信できるときは、「手動選局」を使ってVICS局を選び、そのVICS情報を確認します。その後で再び「自動選局」を選んでください。この場合、現在地周辺のVICS情報が得られるようになります。



FM多重局を選局する

プリセットリストの放送局を、受信します。

- 1  ▶ 編集・設定 ▶ 詳細設定 ▶ VICS/FM多重を設定する ▶ FM多重放送局を選ぶと選び、決定する

「FM選局」画面になります。



- 2 受信したいプリセット局を選び、決定する

選択したプリセット局の番組画面に切り換わります。

 ご注意

オートプリセットを実行した場合、FM文字多重放送局ではないFM局もプリセットされることがあります。

FM多重局を選局して、プリセットリストに登録する

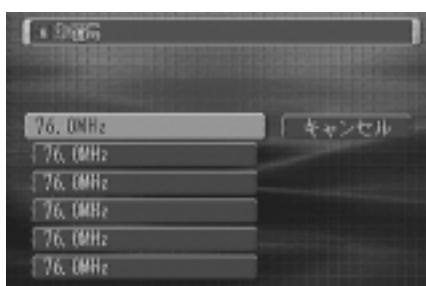
FM選局リスト(プリセットリスト)にない放送局を受信して、FM選局リストに登録します。

- 1  ▶ 編集・設定 ▶ 詳細設定 ▶ VICS/FM多重を設定する ▶ FM多重放送局を選ぶ ▶ 手動選局と選び、決定する



- 2 リモコンの数字キーを1つずつ押し、周波数を入力する

- 3 選局したら、「リストに加える」を選び、決定する



- 4 変更したいFM選局リストを選び、決定する

すでに放送局が登録されているリストを選択すると、新しく登録するものに入れ替わります。

設定後は

戻るボタン(またはメニューボタン、現在地ボタン)を押します。



緊急情報は

災害時などにFM文字多重放送局が送信する緊急情報を、本機が受信したとき、画面に優先的に表示する情報です。

緊急情報について

災害に関する緊急情報は、本来、法令に基づき、国または地方自治体が適切な手段を選んで国民に伝達するものですが、その補助的な手段の一つとして放送電波を利用したものが、この緊急情報です。

本機は、緊急警報を受信できるようにしたものですが、本機自体で災害による被害を予防したり損害を回避できるものではありません。

従って、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、取扱いの誤り等により、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではありませんので、このことをご理解のうえ、本機をご利用ください。

● ● ● ご注意

- 車のアンテナが収納された状態では、「緊急情報」の受信はできません。
- 受信した内容を見るとときは、実際の交通規則に従い、車を安全な場所に停車してください。
- 受信状況により、送信された緊急情報をすべて受信できるとは限りません。

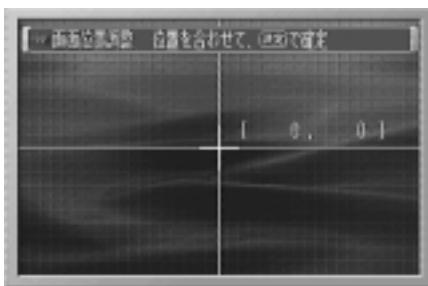
画面位置を調整する

この機能は、画面の中心位置のずれを調整するためのものです。

1

メニュー ▶ 編集・設定 ▶ 詳細設定 ▶ 画面位置を調整する と選び、決定する

「画面位置調整」画面になります。



2

カーソル/決定ボタンを上下左右に動かして + 位置を画面の中央に合わせ、決定する

地図に戻ります。



自車位置を調整する

自車位置の修正を中止するには
リモコンの戻るボタンを押します。

次のようなときなどに、自車位置の修正をおすすめします。

- ・フェリーなどで移動した後、GPS衛星からの電波を受信するまで自車マークが現在地と一致しないとき
- ・実際に走行している道から自車マークが大きくはずれているとき
- ・本機の電源を切って走行し、再び電源を入れたとき

1 メニュー ▶ 編集・設定 ▶ 自車位置を調整する と選び、決定する



2 +マークを正しい自車位置に合わせ、決定する

自車マークは、+マークの位置に表示されます。

3 カーソル/決定ボタンを左右に動かして自車マークの向きを進行方向に合わせ、再度ボタンを押す

地図に戻ります。



自車位置修正などのメニュー操作は、走行中に行なうことはできません。必ず安全な場所に車を停車させてから、操作してください。

編集・設定

自車位置を調整する



編集と設定(設定・編集メニュー)

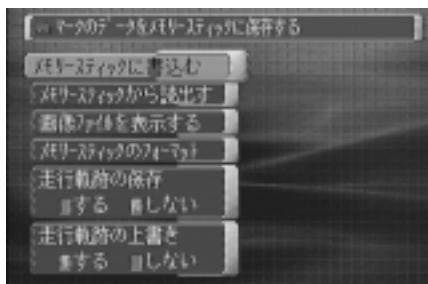
メモリースティックを使う

別売りのメモリースティックにナビ本体のマーク情報を保存し、読み出すことができます。また、ソニーデジタルマップナビゲーターソフトNavin'Youで作成したスポット情報をナビシステムに読み込んだり、デジタルカメラで撮影した画像をナビシステムに表示することもできます。別売りのメモリースティックをナビ本体に挿入して(29ページ)操作してください。

メモリースティックにマークを保存する

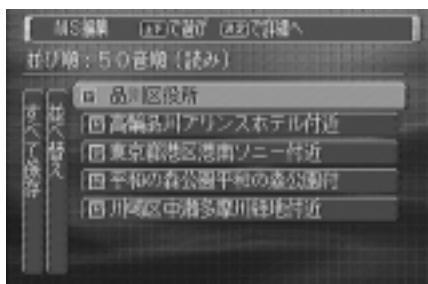
1 メモリースティックと選び、決定する

メモリースティックを使った操作を実行する画面になります。



2 「メモリースティックに書込む」を選び、決定する

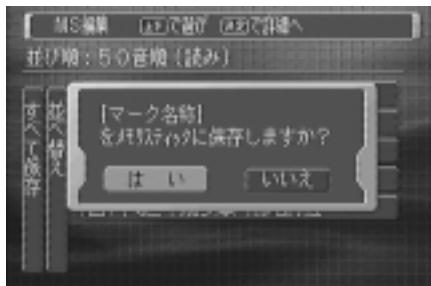
ナビ本体のマーク一覧が表示されます。



3

保存したいマークを選び、決定する

確認メッセージが表示されます。



4

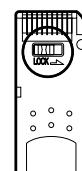
「はい」を選び、決定する

メモリースティックにマークが保存されます。

すべてのマークを保存するには
手順2で「すべて保存」を選び、決定します。

ご注意

- メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」位置になっているときは、保存できません。



- マークは「メモリースティック位置情報交換ファイルフォーマットVer.1.0」形式で保存されます。
- 100地点分のマークを保存するには、48キロバイト程度の空き容量が必要です。ただし、記録する情報によって、必要な空き容量は多少異なります。
- 保存中は、絶対にメモリースティックを取り出したり、車のエンジン(ACC)を切らないでください。メモリースティックの故障やデータの破壊の原因になります。

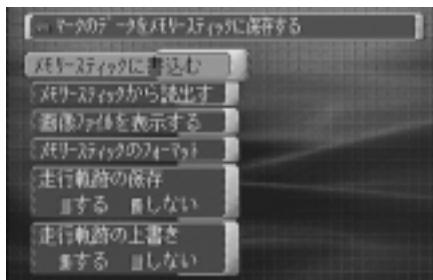


メモリースティックからスポットを読み出す

別売りのメモリースティックに保存されたスポット情報を読み出して使うことができます。

1 メモリースティック ▶ 編集・設定 ▶ メモリースティックと選び、決定する

メモリースティックを使った操作を実行する画面になります。



2 「メモリースティックから読み出す」を選び、決定する

スポットデータの入ったファイルが一覧表示されます。



3 読み出したいファイルを選び、決定する

選んだファイル内のスポット名が一覧表示されます。

4

読み出したいスポットを選び、決定する

次の操作を選ぶメニューが表示されます。

「ここに行く」呼び出したスポットの地点を目的地にして、ルートを探します。

「詳細を見る」呼び出したスポットの詳細情報が表示されます。

「マークに登録」呼び出したスポットの地点が、ナビ本体のマークに登録されます。

5

「マークに登録」を選び、決定する

メモリースティックのスポット情報がマークとしてナビ本体に読み出されます。

編集・設定

メモリースティックを使う

すべてのマークを読み出すには
手順2で「すべて登録」を選び、決定します。

ご注意

- ・スポット情報は「メモリースティック位置情報交換ファイルフォーマットVer.1.0」形式で保存されていることが必要です。
- ・1枚のメモリースティックに保存するファイル数は、100ファイル(読み込み可能な限界数)までにしてください。
- ・1ファイルに保存するスポットは200個(読み込み可能な限界数)までにしてください。
- ・スポット名は、全角12文字までしか表示できません。
- ・ナビ本体のマーク登録が100件(登録可能な上限)に達しているときは、登録を実行できません。
- ・「すべて登録」を実行するとナビ本体のマーク登録件数が100件を超えるときは、登録を実行できません。このときは、1件ずつ登録してください。
- ・スポット情報のうち、ナビ本体のマーク情報として保存できるのは、名称、座標、読み、電話番号のみです。

ちょっと一言

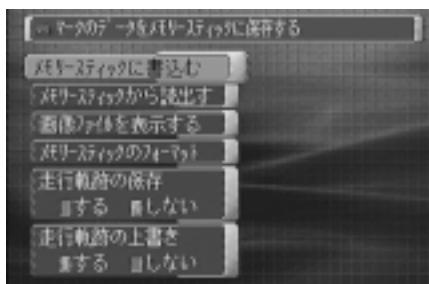
メモリースティックに保存したマークは、メモリースティックのスポット情報として呼び出すことができます。

画像ファイルを表示する

別売りのメモリースティックに保存された画像を、モニターに表示することができます。

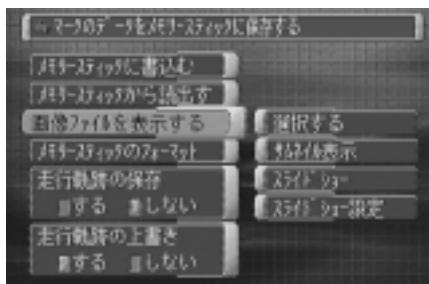
1 メニュー ▶ 編集・設定 ▶ メモリースティックと選び、決定する

メモリースティックを使った操作を実行する画面になります。



2 「画像ファイルを表示する」を選び、決定する

次の操作を選ぶメニューが表示されます。



「選択する」 静止画像のファイル名リストから、見たい画像を選びます。

「サムネイル 表示」 静止画像のサムネイルリストから、見たい画像を選びます。

「スライド ショー」 メモリースティックに保存されている静止画像を一定間隔で自動的に切り換えて表示します。

「スライド ショー設定」 「ループスライド」を「する」に設定すると、スライドショーを繰り返します。

「スライド間隔」では、スライドを切り換える時間を設定します。



ご注意

- 1枚のメモリースティックに保存する画像は、200枚(読み込み可能な限界数)までにしてください。
- 画像のサイズが大きいほど、表示に時間がかかります。
- 読み込める画像は、「メモリースティック静止画ファイルフォーマットVer.1.0」形式で保存されている静止画像(JPEG、GIF、BMP形式)です。
- 表示可能な画像サイズは、2400×2400までです。
- パソコンなどで加工した画像は、表示できない場合があります。

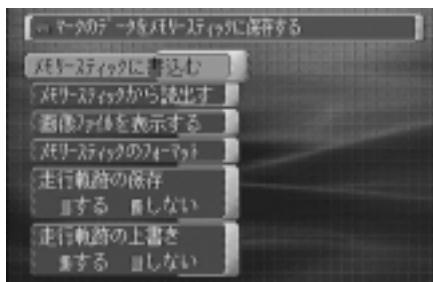


メモリースティックを初期化する

メモリースティックを初期化(フォーマット)すると、記録されていた情報がすべて消去されます。必要な情報は、あらかじめパソコンなどに保存しておいてください。一度消去した内容は復活できません。

1 メモリースティック ▶ 編集・設定 ▶ メモリースティックと選び、決定する

メモリースティックを使った操作を実行する画面になります。



2 「メモリースティックのフォーマット」を選び、決定する

フォーマット(初期化)を実行します。

● ● ご注意

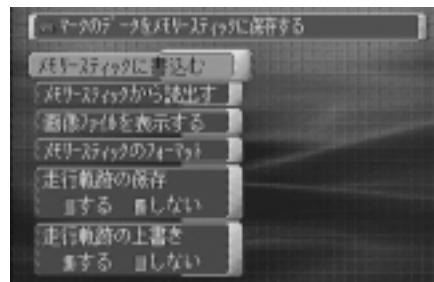
- 初期化中は、絶対にメモリースティックを取り出したり、車のエンジン(ACC)を切らないでください。メモリースティックの故障やデータの破壊の原因になります。
- パソコンで初期化(フォーマット)したメモリースティックは、本機での動作を保証できません。

走行軌跡を記録する

メモリースティックに走行軌跡を記録すると、パソコンに読み込ませて、ソニートラベルアルバムクリエーターGTREX2でドライブアルバムを作ることができます。

1 メモリースティック ▶ 編集・設定 ▶ メモリースティックと選び、決定する

メモリースティックを使った操作を実行する画面になります。



2 各項目を選び、決定する

走行軌跡の保存:「する」を選ぶと、走行時に走行軌跡データを保存します。

走行軌跡の上書き:「する」を選ぶと、メモリースティックが一杯になったときに日付けの古い走行軌跡データを消し、新しい走行軌跡を上書きします。(古い走行軌跡データは失われます。)

● ● ご注意

- メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」位置になっているときは、保存できません。
- 走行軌跡は「メモリースティック移動軌跡/経路情報交換ファイルフォーマットVer.1.0」形式で保存されます。
- 走行軌跡が14日分保存されると、メモリースティックが一杯になります。
- メモリースティックに保存する走行軌跡は、最大300m間隔ごとのデータです。
- 走行軌跡の保存に必要なメモリースティックの空き容量の目安は、下記のとおりです。
 - 100 kmの走行軌跡: 約48キロバイト
 - 500 kmの走行軌跡: 約208キロバイト
 - 1000 kmの走行軌跡: 約416キロバイトただし、走行状態によって必要な空き容量は異なります。
- 電源を入れている状態でメモリースティックを取り出すときは、走行軌跡の保存を「しない」に設定してから抜き出してください。メモリースティックの故障やデータの破壊の原因になります。

テレビを見る

リモコンを操作して、付属のテレビを見るすることができます。

安全のために

チャンネル登録設定やテレビを見るときは、安全な場所に停車してパーキングブレーキを確実に機能させた状態で操作してください。



ご注意

メニュー操作は画像の安定した状態で行ってください。

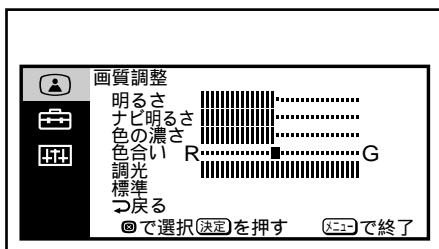
テレビ局を自動で登録する

現在ご覧になれるVHF/UHFのテレビチャンネルを1~12のチャンネルポジションに自動的に割り当てます。工場出荷状態では、VHF放送の1~12チャンネルが設定されています。

1 リモコン右側面のテレビ/ビデオボタンを押す

テレビまたはビデオ画面になります。

2 メニューボタンを押す

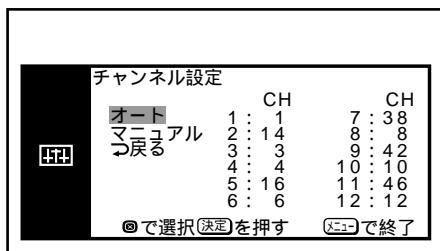


3 [TV] (初期設定) を選び、決定する



4

「テレビチャンネル設定」を選び、決定する



5

「オート」を選び、決定する

画面右上に検索しているチャンネルが表示され、自動的に現在ご覧になれるチャンネルが1から最大12までのチャンネルポジションに順次登録されます。

6

設定が終わったら、リモコンのメニューボタンを押す

充分な受信感度が得られないときは

ブースター
テレビ本体のBOOSTERスイッチ(「テレビ本体の操作ボタン」127ページ参照)を「ON」にすると、よりよく電波を受信することができます。TVアンテナを車室内に取り付けた場合などに有効です。
スイッチが「ON」の状態で放送塔の近くなどで受信すると、映像がつぶれることができます。その場合は、「OFF」にしてください。



テレビを見る

本章最後の「テレビ本体の操作ボタン」と「テレビ操作時のリモコンボタン」もあわせてご覧ください。

1 テレビ本体のPOWERボタンを押す

2 テレビ本体のTV/VIDEOボタン (またはリモコン右側面のテレビ/ビデオボタン)を押す

ボタンを押すたびに、テレビ画面とビデオ画面が切り換わります。

3 チャンネルを選ぶ

テレビ本体のSEARCHボタンの左右を押します(または、リモコンのカーソル/決定ボタンを上下に押します)。

リモコンの数字キーで選ぶこともできます。

各数字キーを押すと、それぞれの番号に登録されたチャンネルを受信します。

CH10、CH11、CH12は、キーの下に表示されています。



リモコンに表示されている番号は、放送局のチャンネルを意味するものではありません。

4 音量を調整する

テレビ本体のVOLボタンの+/-側を押します。

リモコンでは、広域/詳細レバーを上下に押します。

チャンネル番号などを画面に表示するにはリモコンの現在地(画面表示)ボタンを押します。もう1度押すと表示が消えます。

充分な受信感度が得られないときは

ブースター

テレビ本体のBOOSTERスイッチ(「テレビ本体の操作ボタン」127ページ参照)を「ON」にすると、よりよく電波を受信することができます。TVアンテナを車室内に取り付けた場合などに有効です。

スイッチが「ON」の状態で放送塔の近くなどで受信すると、映像がつぶれことがあります。その場合は、「OFF」にしてください。



ワイド画面で見る

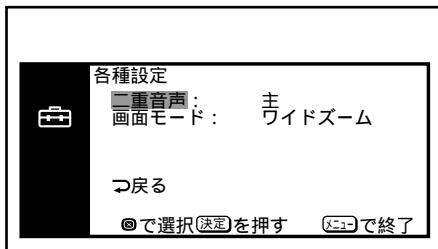
テレビ画面は、通常の表示画面サイズ(4:3)のほかに、ワイド(全表示画面)ズーム画面、ワイドズーム画面に切り換えられます。

1 リモコン右側面のテレビ/ビデオボタンを押す

テレビまたはビデオ画面になります。

2 メニュー ボタンを押す

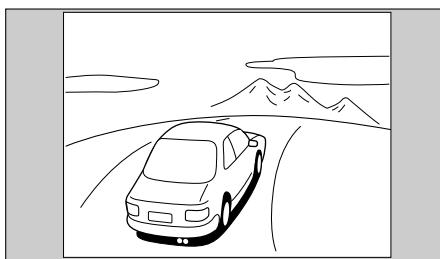
3 (各種設定) を選び、決定する



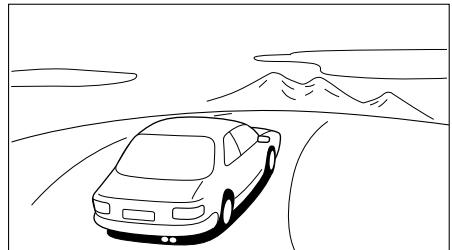
4 「画面モード」を選び、決定する

5 カーソル/決定ボタンを左右に押して、画面モードを選び、決定する

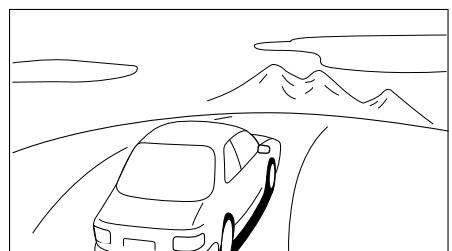
ノーマル(通常)：横縦比4:3の映像
(テレビ/ビデオ画面時のみ)



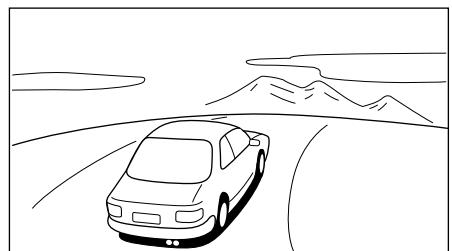
ワイドズーム：横縦比4:3の映像の左右周辺だけを画面サイズに合わせて拡大
(テレビ/ビデオ画面時のみ)



ズーム：横縦比4:3の映像全体を左右に合わせて拡大し、上下をカット
(テレビ/ビデオ画面時のみ)



フル：横縦比4:3の映像の左右を画面サイズに拡大



(ノーマルに戻る)



ご注意

- 本機は各種の画面サイズ切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なる画面サイズを選択されると、オリジナルの映像とは見え方に差ができます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像をズームおよびワイドズームを利用して画面いっぱいに表示してご覧になると周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えることがあります。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルでご覧になります。
- ズームでご覧になると、画像が荒くなります。
- 家庭用のワイドテレビとはワイドズームが異なります。
- メニュー表示のモードを切り換えただけでは画面は変わりません。メニューを終了すると切り換わります。

ビデオなどを見る

別売りのビデオ機器などを接続し、ビデオを見るることができます。

1 リモコン右側面のテレビ/ビデオボタンを押す

押すたびに、テレビ画面とビデオ画面が切り換わります。

2 音量を調整する

広域/詳細レバーを上下に押します。

ご注意

ナビ画面とテレビ画面を同時に表示することはできません。

ナビ画面を見ながら他の音声を聞く(サイマル機能)

ナビシステムの画面を映しながら、テレビの音声を同時に聞くことができます。

1 テレビを見ているときに、リモコン右側面のナビボタンを2秒以上押す

ナビ画面を映しながら、音声は表示されているテレビのチャンネルの音声になります。

2 サイマル機能を解除するには、テレビ/ビデオボタンを押して、テレビまたはビデオ画面に戻す

テレビを見る

音声を消す (アッテネート機能)

1 リモコンの操作画面左・右ボタンを押す

画面左下に「消音」と表示されます。

2 音声を元の音量に戻すには、操作画面左・右ボタンを押す

広域/詳細レバーを押して音量を変えたときも、消音が解除されます。

ご注意

ご注意

FMトランスマッターを使って音声を聞く場合、ナビ画面とビデオ画面では、アッテネート機能は動作しません(「消音」表示が出ていても音声は消えません)。テレビ番組を見ているときのみ働きます。

FMトランスマッターを使わずに音声を聞く場合は、ナビ画面とビデオ画面でもアッテネート機能が働きます。



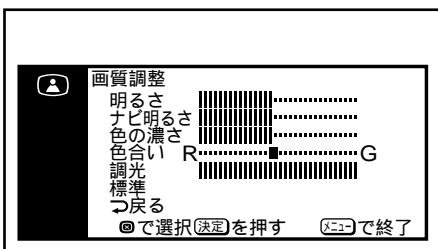
画質を調整する

周囲の明るさや見る位置に合わせての明るさ、画面の色の濃さや色合いを調整し見やすくすることができます。

1 メニュー ボタンを押す

メニュー画面になります。

2 (画質調整) を選び、決定する



3 調整項目を選び、決定する

「標準」を選んで決定すると、「調光」以外の項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

4 カーソル/決定ボタンを左右に押して調整し、決定する

左に押す	右に押す
明るさ	暗くなる
ナビ明るさ*	暗くなる
色の濃さ	淡くなる
色合い	赤みがかる
調光**	機能が強く効く
	機能が弱く効く

* 「ナビ明るさ」は、テレビ/ビデオ画面時に調整します。調整時には、自動的にナビ画面になります。

**「調光」は、オートディマー機能とも言います。オートディマー機能とは、夜間やトンネルなど、周囲の明るさに合わせて画面が暗くなる機能のことです。オートディマーを強く効かせるには、左に押しつづけます。お買い上げ時には、オートディマーが効いていない状態になっています。

5

設定が終わったら、メニュー ボタンを押す

ちょっと一言

明るさの調整には、次の3種類があります。

明るさ：テレビ画面の明るさ

ナビ明るさ：ナビ画面の明るさ

調光：画面を見やすくするためにバックライトの明るさを落とす度合い



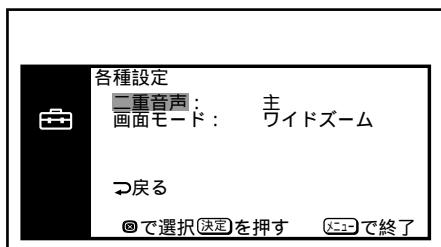
二重音声の設定

二重音声放送時の音声(主音声と副音声)を設定します。

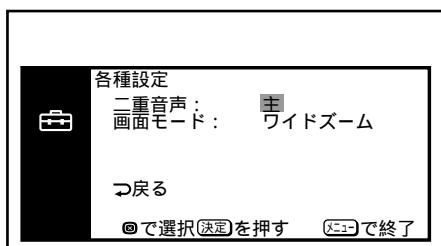
1 メニュー ボタンを押す

メニュー画面になります。

2 [■] (各種設定) を選び、決定する



3 「二重音声」を選び、決定する



4 カーソル/決定 ボタンを左右に押して「主」または「副」を選び、決定する

主：主音声のみ出力する

副：副音声のみ出力する

5 設定が終わったら、メニュー ボタンを押す



初期設定画面の「オーステレオ」を「切」に設定したときは、二重音声を楽しむことはできません。

ステレオ音声の設定

ステレオ放送時の音声を設定します。

1 メニュー ボタンを押す

メニュー画面になります。

2 [■] (初期設定) を選び、決定する



3 「オーステレオ」を選び、決定する



4 カーソル/決定 ボタンを左右に押して「入」または「切」を選び、決定する

入：ステレオ放送のときは自動的にステレオになります、画面に「ステレオ」と表示されます。

切：ステレオ放送が聞き取りにくいときに「切」にします。音はモノラルになりますが、聞き取りやすくなります。

5 設定が終わったら、メニュー ボタンを押す

テレビを見る



テレビを見る

本体およびリモコン操作音の設定

リモコン操作時の操作確認音を消すことができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

2 [H-T] (初期設定) を選び、決定する



3 「テレビリモコン音」を選び、決定する



4 カーソル/決定ボタンを左右に押して「入」または「切」を選び、決定する

入：操作音が出る

切：操作音が出なくなる

5 設定が終わったら、メニューボタンを押す

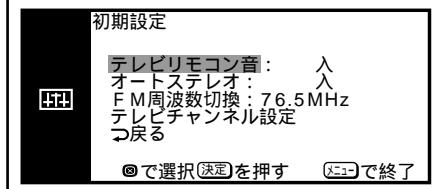
チャンネルを手動で設定する

自動設定したチャンネルを変更するときや郊外でよくお使いになるときなどに手動で設定します。

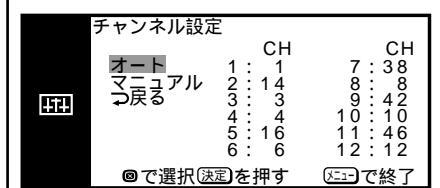
1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

2 [H-T] (初期設定) を選び、決定する

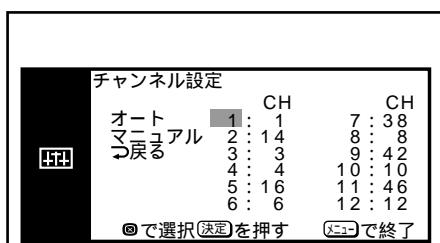


3 「テレビチャンネル設定」を選び、決定する



4 「マニュアル」を選び、決定する

カーソルが登録番号「1」に移ります。





5 変更 / 登録したいチャンネルポジションを選び、決定する

チャンネルポジションを選ぶと登録されていたチャンネルの映像に切り換わります。また、今まで登録されていないチャンネルポジションを選んだときは、その前に映し出されていた映像のままでです。

6 登録したいチャンネルを選び、決定する

カーソル/決定ボタンは、次のような操作になります。

上下に押すと、手動でチャンネル切り換えることができます。

左右に押すと、自動的に次に受信できるチャンネルにとばします。

チャンネルの変更/設定時は画面にチャンネルの映像が映しだされますので、画面を見ながら設定できます。

7 手順5～6を繰り返して、設定する

8 設定が終わったら、メニュー ボタンを押す

● ● ご注意

チャンネル設定中に受信状態の悪いチャンネルが映り、メニュー画面が見えにくくなることがあります。このときはチャンネル/サーチボタンを左右に動かして、受信状態の良いチャンネルを自動的に受信させてから、設定を続けてください。

充分な受信感度が得られないときは

ブースター
テレビ本体のBOOSTERスイッチ（「テレビ本体の操作ボタン」127ページ参照）を「ON」にすると、よりよく電波を受信することができます。TVアンテナを車室内に取り付けた場合などに有効です。

スイッチが「ON」の状態で放送塔の近くなどで受信すると、映像がつぶれることができます。その場合は、「OFF」にしてください。

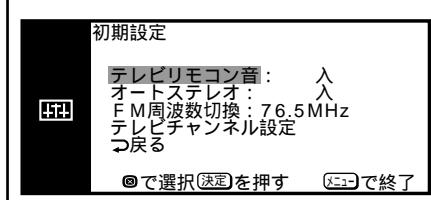
FM周波数の設定 (FMステレオトランスミッター)

テレビやビデオの音声をFM信号に変換して、カーオーディオのFMチューナーで受信して聞くことができます。

1 メニュー ボタンを押す

メニュー画面になります。

2 [HIT] (初期設定) を選び、決定する



3 「FM周波数切換」を選び、決定する



4 カーソル/決定ボタンを左右に押し て送信周波数を設定し、決定する

設定できる周波数は、FM76.0MHz～79.0MHzです。

ボタンを押すたびに0.1MHz単位で変化し、押しつづけると連続して変化します。

FMステレオトランスミッター出力を切るには「切」に設定します。

次ページへつづく

テレビを見る



5 設定が終わったら、メニュー ボタンを押す

6 カーオーディオのFM受信周波数を、手順4で設定した周波数に合わせる

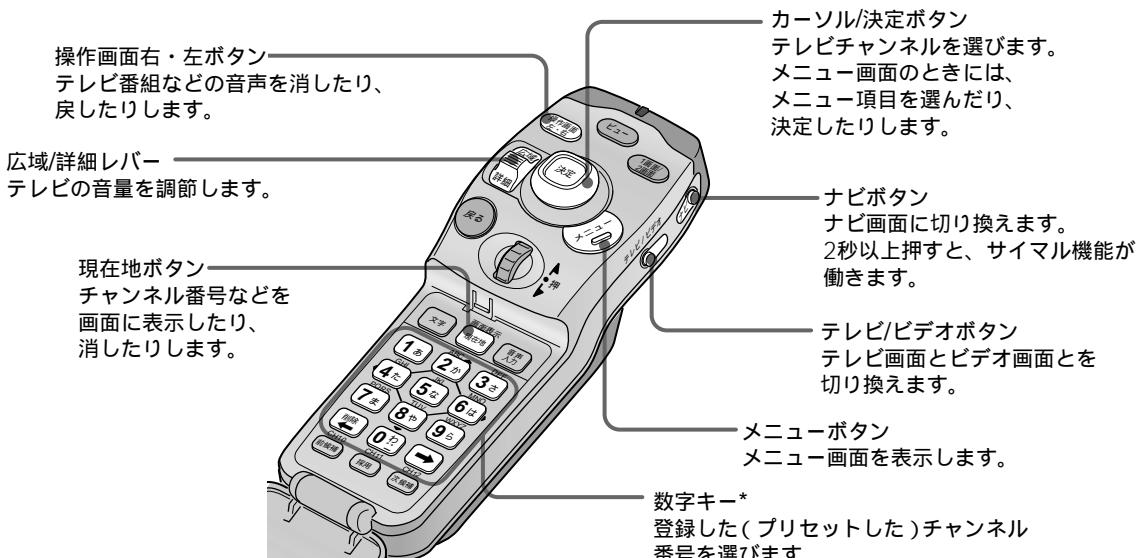


- FM周波数の設定は、FMラジオ放送の放送周波数を避けて設定してください。
- カーオーディオのサーチモードでFM受信周波数を合わせると、設定した周波数で止まらないことがあります。その場合は、手動で合わせてください。

音量の調節は
カーオーディオ側で行います。
本機からも同時に音声が output されていますので、
本機の音量を小さめにしておいてください。

テレビ操作時のリモコンボタン

付属のテレビを操作をするとき、リモコンのボタンは以下のように働きます。

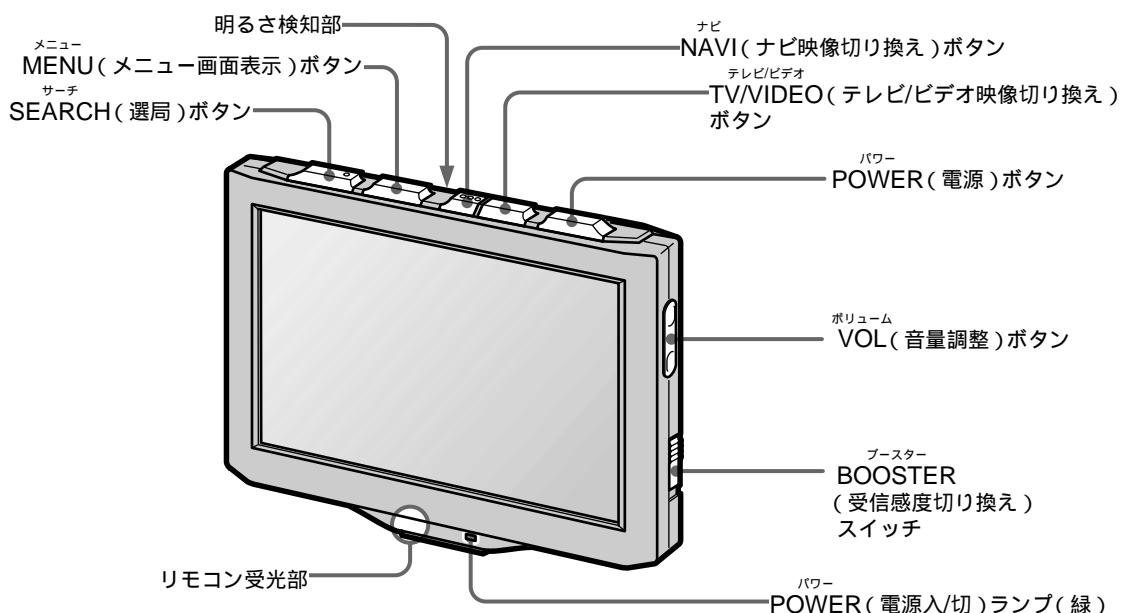


* リモコンに表示されている番号は、放送局のチャンネルを意味するものではありません。



テレビ本体の操作ボタン

テレビ本体の操作ボタンは下図のとおりです。



テレビを見る

テレビ本体でのメニュー操作

テレビ本体でメニュー操作するときは、VOLボタンが項目選択、SEARCHボタンが設定調整、NAVIボタンが決定の役割をします。

例えば画質調整画面で色合いを調整するには次のように操作します。

1 メニュー MENUボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 ナビ NAVIボタンを押す

画質調整画面になります。他の画面を表示するにはVOLボタンで画面を選んで、NAVIボタンを押します。

3 ボリューム VOLボタンで「色合い」を選び、NAVIボタンを押す

4 サーチ SEARCHボタンで色合いを調整し、NAVIボタンを押す

他のメニューも同様の操作で設定できます。

音声で操作する

音声認識機能を使うと、声で指示する(コマンド)だけで、希望の操作を行うことができます。

操作のしかた

1 音声入力ボタンをポンと押す



ご注意

- ・ジョグダイヤルメニューのときは、操作できません。
- ・音声認識操作中に次のボタンを押す(または回す)と、音声認識操作が中断され、各画面に切り換わります。
 - 現在地ボタン
 - メニュー ボタン
 - ジョグダイヤル
 - 戻るボタン
 - 広域/詳細ボタン
 - カーソル/決定ボタン

ちょっと一言

マイクは運転手の顔と向き合うように取り付けてください。

音声認識の途中で操作を取り消すには音声入力ボタンを押し続けてください。

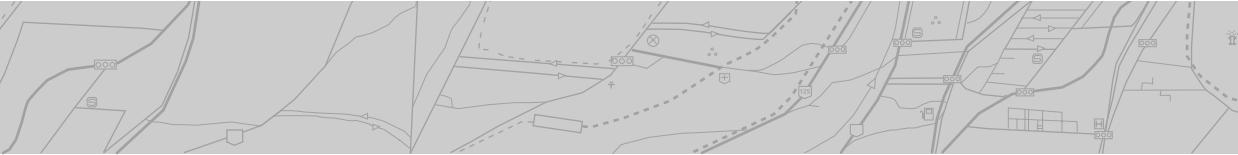
音声認識コマンドを言い直すときは、音声認識の結果を表示中に、音声入力ボタンをポンと押して、改めて言い直してください。

同じ名称で別の場所が表示されるときは音声入力ボタンをポンと押して、「次の候補」と言います。この操作を繰り返すたびに、同じ読みの場所が、順番に呼び出されます。

2 ピッと音がしたら、話す

運転の姿勢のままで発話してください。マイクに顔を向ける必要はありません。





正確に認識させるために

発話のしかた

本機は、発話したコマンドをサンバイザーに取付けたマイクから収音し認識します。

通常の運転姿勢で、通常の声量で話してください。

サンバイザーに顔を向けたり、大きな声で発話する必要はありません。

発話するときは、次のことを守ってください。

- ・発話前後に長い無音時間を入れない。
- ・音声入力ボタンを押したあと、発話前後に「えーっと」「うーんと」などの声を発しない。

また、次のようにすると、認識が向上します。

- ・カーステレオの音量を下げる。
- ・窓を閉めて、車外の雑音を遮る。
- ・普通の速さで話す。

本機が認識した地名や場所の名前が声に出したものと異なるときは

すぐに音声入力ボタンをもう1度押して、地名や場所を言い直してください。

ご注意

- ・音声入力ボタンを押して誤認識の訂正をしても、操作する前の状態に戻れない場合もあります。特に次の場合、前の状態に戻れません。
 - 認識した結果の返答後
 - 音声認識によってルート探索が開始されてしまったとき
- ・新しくできた施設名などは音声で認識できないことがあります。

現在地を表示する

現在地の表示など、使用頻度の高い音声コマンドは、1回の音声入力で実行できるようになります。

音声入力ボタンを短く押して、「現在地」と話す

現在地の地図画面になります。



音声入力を取り消し、音声認識を終了するには音声入力ボタンを押し続けます。

音声で操作する

正確に認識させるために
操作のしかた

現在地を表示する



施設名を言って地図を見る

施設名を音声入力するだけで、地図を呼び出せます。読みを登録したマーク地点も呼び出すことができます。

1 音声入力ボタンを短く押して、「施設名で探す」と話す

「施設名をどうぞ」とアナウンスされます。

2 都道府県名と施設名（「千葉県 東京ディズニーランド」など）を話す

指定した地図画面になります。



誤認識した操作を取り消すには

音声認識の結果アナウンス中や表示中に、音声入力ボタンを押し続けてください。音声認識がやりなおせます。

同じ名称で別の場所が表示されるときは
音声入力ボタンを短く押して、「次の候補」と言います。この操作を繰り返すたびに、同じ読みの場所が、順番に呼び出されます。

ご注意

- 駅名を指定するときは、鉄道会社 路線名 駅名、と続けて言ってください。
例)「JR 東海道本線 東京駅」
- インターチェンジなど高速道路上の施設名を指定するときは、道路名 施設名、と続けて言ってください。
例)「東名高速道路 東京インターチェンジ」
- 施設が県内にあるときは、都道府県名を省略できます。
例)「東京ディズニーランド」

住所を言って地図を見る

住所が分かっている場所へは、都道府県名から順に声で指示することで、地図を表示したり、ルートを探すことができます。

1 音声入力ボタンを短く押して、「住所で探す」と話す

「住所をどうぞ」とアナウンスされます。

2 住所（「東京都港区港南」など）を話す

都道府県名、市町村名、大字（ 丁目）までを、続けて言ってください。

指定した地図画面になります。



3 「番地の入力ができます」と画面に表示されたときは、音声入力ボタンを短く押して、「番地入力」と話す

「番地をどうぞ」とアナウンスされます。

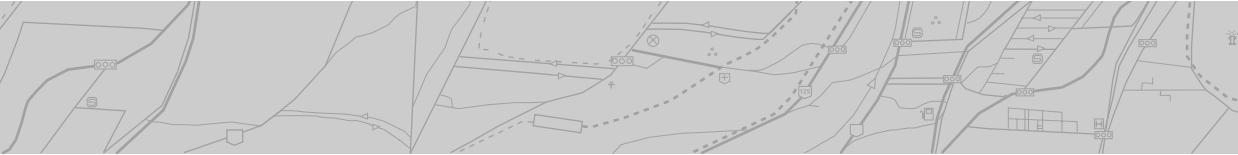
4 音声入力ボタンを短く押して、番地（「1の1」など）を話す

「1の1」は「1-1」(イチ イチ)と言うこともできます。

2桁以上のときは1桁ずつ話してください。

例)「14」(イチ ヨン)

指定した地図画面になります。



電話番号を言って地図を見る

電話番号が分かっている場所へは、電話番号を声で指示することで、地図を表示したり、ルートを探すことができます。

1 音声入力ボタンを短く押して、「電話番号で探す」と話す

「電話番号をどうぞ」とアナウンスされ、電話番号入力画面になります。



2 音声入力ボタンを短く押して、電話番号を話す

数字は、1桁ずつ話してください。
例)「03 123 4567」(ゼロ サン イチ・・)

数字は続けて言っても、区切って言っても認識されます。

3 音声入力ボタンを短く押して、「検索」と話す

指定した地図画面になります。

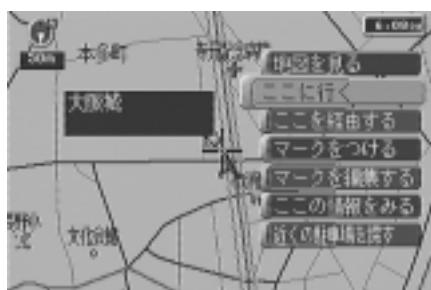
誤認識した操作を取り消すには
音声認識の結果アナウンス中や表示中に、音声入力ボタンを押し続けてください。音声認識がやりなおせます。

ルート案内などを実行する

音声操作でナビシステムの操作が実行できます。たとえば、施設名や住所などから指定した地図を表示したあと、ルート案内を始めるには、次のように音声操作します。

1 音声入力ボタンを短く押して、「ここに行く」と話す

「ここを目的地に設定します」とアナウンスされます。



目的地設定後は、元の画面に戻れません。

2 音声入力ボタンを短く押して、「ルートガイド開始」と話す

「ルートガイドを開始します」とアナウンスされます。

ちょっと一言

ルート案内中は、「あと何分?」「あと何キロ?」などの情報を音声で要求することができます。

音声で操作する

電話番号を言って地図を見る
施設名を言って地図を見る

住所を言って地図を見る
ルート案内などを実行する

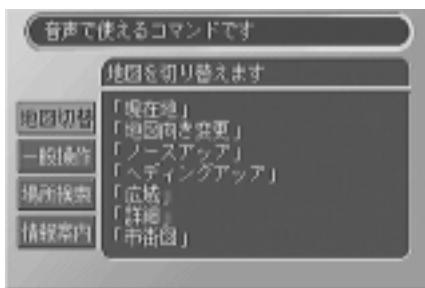


音声メニューを表示する

入力する音声コマンドが分からなくなったら、音声メニューを表示してください。
受け付けることのできるコマンドが表示されます。
以下の手順で操作します。

1 音声入力ボタンをポンと押して、「音声メニュー」を話す

音声メニュー画面になります。



音声コマンドには次の4種類があります。

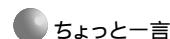
- 地図切替
- 一般操作
- 場所検索
- 情報案内

音声コマンドの一覧は、「音声コマンド一覧」(154ページ)をご覧ください。

2

カーソル/決定ボタンで操作したいコマンドを見る

上下に押すとコマンドの4種類を、左右に押すとコマンドのリストを、見ることができます。



ちょっと一言

リモコンの広域/詳細レバーでもコマンドのリストを送ることができます。

3

(改めて)音声入力ボタンを短く押して、操作したいコマンドを話す

元の画面の状態によっては、実行できないコマンドもあります。

電話をかける(ハンズフリー機能)

音声認識用マイクを使うと、携帯電話を持たずに(ハンズフリー)電話をかけることができます。

ハンズフリー機能を使うには、次の準備が必要です。

- 別売りの携帯電話接続コードRC-PD1(PDC用) / RC-CD1(cdmaOne用)とデジタル携帯電話の接続
- 付属の音声認識用マイクの接続と取り付け

ちょっと一言

マイクは運転手の顔と向き合うように取り付けてください。



ご注意

- 接続ケーブルと携帯電話をつないだときや、つないだままナビの電源をONにすると、携帯電話が再起動します。これは、ハンズフリー機能を有効にするための動作であり、故障ではありません。
- 次のようなときは、電話帳の内容が消去されている場合があります。
 - バッテリーを交換したり、取り外したとき
 - 電源電圧の変動で、バックアップ電圧が降下したとき

電話番号を入力してかける

1

音声入力ボタンを2秒以上押し続ける



電話番号入力画面になります。



2

数字キーで電話番号を入力する

3

「発信」を選び、決定する

入力した電話番号に、電話がかかります。
通話中は、「ハンズフリー通話中」画面になります。

4

電話を切るときは、「切る」を選び、決定する

通話中に電話番号を登録するには
「登録」を選び、決定します。

電話を保留状態にするには
「保留」を選び、決定します。

ちょっと一言

よくかける先の電話番号は、あらかじめ登録しておくことをおすすめします。(次ページ参照)

電話をかける

電話番号を入力してかける



電話をかける(ハンズフリー機能)

電話帳を使う

電話番号を電話帳に登録する

電話番号を電話帳に登録しておくと、電話帳から選ぶだけで電話をかけることができます。

1 音声入力ボタンを2秒以上押し続ける

電話番号入力画面になります。



2 数字キーで電話番号を入力する

3 「電話帳登録」を選び、決定する

入力した電話番号に、登録されます。

着信履歴から登録するには

一度着信した相手の電話番号は、着信履歴から登録できます。

上記の手順2で「着信履歴」を選び、登録したい電話番号を選んでから「登録する」を選んで、決定してください。

電話帳に登録すると、No.500から順に登録されます(最大100件)。

No.499までは、携帯電話からの読み込み用番号(最大500件)です。

電話帳を使って電話する

1 音声入力ボタンを2秒以上押し続ける

電話番号入力画面になります。

2 「電話帳」を選び、決定する

「電話帳」画面が表示されます。

3 電話したい番号を選び、決定する



4 「発信する」を選び、決定する

選んだ電話番号に、電話がかかります。

続けて同じ相手に電話するには

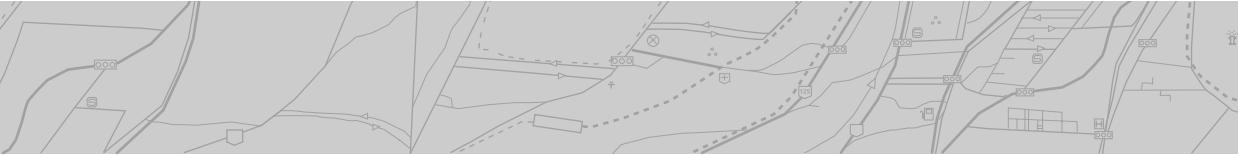
上記の手順2で  (リダイヤルマーク) を選び、決定します。

電話帳の内容を修正するには

上記手順3で「編集する」を選び、決定します。

「電話帳修正」画面が表示され、「名称」と「読み」登録、および消去ができます。「読み」を登録しておくと、音声認識で電話番号が呼び出せます。携帯電話から読み込んだ電話帳は編集できません。





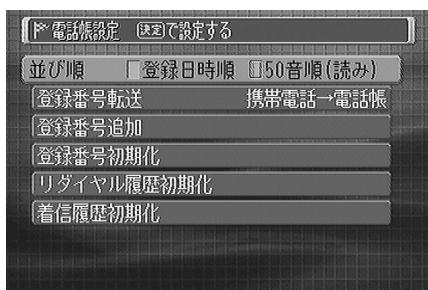
電話帳の内容を設定する

1 音声入力ボタンを2秒以上押し続ける

電話番号入力画面になります。

2 「電話帳設定」を選び、決定する

「電話帳設定」画面が表示されます。



並び順 電話番号リストの並び順を「登録日時順」または「50音順(読み)」から選びます。

登録番号転送 携帯電話に登録されている電話番号を、電話帳にコピーします。

登録番号追加 名称と電話番号を入力して、登録番号を追加することができます。

登録番号初期化 登録番号をすべて削除します。確認画面で「はい」を選んで決定すると、削除が実行されます。

リダイヤル履歴初期化 リダイヤル履歴をすべて削除します。確認画面で「はい」を選んで決定すると、削除が実行されます。

着信履歴初期化 着信履歴をすべて削除します。確認画面で「はい」を選んで決定すると、削除が実行されます。

3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして設定する項目を選び、決定する(または、左右に動かして設定する)

ご注意

- 「50音順(読み)」を実行するためには、「電話帳修正」画面(前ページ)で「読み」を入力する必要があります。
- 登録番号転送中は、次の操作をしないでください。電話帳機能の故障の原因になります。
 - 携帯電話の電源を切る
 - 携帯電話を外す
- 携帯電話のシークレット機能(ロック機能)がかかっていると、登録番号転送ができないことがあります。
- 登録番号転送中に、着信したり、発信したりすると、転送が中断されることがあります。
- 登録番号の転送は、500件まで可能です。
- 転送した電話番号は、編集や削除ができません。
- 登録番号転送を実行すると、新しい内容が前回の登録内容に上書きされます。

電話を受ける

電話がかかってきたときは、「着信中」画面になります。

1 音声入力ボタンを押す

通話できます。

2 電話を切るときは、音声入力ボタンを押す

電話をかける

電話を受ける
電話帳を使う

VICSについて

VICSのサービス地域について

北海道(札幌地区、旭川地区) 宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、岡山、広島、山口、福岡、宮崎、沖縄、全国都市間高速道路がサービス地域です。(2001年4月現在)

本機で受信するVICS情報

VICSセンターが提供する情報は、各都道府県単位の広域情報(FM多重放送で提供)と高速道路上など限定地域での詳細情報(電波ビーコン、光ビーコンで提供)に大きく分かれます。

- ・本機が受信するVICS情報は、FM多重放送で提供される広域道路交通情報のみです。
- ・情報は都道府県単位で、高速道路情報などを加えて発信されます。
- ・内容は5分ごとに更新されます。(2.5分単位で2回送信)
- ・FM放送とFM多重放送では受信可能エリアに差があります。そのため、FM放送が受信できる地域でもFM多重放送が受信できない場合があります。VICS情報はVICSセンターがNHKの設備を使って放送しているもので、NHKのFM文字多重放送とは異なります。また、全国すべてのNHK放送局から発信されているものではありません。
- ・電波ビーコン、光ビーコンによるビーコン情報を受信するには、別売りのビーコンユニットNVA-VB3が必要です。

VICSセンター提供の情報について

- ・VICSセンターが提供する情報に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・VICSセンターでは、道路の新設もしくは改造などの形状変化、信号機、車両感知器の増設などの交通施設の変化に応じ、より適切な情報を提供するため、毎年、道路交通情報の追加、削除を行なっています。したがって、道路交通情報の削除がなされた道路では、道路交通情報が表示されなくなることがあります。

VICSに関するお問い合わせ

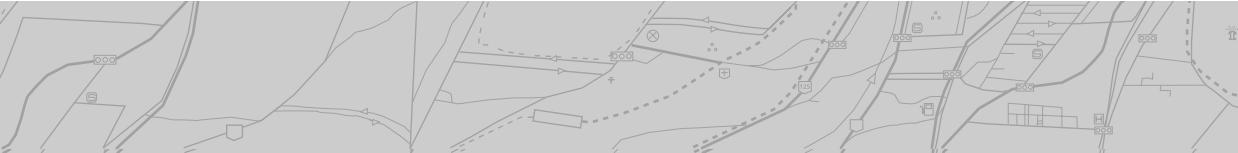
VICSの概念・計画・
表示内容 (財)VICSセンター
TEL(03)3592-2033(東京)
TEL(06)6209-2033(大阪)
電話受付期間:9:30~17:45
(土日、祝祭日は除く)
FAX(03)3592-5494
(24時間受付)

表示内容 ソニーご相談窓口
(レベル3、ただし (付属の「ソニーご相談窓口
VICS情報を除く)
サービスエリア、 のご案内」をご覧ください。)
受信可否、
車載機の調子、機能、
使いかた

VICS情報の受信上のご注意

電波ビーコンや光ビーコンの特性上、次のようなことがあります。故障ではありません。

- ・高速道路付近の一般道路走行中に、高速道路のVICS情報を受信することがあります。
- ・一般道路走行中に、対向車線のVICS情報を受信することがあります。
- ・トンネルの中では、VICS情報を受信しないことがあります。
- ・大型車と並走していたり、大型車を追い越したときに、VICS情報を受信しないことがあります。
- ・幅の広い道路や車線数の多い道路では、VICS情報を受信しないことがあります。



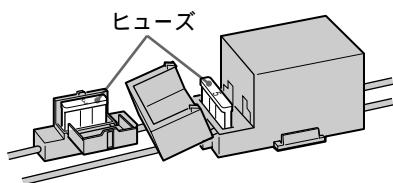
ご注意/お手入れ

プラスチック部品について

リモコンやモニターなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレー、ガラスクリーナーなどをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



GPSアンテナ

- GPSアンテナを取りはずすときに、アンテナコードを引っ張らないでください。
- 携帯電話などの強い電波を出す機器をGPSアンテナの近くに置かないでください。

ナビ本体

水がかからないようにしてください。特に、水にぬれた靴や傘、ボディーカバー等の水滴が直接かからないようにご注意ください。

マークなどのメモリーについて

車両のバッテリーを外したり、電源コネクターを外した場合、マークなどの一部の設定は内蔵のリチウム電池で保持されます。

ただし、長期間放置すると、リチウム電池が消耗し、保持できなくなります。

内蔵のリチウム電池の交換については、テクニカルインフォメーションセンターやお買い上げ店、サービス窓口へご相談ください。

異物について

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。そのままご使用になると火災や感電、故障、事故の原因となります。

液晶パネルについて

- 液晶パネルの前面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- お手入れについては、次のことにご注意ください。

- 液晶パネルについたほこりやゴミ、指紋などは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませてふきとってください。
- ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- 静電気防止剤なども、逆に液晶パネルを傷めことがありますので使用しないでください。

- ・寒いところでご使用になる場合、内部照明装置(バックライト)が暗くなりますが、車内の温度が上がるともとに戻ります。
- ・温度が5℃以下または45℃以上のところではご使用にならないでください。
- ・かなりの低温または高温になると映りが悪くなることがあります、故障ではありません。常温に戻ると回復します。

液晶パネルの輝点について

モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現われることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。また、電源を切ったときに数秒間画面に乱れが出ることがあります。あらかじめご了承ください。いずれの場合もお使いになる上で支障はありません。

無線機や携帯電話について

本機の近くで無線機や携帯電話を使用すると、画像が乱れことがあります。本機から遠ざけるか、使用をやめてください。



付属のTVアンテナについて

盗難やいたずらなどを防止するために、付属のテレビアンテナは、簡単に取りはずしができるようになっています。洗車機にかける場合には、必ずTVアンテナをはずしてください。TVアンテナのはずしかたについては、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

事故防止のために

テレビ/ビデオ画面は、車を止めて、パーキングブレーキを引いてあるときのみ映ります。パーキングブレーキを戻すと、安全のため下のような画面を約5秒間表示した後、自動的にテレビ/ビデオ画面を消し、音声のみとなります。

安全のため走行中は
映像が出ません

運転をしながら、チューナーユニットに接続されている機器を操作したり、モニターの画面を見たりしないでください。事故につながるおそれがあり、危険です。

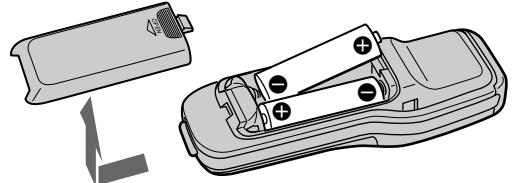
その他

レーダー探知機などを動作させると、その電波の影響により本機や本システムが正しく動作しないことがあります。

リモコン

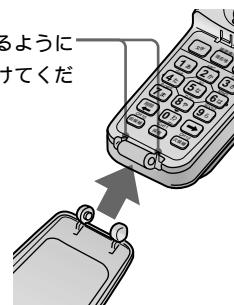
電池の入れかた

単3形乾電池2本(付属)を \oplus と \ominus を正しく入れる。



ふたの取り付けかた

傾斜面に沿わせるように
下側から取り付けてください。



リモコンについてのご注意

- ・ダッシュボードの上など、直射日光の当たるところにリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- ・直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンを取り付け場所からはずし、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池について

電池の交換時期

普通の使いかたで約6か月もちますが、カーソルボタンでスクロールの操作をひんぱんに行なうと、電池の寿命は短くなります。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

リモコンの操作ボタンを押したとき、LEDの点滅が弱くなった場合は、電池の寿命です。



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことをお守りください。

△警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

△注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとつてから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

メモリースティックについて

メモリースティックは、小さく軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。

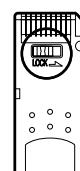
メモリースティックには、一般の“メモリースティック”と著作権保護技術(マジックゲート*)を搭載した“マジックゲートメモリースティック”的2種類があります。

本機では“マジックゲートメモリースティック”と一般的の“メモリースティック”的どちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータは著作権の保護の対象にはなりません。

* マジックゲートとは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

ご注意

- メモリースティックの裏面にある誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、データの読み出しありますが、書き込みや消去はできません。メモリースティックへのマーク保存や走行軌跡の保存を行うときは、誤消去防止スイッチを「書き込み可能」にしてください。



- メモリースティックをダッシュボードの上や直射日光のあたる場所など、高温になるところに放置しないでください。変形、故障の原因になります。
- メモリースティックなどの不具合により記録や再生ができなかった場合、記録内容については保証いたしません。
- メモリースティックの端子部に、手や金属で触れないでください。
- メモリースティック内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- メモリースティックの最適化は行わないでください。
- メモリースティック内のデータを圧縮しないでください。



- メモリースティックのフォーマットについて
メモリースティックは、出荷時に標準フォーマットとして専用のFAT形式でフォーマットされています。お客様ご自身でメモリースティックのフォーマットをされる場合には、メモリースティック対応機器で使用するときの互換性を保つために、ご使用の機器でフォーマットされることをおすすめします。
- メモリースティックをパソコンでフォーマットするときのご注意

Windows OSを使用するパソコンでフォーマットしたメモリースティックは、本機での動作を保証いたしません。

Macintoshでフォーマットしたメモリースティックは、メモリースティック対応機器で使用できなくなる場合があります。

Macintoshでのフォーマットは行わないでください。

- メモリースティックは、高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- ナビ本体のメモリースティックスロットのドアは、必ず閉めて使用してください。ホコリなどが入り、故障の原因になることがあります。
- ナビシステムで作成した位置情報ファイルは、個人として利用するなどのほかは、権利者に無断で使用できません。
- ナビシステム操作中や走行中は、メモリースティックを取り出さないでください。記録したデータが破壊(消滅)されることがあります。
- フォーマットを実行すると、メモリースティック内に記録されているすべてのデータが削除されてしまいます。必要なデータは、あらかじめパソコンなどに保存しておいてください。

“Memory Stick”(“メモリースティック”)、
MEMORY STICK™、“MagicGate Memory Stick”(“マジックゲート メモリースティック”)および MG はソニー株式会社の商標です。
“マジックゲート”および“MAGICGATE”はソニー株式会社の商標です。



メッセージが出たら

内のページに、詳しい説明があります。

メッセージ	原因	処置
「これ以上マークをつけられません。マークをつけるには不要なマークを消去してください。」	地図にマークが100個以上ついているときに、さらにマークをつけようとした。	不要なマークを消去してから、新しいマークをつけてください。 ^⑨
「指定した最寄情報が周辺にありません。」	指定したランドマークが周辺にない。	カーソル位置を移動して改めて「周辺施設から探す」操作をしてください。 ^⑩
「すでに5個のランドマークを設定しています。変更するには、いずれか表示設定を解除してください。」	施設案内のランドマーク表示設定が5個すべて設定されている。	不要なランドマーク表示設定を解除してから、操作してください。 ^⑪
「安全のため、走行中は操作できません。安全な場所に車を停車させてから操作してください。」	パーキングブレーキが引かれていない。	安全な場所に車を停車させて、パーキングブレーキを引いてから操作してください。
「メモリースティックに保存できませんでした。」	<ul style="list-style-type: none">メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」されている。メモリースティックの残り容量がない。	<ul style="list-style-type: none">メモリースティックの誤消去防止スイッチを「LOCK」しない位置で使用してください。別のメモリースティックを使用してください。または、パソコンにメモリースティックのデータを保存後、消去してご使用ください。
「メモリースティックの走行軌跡が一杯になりました。走行軌跡の保存を終了します。」	走行軌跡が14日分保存されました。	パソコンにメモリースティックのデータを保存後、消去して使用してください。または、走行軌跡の上書きを「する」に設定し、古い日付けの走行軌跡を自動的に消して新しいデータを上書きする状態にしてください。 ^⑫
「メモリースティックの容量がありません。走行軌跡の保存を終了します。」	メモリースティックの残り容量がありません。	別のメモリースティックを使用してください。または、パソコンにメモリースティックのデータを保存後、消去して使用してください。 ^⑬
「ディスクを入れてください。」	ナビ本体にディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。



メッセージ	原因	処置
「ディスクを取り出してご確認ください。」	何らかの原因でディスクが読めない。	ディスクを取り出して、汚れ、ゴミ、キズなどを確認してください。汚れがついたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布で、放射線状に軽く拭き取ってください。
「データが読めません。販売店にご相談ください。」	本機になんらかの異常が発生した。	お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

音声認識操作時

本機が音声を認識できなかったときは、次のようなメッセージが表示されます。メッセージの内容を確認のうえ、改めて言い直してください。

メッセージ	処置
「声が小さいです。」	大きな声で話してください。
「声が大きいです。」	小さな声で話してください。
「認識できませんでした。」	正しい音声コマンドを確認した上で、再度話してください。



故障かな？と思ったら

のページに詳しい説明があります。

症状	原因および処置
経由地や目的地に近づいても、音声案内が聞こえない。	ご使用のモニターの音量が最小になっている。 ご使用のモニターの音量調節で適当な音量にしてください。
現在地ボタンを押しても自車の現在地を表示しない。	<ul style="list-style-type: none">障害物の影響でGPS衛星の電波を受信できない。 見晴らしの良い場所に移動してください。受信可能なGPS衛星の数が少ない。 「情報」メニューの「測位情報」から、受信可能なGPS衛星の数を調べてください。 ⑤GPSアンテナの取り付け場所が悪い。 なるべく車のボディによって電波をさえぎらない場所に、水平にアンテナを取り付けてください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)GPSアンテナとナビ本体の接続不良。 アンテナケーブルのコネクターを確実に(カチッと音がするまで)ナビ本体に接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
“市街地図”が表示されない。	地図ディスクに“市街地図”的データが入っていない。“市街地図”は場所によっては収録されていません。
自車の現在地表示が実際に走行中の道路と一致しない。	<ul style="list-style-type: none">GPS衛星からの電波の誤差が大きい。(GPS衛星からの電波は、最悪時で数百メートルの誤差があります。) ⑪・⑫自律航法/マップマッチングの誤差が生じている。 しばらく走行すると正しい測位をします。
ルートが表示されない。	<ul style="list-style-type: none">ルート探索の結果がない。 ルート探索を行ってください。 ⑬ルート案内を始めていない。「行き先」メニューで「ルート案内を始める」を選択して決定してください。 ⑭

その他

故障かな？と思ったら



症状

原因および処置

本機が動作しない。	ナビ本体のリセットボタンを押してください。
モニターに何も表示しない。	ご使用のモニターとナビ本体の接続不良。 モニターとナビ本体を確実に接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
メニューが表示されない。	安全のため、走行中はメインメニューは表示できません。 パーキングブレーキを引いて車が停車しているときのみ、メニューの複雑な操作ができるようになっています。
リモコンのボタンを押しても反応しない。	<ul style="list-style-type: none">リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない。 リモコンの発光部をリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンの乾電池が、消耗している。 リモコンの乾電池を交換してください。 

モニター部

症状

原因および処置

画像、音がまったく出ない。	<ul style="list-style-type: none">カーバッテリーコードがシガレットライターソケットからはずれている、またはしっかり接続されていない。POWERスイッチを押す。テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押す。
画像は出るが音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">リモコンの音量ボタンの+を押す。モニターのVOLつまみで音量を上げる。
はん点や点模様が走る。	アンテナは、なるべく雑音源(エンジン、バイクなど)から離してください。
画像がぶれる。	アンテナ線がはずれかかっていたり、山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込む場合は、画像がぶれることがあります。
つないだ機器の画像や音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">接続コードがはずれている、またはしっかり接続されていない。テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押す。
FMチューナーで音声が聞こえない。	TVチューナーで設定した周波数と合っていない。 設定した周波数に合わせます。
音は出るが、画像が出ない。	テレビまたはビデオ画面で走行している。 走行中は安全のため画面は映りません。
リモコンのボタンを押しても反応がない。	リモコンの乾電池が消耗している。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターやお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターかお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意いただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

その他

保証書とアフターサービス



主な仕様

本体		TVアンテナコード	7m 75 × 4(ミニプラグ付き)
動作温度	-10 ~ +50	マイク	約13.5 × 25 mm(突起部およびコード含まず)
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)	質量	
消費電流	約1.5A	本体	約1.3 kg
使用ディスク	専用オリジナル地図ディスク	ナビリモコン	約120 g(乾電池含む)
接続端子	GPSアンテナ接続端子	GPSアンテナ	約120 g
	FMアンテナ端子	モニター	約460 g
	ビーコンユニット端子	コネクションボックス	約210 g
	携帯電話接続端子	TVアンテナ	約360 g × 2
	モニター接続端子		
	マイク端子		
GPSアンテナ		付属品	
動作温度範囲	-30 ~ +75	ナビリモコン(ワイヤレス)	
防水方式	防噴流仕様	GPSアンテナ	
	マイクロストリップ平面アンテナ	モービルカラーTV(コネクションボックス含む)	
モニター		地図ディスク(一式)	
種類	ワイド液晶カラーモニター	取り付け/接続部品(一式)	
表示方式	透過型TN液晶パネル	取扱説明書(一式)	
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式	ソニーご相談窓口のご案内(1)	
画面の大きさ	154.1 × 87.0mm、177mm (幅 × 高さ、対角線径)	保証書(1)	
画素数	336,960画素	別売り品	
受信方法	NTSC方式	車速パルス発生器	XA-200S
受信チャンネル	1CH ~ 12CH(VHF) 13CH ~ 62CH(UHF) (TVステレオ、音声多重)	VICS対応ビーコンユニット	NVA-VB3
スピーカー	Ø36mm モノラルスピーカー	携帯電話接続コード	
電源	DC12V	PDC用	RC-PD1
消費電流	約1.0A(コネクションボックス含む)	cdmaOne用	RC-CD1
接続端子	ナビ接続端子	IC記録メディア"メモリースティック"	MSA-8AN(8MB) MSA-16AN(16MB) MSA-32AN(32MB) MSA-64AN(64MB) MSA-128AN(128MB)
使用温度範囲	TVアンテナ接続端子 +5 ~ +45		
コネクションボックス	出力端子 アンテナ出力:ミニジャック モニター出力:22ピン角型(専用) 映像入力(1系統): RCAピンジャック 1Vp-p、75 音声入力(1系統): RCAピンジャック -10dBs、10k TVアンテナ入力(4系統):ミニジャック ナビ入力:22ピン角型(専用)	本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更するこ とがありますがご了承ください。	
マイク	入力端子 单一指向性		
外形寸法(幅 × 高さ × 奥行き)			
本体	約192 × 50 × 183.5 mm(突起部含ま ず)		
	1DIN取り付け時: 約178 × 50 × 183.5 mm		
ナビリモコン	約44 × 42 × 136 mm		
GPSアンテナ	約34 × 13 × 38 mm		
モニター	約190 × 127.5 × 26.6 mm		
コネクションボックス	約173.6 × 30.4 × 44.5 mm		
TVアンテナ	約191.7 × 26 × 43.6 mm		



用語集

実際の操作などに関して、詳しくは 内のページをご覧ください。

軌跡 ⑩

地図上で、自車がそれまでに走ってきた道につく印(点)です。本機では、現在地表示画面やナビゲーション画面で、最大1000ポイント(点表示)の軌跡を表示します。

(本機は地図の縮尺に合わせて、見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では1000ポイントまで表示されません。)

自律航法⑩

車速パルスと本体に内蔵されるジャイロセンサーを用いて自車位置を検出する測位方法です。車速パルスから、車が走った距離を測定します。またジャイロセンサーからは、車の進行方向が測定されます。この2つの情報から、GPS衛星の電波状態に関係なく、現在位置を表示することができます。(このとき、GPSの情報は累積する誤差の解消に利用されます。)

したがって正確な測位のためには、車速センサーとバックセンサーをナビゲーションに正しく接続する必要があります。また、ジャイロセンサーを有效地に動かせるために、ナビ本体をしっかり固定する必要があります。(詳しくは、別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)

測位(Positioning)⑩

3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機は、測位した自車の現在地を地図上に表示します。2個以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、現在地を測位できません。

時計表示

GPS衛星には原子時計が搭載されています、正確な時刻信号電波を送信しています。本機動作中はこの時刻信号電波を受信しています。本機はこのデータをもとに正確な時刻を表示することができます。

マップマッチング

誤差によって実際に走行している道路からはずれて自車マークが表示される場合、そのズレを補正して必ず道路上に自車マークを表示させる機能です。この機能は、使用する地図ディスクにマップマッチング用の道路データが存在するときのみ働きます。

DGPS機能 ⑩

GPS衛星からの信号に加え、(株)衛星測位情報センターがFM多重放送を使って提供するGPS補正データを受信し、測位精度を向上させる機能です。また、自動サーチにより常に受信状態の良い周波数を選局します。

DGPSサービスを発信しているFM放送局は次のとおりです。

JFN系列

FM北海道 / FM青森 / FM岩手 /
FM仙台 / FM秋田 / FM山形 /
ふくしまFM / TOKYO FM /
FMぐんま / FM栃木 / FM新潟 /
FM長野 / 静岡FM放送 / FMとやま
/ FM石川 / FM福井 / FM AICHI
/ FM三重 / fm osaka / FM滋賀
/ FM山陰 / FM岡山 / 広島FM放送
/ FM山口 / FM香川 / FM愛媛 /
FM徳島 / FM高知 / FM福岡 /
FM佐賀 / FM長崎 / FM中九州 /
FM大分 / FM宮崎 / FM鹿児島 /
FM沖縄

独立系

Kiss-FM KOBE / FM京都 /
FM富士 / 横浜FM
(2001年4月現在)

GPS(Global Positioning System) ⑩

このシステムはGPS衛星(人工衛星)から地上に放射される位置測定用の電波を利用して、利用者の現在地(緯度・経度・高度)を知ることができるシステムです。地球の周り高度約21,000kmにはGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためのものですが、民間用にもその使用が開放されています。

VICS(Vehicle Information and Communication System) ⑩

VICSとは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供する官民学共同の道路交通情報通信システムです。

機能別索引

ここでは、操作したい目的別に、機能名と参照ページを紹介しています。

操作の目的

機能名

参照ページ

インターネットを見ているときの機能

インターネットを設定する	インターネット設定	93
過去のページに戻る	ページ履歴	90
登録済みのホームページを見る	ブックマーク選択	89
初めてのホームページを見る	URLの入力	88
ブラウザの設定を行う	ブラウザ設定	96
ホームページのURLを登録する	ブックマーク登録	89

地図画面になっているときの機能

覚えておきたい場所をマークする	マーク登録	39
画面の中心位置を微調整する	画面位置調整	112
自車マークを固定して地図を回転させる	進行方向を上にする	36
自宅を登録する	自宅登録	18
地図をフライビュー画面にする	フライビュー	15
常に交差点名などを表示する	道なり名称表示	34
フライビュー画面で建物を立体的に表示する	マルチアンダルポリゴン	107
フライビュー画面の角度と方向を調整する	フライビュー角度 / 方向設定	15
+マークが指マークになった場所の情報を見る	地図情報の表示	41

テレビを見るときの機能

画質を調整する	画質調整	122
周囲の明るさに合わせてモニターの画面を暗くする	オートディマー(調光)	122
主音声または副音声にする	二重音声	123
ナビ画面でテレビやビデオの音声を聞く	サイマル機能	121

電子メールを使うときの機能

アドレスを編集する	アドレス帳	92
電子メールを書く / 送る	電子メールの送信	91
電子メールを読む	電子メールの受信	91

電話をかけるときの機能

電話をかける	ハンズフリー機能	133
電話帳を使う	電話帳	134

登録したマークを編集するときの機能

音声ガイド時の読みを設定する	マーク編集「読み」	102
シンボルを変更する	マーク編集「シンボル変更」	103
電話番号を登録する	マーク編集「電話番号」	103
特定のマークをグループで絞り込む	マーク絞り込み	100
名前を変える	マーク編集「名称」	99

入力するときの機能

名前などを入力する		70
電話番号などを入力する		74



操作の目的	機能名	参照ページ
目的地を探すときの機能		
個人名から探す	個人名検索	78
座標から探す	座標検索	81
ジャンルから探す	ジャンル検索	77
周囲の施設から探す	施設検索	68
住所から探す	住所検索	72
電話番号から探す	電話番号検索	74
登録したマークから探す	マーク検索	80
本機の動作を設定したり確認したりするときの機能		
自車位置を修正する	自車位置修正	113
ナビシステムの接続を確認する	接続情報	85
GPS衛星の受信状態を見る	測位情報	85
ルート案内中の機能		
音声でルート案内する	音声案内	67
交差点での進路を拡大表示する	交差点拡大表示	24
高速道路の出口での進路を拡大表示する	ランプガイド	25
高速道路の分岐点での進路を拡大表示する	ジャンクションガイド	25
走行中の高速道路の情報を見る	ハイウェイマップ	25
曲がるべき方向や交差点までの残距離を表示する	ガイドポイント表示	34
ルート案内を中止する／再開する	ルート案内終了／開始	66
ルートから外れたとき、ルートに戻る	リルート	34
ルート探索時の機能		
最近の目的地から選ぶ	目的地履歴	60
詳細な条件を設定する	詳細条件の設定	61
走行シミュレーションを見る	走行シミュレーション	64
目的地、経由地を決める	ルート設定	54
ルート案内を始める	ルート案内開始	66
ルート全体を見る	全ルート図	62
ルートに沿って地図をスクロールする	オンラインスクロール	65
ルートの設定内容を見る	ルート情報の表示	63
ルートを探す条件を設定する	探索条件の設定	58
FM文字多重放送を受信するときの機能		
受信局をプリセットリストに登録する	プリセットリスト	111
プリセット局を選局する	FM多重選局	111
VICSで交通情報を観ているときの機能		
図形情報を見る	VICS FM図形情報	83
文字情報を見る	VICS FM文字情報	82
VICS局を選局する	VICS選局	110
VICSについて		136

索引



五十音順

ア行

アクセス 89 ~ 90

案内

音声 67

終了 66

シンプルガイド 67

ルート 24

インターネット 86

迂回設定 105

音声操作

音声メニュー 132

コマンド一覧 154

操作のしかた 128

入力取り消し 128

発話のしかた 129

力行

ガイドポイント表示 34

拡大機能

交差点 24

ジャンクション 25

ランプガイド 25

過去のページ 90

画面位置調整 112

緊急情報 112

経由地を追加する 56

決定メニュー 36

現在地を表示する 13

広域地図 13

交差点拡大機能 24

個人名から探す 78

コンパスライン 107

サ行

サウンド設定 99, 104

自宅に帰る 23

自宅を登録する 18

自車

位置調整 113

位置の誤差 12

シーズンスポットマーク 107

車速パルスリセット 108

ジャンクションガイド 25

渋滞回避 34

受信状態表示

(VICS, FM) 82

詳細設定 106

情報メニュー 82

インターネット 86

レジャーガイド 97

FM文字多重 84

VICSビーコン情報 84

VICS FM图形情報 83

VICS FM文字情報 82

ジョグダイヤルメニュー 43

シンプルガイド 67

推奨ルート探索 58

選局

自動選局 110

手動選局 110

走行軌跡 107

測位 30

夕行

地図の使いかた 13

地図の拡大/縮小 13

地図の表示方法設定 107

テレビ 118

点滅表示(VICS) 109

電話番号から探す 74

電話をかける 133

八行

ハイウェイマップ 25

場所メニュー 68

個人名検索 78

座標検索 81

施設検索 68

ジャンル検索 77

住所検索 72

電話番号検索 74

マーク検索 80

名称検索 70

ハンズフリー機能 133

ブックマーク 89

プリセットリスト 111

編集・設定メニュー 98

インターネット設定 86

迂回設定 105

画面位置調整 112

自車位置調整 113

施設案内設定 106

自宅登録 98

詳細設定 106

マーク編集 99

メモリースティック 114

VICS/FM設定 109

ポップアップ時間 109

ポップアップ情報 109

ホームページ 86



マ行

- マーク
 - 音声認識対象 99
 - 消す 40, 99
 - サウンド 104
 - シンボル 103
 - つける 39
 - 電話番号 103
 - 編集 99
 - 名称 101
 - 読み 102
- マップマッチング 30
- マルチアングルポリゴン ... 107
- メニューの使いかた 16
- メモリースティック 114
- 目的地の設定 54

ヤ行

- 行き先メニュー
 - 行き先を決める 54
 - 経由地を決める 56
 - 最近の目的地から選ぶ 60
 - 詳細な条件を設定する 61
- 走行シミュレーション
 - を見る 64
 - 目的地を決める 54
 - ルート案内を終わる 66
 - ルート案内を始める 66
 - ルート情報を見る 63
 - ルート全体を見る 62
 - ルートに沿って地図を
スクロールする 65
- ルートを探す条件を
決める 58
- ルートを探す 59

ラ行

- ランプガイド機能 25
- 立体ランドマーク 107
- リモコンの
使いかた 13, 126
- リルート機能 34
- ルート案内
 - 条件 58
 - シンプルガイド 67
 - ルート案内とは 34
 - ルート案内の流れ 24
- レジャーガイド 97

アルファベット

- DGPS 147
- FM文字多重 84
- GPS衛星 30
- URL 88
- VICS
 - レベル1~3 31
 - VICSについて 136
 - VICSビーコン情報 84
 - VICSMF图形情報 83
 - VICSの設定 109
 - VICS FM文字情報 82

料金表示機能の対象道路

料金表示機能の対象路線は次のとおりです。

ここに記載されていない路線を通る場合は、正しく料金計算ができないことがあります。

料金表示機能に対応している道路

高速道路	浜田自動車道	南知多道路
道央自動車道	米子自動車道	京都縦貫自動車道
札樽自動車道	徳島自動車道	京滋バイパス
道東自動車道	高松自動車道	海南湯浅道路
日高自動車道	松山自動車道	第二阪奈有料道路
東北自動車道	高知自動車道	第二神明道路北線
八戸自動車道	今治小松自動車道	湯浅御坊道路
秋田自動車道	関門橋	関西国際空港連絡橋
山形自動車道	九州自動車道	新神戸トンネル
常磐自動車道	東九州自動車道	六甲北有料道路
磐越自動車道	南九州自動車道	神戸淡路鳴門自動車道
北関東自動車道	長崎自動車道	播但連絡有料道路
東関東自動車道	大分自動車道	第二神明道路
新空港自動車道	宮崎自動車道	堺泉北有料道路
館山自動車道	沖縄自動車道	瀬戸中央自動車道
東京湾アクアライン	那覇空港自動車道	西瀬戸自動車道
東京外環自動車道		広島呉道路
三浦縦貫自動車道		広島岩国道路
関越自動車道	有料道路	海田大橋
上信越自動車道	深川留萌自動車道	尾道大橋有料道路
中央自動車道	湯沢横手道路	若戸大橋
長野自動車道	能越自動車道	長崎バイパス
東名高速道路	日光宇都宮道路	川平有料道路
名神高速道路	常陸那珂有料道路	西九州自動車道
北陸自動車道	東水戸道路	宇佐別府道路
東海北陸自動車道	京葉道路	隼人道路
中部縦貫自動車道	千葉東金道路	指宿有料道路
近畿自動車道	首都圏中央連絡自動車道	
東名阪自動車道	第三京浜道路	都市高速
伊勢自動車道	稻城大橋有料道路	首都高速都心環状線
伊勢湾岸自動車道	本町山中有料道路	首都高速1号上野線
西名阪自動車道	箱根ターンパイク	首都高速1号羽田線
阪和自動車道	横浜新道	首都高速2号目黒線
関西空港自動車道	西湘バイパス	首都高速3号渋谷線
舞鶴自動車道	小田原厚木道路	首都高速4号新宿線
山陽自動車道	横浜横須賀道路	首都高速5号池袋線
岡山自動車道	東富士五湖道路	首都高速6号向島線
広島自動車道	西富士道路	首都高速6号三郷線
中国自動車道	知多半島道路	



- 首都高速 7 号小松川線
首都高速 9 号深川線
首都高速 11 号台場線
首都高速中央環状線
首都高速大宮線
首都高速川口線
首都高速湾岸線
首都高速八重洲線
首都高速埼玉新都心線
首都高速神奈川 1 号横羽線
首都高速神奈川 2 号三ツ沢線
首都高速神奈川 3 号狩場線
首都高速神奈川 5 号大黒線
東京高速道路
名古屋高速 1 号楠線
名古屋高速 2 号東山線
名古屋高速 3 号大高線
名古屋高速 5 号万場線
名古屋高速都心環状線
阪神高速環状線
阪神高速淀川左岸線
阪神高速大阪神戸線
阪神高速 4 号湾岸線
阪神高速 5 号湾岸線
阪神高速北神戸線
阪神高速池田線
阪神高速大阪守口線
阪神高速東大阪線
阪神高速大阪松原線
阪神高速大阪堺線
阪神高速大阪港線
阪神高速西大阪線
広島高速 1 号線
広島高速 3 号線
北九州都市高速道路 1 号線
北九州都市高速道路 2 号線
北九州都市高速道路 3 号線
北九州都市高速道路 4 号線
福岡都市高速道路 1 号線

音声コマンド一覧

一般操作コマンド

操作内容	コマンド
音声メニューを表示する	「音声メニュー」
現在地の地図を表示する	「現在地」「現在地を表示」
今日の運勢を見る	「今日の運勢は」「今日のラッキーカラーは」
あいさつ	「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「おやすみ」

地図画面で使えるコマンド

操作内容	コマンド
市街地地図を表示する	「市街地図」「市街地図を表示」「住宅地図」
さらに広域を表示する	「広域」
さらに詳細を表示する	「詳細」
地図スケールを指定する	「10メートル」「25メートル」「50メートル」「100メートル」「200メートル」「400メートル」「800メートル」「1.5キロメートル」「3キロメートル」「6キロメートル」「10キロメートル」「20キロメートル」「50キロメートル」「100キロメートル」「200キロメートル」「最大図」
日にちを確認する	「今日は何日」
記念日を確認する	「今日は何の日」
時間を確認する	「今何時」
進行方向を上にする	「ヘディングアップ」
常に北を上にする	「ノースアップ」
スタンダードビューにする	「スタンダードビュー」「2D」
ライトビューにする	「ライトビュー」「3D」
ハイウェイマップを見る	「ハイウェイマップ」
2画面にする	「2画面」
1画面にする	「1画面」
左画面を表示する	「左画面」
右画面を表示する	「右画面」
マークをつける	「マーク」「マークをつける」
サウンド付きマークをつける	「サウンド付きマーク」「音声付きマーク」
方向付きマークをつける	「方向付きマーク」
走行中の道路を確認する	「今走っている道路は」
走行速度を確認する	「今何キロ」
走行している向きを確認する	「どっちを向いているの」
VICS FM文字情報を見る	「VICS FM文字情報」
VICS FM図形情報を見る	「VICS FM図形情報」
VICSビーコン情報	「VICSビーコン情報」
FM文字多重を見る	「FM文字多重」



ルート案内時に使えるコマンド

操作内容	コマンド
自宅までルート案内する	「自宅に帰る」「家(うち/いえ)に帰る」
目的地までルート案内させる	「ここに行く」「目的地」
経由地を追加してルート案内させる	「経由地」「ここに立ち寄る」
進行方向次の経由地をスキップする	「経由地スキップ」
一般道路を優先してルート案内させる	「一般道優先」
高速道路を優先してルート案内させる	「有料道路優先」「高速道路優先」
推奨ルートでルート案内させる	「推奨ルート」
距離優先でルート案内させる	「距離優先」
別ルートでルート案内させる	「別ルート」
目的地を地図表示する	「目的地の地図」「目的地の地図を表示」
経由地(1~4)を地図表示	「経由地1(~4)の地図」「経由地1(~4)の地図を表示」
ルート案内を始める/終わる	「ルートガイド開始」「ルートガイド終了」
次のガイドポイントを確かめる	「次のガイドポイント」
目的地までの距離・時間を確かめる	「あとどれくらい」「あと何キロ」「あと何分」「いつ着きますか」
経由地までの距離・時間を確かめる	「次の経由地あとどれくらい」「次の経由地あと何キロ」「次の経由地あと何分」「次の経由地にいつ着きますか」
ルートの情報を確かめる	「どこから乗るの」「どこで降りるの」「この先渋滞は」「次の施設は」「次のサービスエリアは」「全ルート表示」

場所を探すコマンド(「 探す」「 検索」)

操作内容	コマンド
施設名を探す	「施設名を探す」
住所で探す	「住所で探す」「番地入力」
電話番号で探す	「電話番号で探す」

マーク登録した場所を探すコマンド

操作内容	コマンド
マーク登録した場所の地図を表示	「(マークの読み)」

ハンズフリーコマンド

操作内容	コマンド
ダイヤル発信画面を出す	「電話をかける」
メモリダイヤルに電話をかける	「メモリダイヤル」
リダイヤルをする	「リダイヤル」
発信する	「発信」

VICS道路交通情報表示シンボル



事故



故障車



路上障害



工事



凍結



作業



通行止め



片側交互通行



チェーン規制



進入禁止



火災



SAPA(空)



SAPA(満)



SAPA(不明)



駐車場(空)



駐車場(満)



駐車場(混雑)



駐車場(不明)



駐車場(閉)



体面通行



車線規制(右)



車線規制(左)



徐行



入り口閉鎖



大型通行止め



入り口制限



出口制限



制限速度30km/h



渋滞(シンボル)



渋滞(文字)



イベント



交通



注意



右折禁止



左折禁止



直進禁止



災害注意



雨



雪

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話 : 048-794-5194

受付時間 : 月~金 9:00~18:00
(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- ・型名
- ・故障状態 : できるだけ詳しく
- ・お買い上げ年月日

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- | | | |
|----------------------------|--------------|--|
| ● ナビダイヤル | 0570-00-3311 | 受付時間 :
月~金
9:00~
20:00、
土・日・祝日 |
| (全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます) | | |
| ● 携帯電話・PHSでのご利用は… | 03-5448-3311 | 9:00~ |
| ● Fax | 0466-31-2595 | 17:00 |

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は再生紙を使用しています。



* 1 - 3 - 2 3 1 - 2 9 9 - 0 2 * (1)